

# 国立ハンセン病資料館 来館者調査

2025年1月

公益社団法人 日本広報協会

# 目次

調査概要	2
回答者の基本属性	4
属性別（年齢別・職業別・仕事分野別）集計結果	
Q1 来館の回数	9
Q2 来館前の印象・考え	12
Q3 来館前の見聞き・学習経験	17
Q4 来館前に関心のあった人権問題	22
Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと	27
Q6 資料館で見学・利用したもの	32
Q7 来館後の理解の深まり	37
Q8 来館後の意識・考えの変化	42
Q9 来館後のハンセン病問題への認識	47
来館回数による集計結果	
Q1 来館の回数 × Q2 来館前の印象・考え	53
Q1 来館の回数 × Q3 来館前の見聞き・学習経験	54
Q1 来館の回数 × Q4 来館前に関心のあった人権問題	55
Q1 来館の回数 × Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと	56
Q1 来館の回数 × Q6 資料館で見学・利用したもの	57
Q1 来館の回数 × Q7 来館後の理解の深まり	58
Q1 来館の回数 × Q8 来館後の意識・考えの変化	59
Q1 来館の回数 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識	60
「来館者の情報ニーズ」と「理解の深まり」	
Q5 知りたい（学びたい）こと × Q6 資料館で見学・利用したもの	62
Q5 知りたい（学びたい）こと × Q7 来館後の理解の深まり	64
「来館前の印象」と「来館後の意識」の変化	
Q2 来館前の印象・考え × Q9 来館後のハンセン病問題への認識	67
Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q2 来館前の印象・考え	69
Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識	71
Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q2 来館前の印象・考え	73
Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識	75
Q7 来館後の理解の深まり × Q9 来館後のハンセン病問題への認識	77
Q8 来館後の意識・考えの変化 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識	79
Q9 来館後のハンセン病問題への認識 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識	81

# 調査概要

## 1. 調査目的

国立ハンセン病資料館の来館者の来館目的、展示内容に関する感想、来館前と来館後のハンセン病問題に対する意識や考え等を把握・分析し、今後の運営や啓発活動の基礎資料とする。

## 2. 調査設計

### (1)調査方法

- ①調査対象：国立ハンセン病資料館 来館者
- ②調査場所：国立ハンセン病資料館 1階ロビー
- ③調査方法：調査員が調査票を配布。見学後、見学者が自ら記入後、回収。
- ④調査期間：2024年10月9日～11月30日（資料館休館日を除く）

### (2)調査内容

- ①来館の回数
- ②来館前の印象・考え
- ③来館前の見聞き・学習経験
- ④来館前に関心のあった人権問題
- ⑤資料館で知りたい（学びたい）こと
- ⑥資料館で見学・利用したもの
- ⑦来館後の理解の深まり
- ⑧来館後の意識・考えの変化
- ⑨来館後のハンセン病問題への認識

### (3)回収結果

2,513票

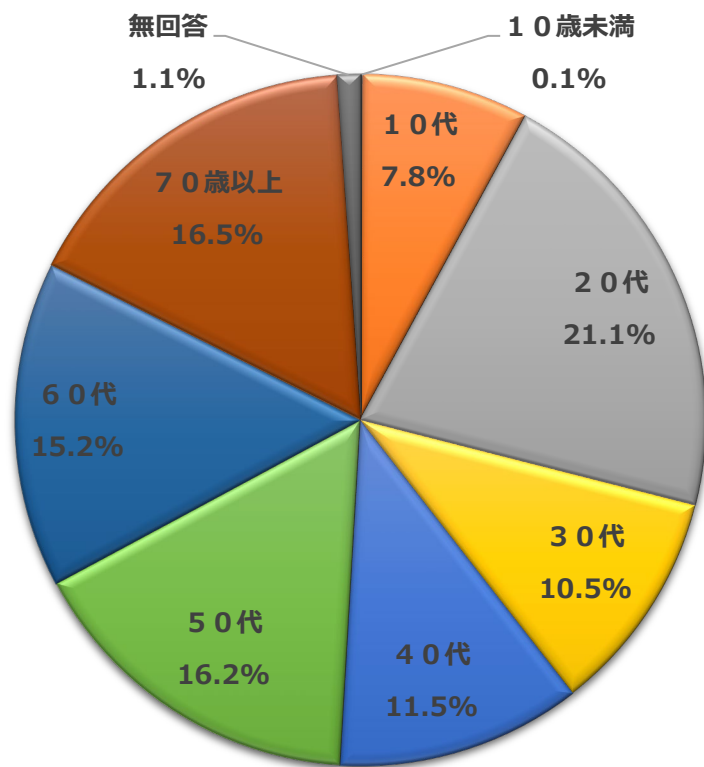
【注記】4P以降のコメント部分について「n=100」未満の項目は分析コメントの対象外としています

---

# 回答者の基本属性

# 回答者の基本属性（年齢別）

年齢（総数：2,513）

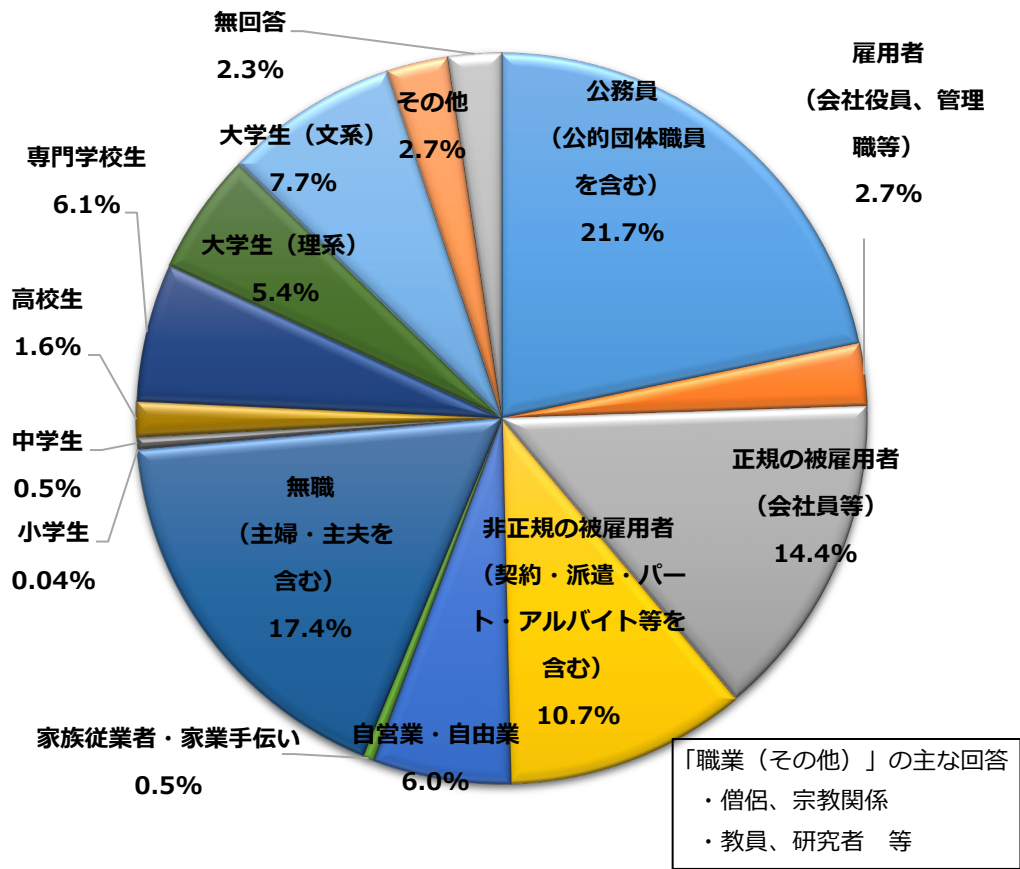


回答者の年齢は、「20代」が21.1%で最も高く、次いで「70歳以上」が16.5%、「50代」が16.2%。「60代」が15.2%。

	回答数	構成比
10歳未満	3	0.1%
10代	196	7.8%
20代	529	21.1%
30代	264	10.5%
40代	288	11.5%
50代	408	16.2%
60代	383	15.2%
70歳以上	415	16.5%
無回答	27	1.1%
回答者総数	2,513	100.0%

# 回答者の基本属性（職業別）

職業（総数：2,513）



	回答数	構成比
公務員 (公的団体職員を含む)	546	21.7%
雇用者 (会社役員、管理職等)	69	2.7%
正規の被雇用者 (会社員等)	363	14.4%
非正規の被雇用者 (契約・派遣・パート・アルバイト等を含む)	269	10.7%
自営業・自由業	152	6.0%
家族従業者・家業手伝い	13	0.5%
無職 (主婦・主夫を含む)	438	17.4%
小学生	1	0.04%
中学生	13	0.5%
高校生	39	1.6%
専門学校生	154	6.1%
大学生 (理系)	136	5.4%
大学生 (文系)	193	7.7%
その他	68	2.7%
無回答	59	2.3%
回答者総数	2,513	100.0%

回答者の職業は、「公務員」が21.7%で最も高く、次いで「無職」が17.4%、「正規の被雇用者」が14.4%。また、回答者の2割は児童生徒・学生（小学生・中学生・高校生・専門学校生・大学生）で、その中では「大学生（文系）」（7.7%）が最も多い。

## 回答者の基本属性（職業×年齢）

職業・年齢別でみると、10代では「専門学校生」、「大学生（文系）」が高い。20代では、「大学生（文系）」「公務員」が高い。30代から50代では「公務員」「正規の被雇用者」の順に高い。60代、70歳以上は「無職」が最も高い。

### 職業×年齢（総数:2,513）

	公務員	雇用者	正規の被雇用者	非正規の被雇用者	自営業・自由業	家族従業者・家業手伝い	無職（主婦・主夫を含む）	小学生	中学生	高校生	専門学校生	大学生（理系）	大学生（文系）	その他	無回答
総数(n=2513)	21.7%	2.7%	14.4%	10.7%	6.0%	0.5%	17.4%	0.04%	0.5%	1.6%	6.1%	5.4%	7.7%	2.7%	2.3%
10歳未満(n=3)	-	-	-	-	-	-	66.7%	33.3%	-	-	-	-	-	-	-
10代(n=196)	0.5%	-	-	0.5%	-	-	-	-	6.6%	19.4%	27.0%	18.4%	25.5%	1.0%	1.0%
20代(n=529)	23.1%	0.6%	12.5%	2.3%	0.8%	-	0.6%	-	-	0.2%	12.7%	18.3%	26.8%	1.3%	0.9%
30代(n=264)	48.5%	1.1%	26.1%	7.6%	4.9%	-	1.5%	-	-	-	6.8%	0.4%	-	1.9%	1.1%
40代(n=288)	38.2%	5.9%	25.3%	12.2%	8.7%	-	4.2%	-	-	-	4.2%	0.3%	-	0.3%	0.7%
50代(n=408)	28.7%	6.1%	27.5%	19.4%	6.6%	0.2%	8.1%	-	-	-	0.5%	-	0.2%	2.2%	0.5%
60代(n=383)	11.0%	3.7%	9.4%	20.6%	12.0%	1.8%	32.9%	-	-	-	0.5%	-	-	6.0%	2.1%
70歳以上(n=415)	5.8%	1.7%	1.2%	9.9%	8.9%	1.2%	61.9%	-	-	-	-	0.2%	-	4.8%	4.3%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

# 回答者の基本属性（職業×仕事分野）

仕事分野をみると、最も高いのは「事務・営業系の職業」で20.4%。「教育関係の専門職」は17.9%、「福祉関係の専門職」は9.5%、「医療関係の専門職」は9.7%となっている。

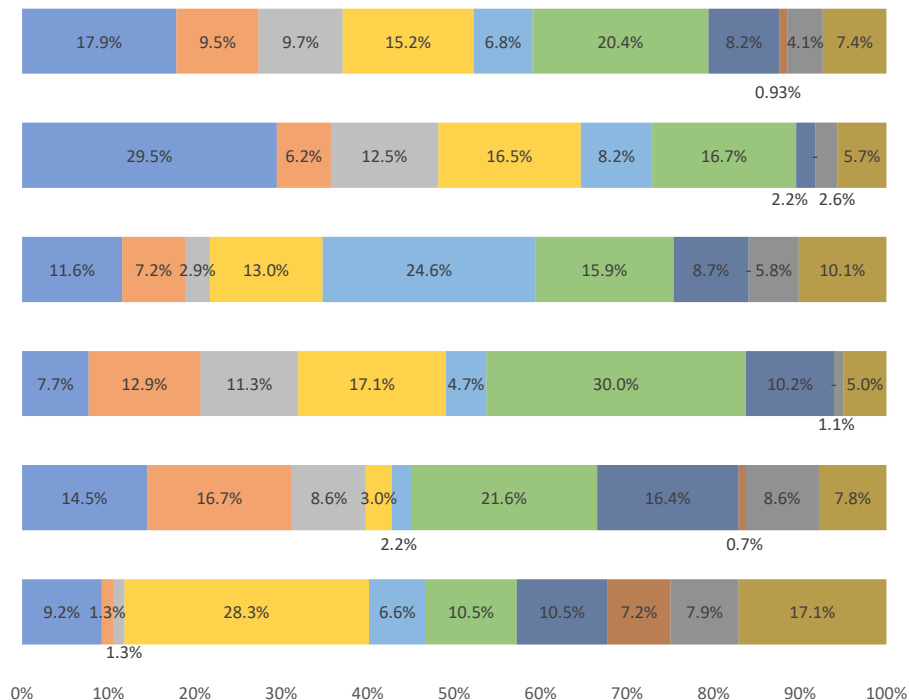
職業別にみると、「公務員」では29.5%が「教育関係の専門職」、12.5%が「医療関係の専門職」。「福祉関係の専門職」は「正規の被雇用者」「非正規の意雇用者」が高い。

## 職業×仕事分野（該当数※：1,399）

※前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ

	教育関係の専門職 (教員、保育士等)	福祉関係の専門職 (ケアマネジャー、介護福祉士等)	医療関係の専門職 (医師、看護師等)	上記以外の専門職 (弁護士、建築士、エンジニア、デザイナー、編集者等)	管理的職業	事務・営業系の職業	技能・労務・作業系の職業	農林漁業職	その他	無回答
該当数 (n=1399)	17.9%	9.5%	9.7%	15.2%	6.8%	20.4%	8.2%	0.93%	4.1%	7.4%
公務員（公的団体職員を含む） (n=546)	29.5%	6.2%	12.5%	16.5%	8.2%	16.7%	2.2%	-	2.6%	5.7%
雇用者（会社役員、管理職等） (n=69)	11.6%	7.2%	2.9%	13.0%	24.6%	15.9%	8.7%	-	5.8%	10.1%
正規の被雇用者（会社員等） (n=363)	7.7%	12.9%	11.3%	17.1%	4.7%	30.0%	10.2%	-	1.1%	5.0%
非正規の被雇用者（契約・派遣・パート・アルバイト等を含む） (n=269)	14.5%	16.7%	8.6%	3.0%	2.2%	21.6%	16.4%	0.7%	8.6%	7.8%
自営業・自由業 (n=152)	9.2%	1.3%	1.3%	28.3%	6.6%	10.5%	10.5%	7.2%	7.9%	17.1%

- 教育関係の専門職（教員、保育士等）
- 福祉関係の専門職（ケアマネジャー、介護福祉士等）
- 医療関係の専門職（医師、看護師等）
- 上記以外の専門職（弁護士、建築士、エンジニア、デザイナー、編集者等）
- 管理的職業
- 事務・営業系の職業
- 技能・労務・作業系の職業
- 農林漁業職
- その他
- 無回答



■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

---

# **属性別集計結果**

## **(年齢別・職業別・仕事分野別)**

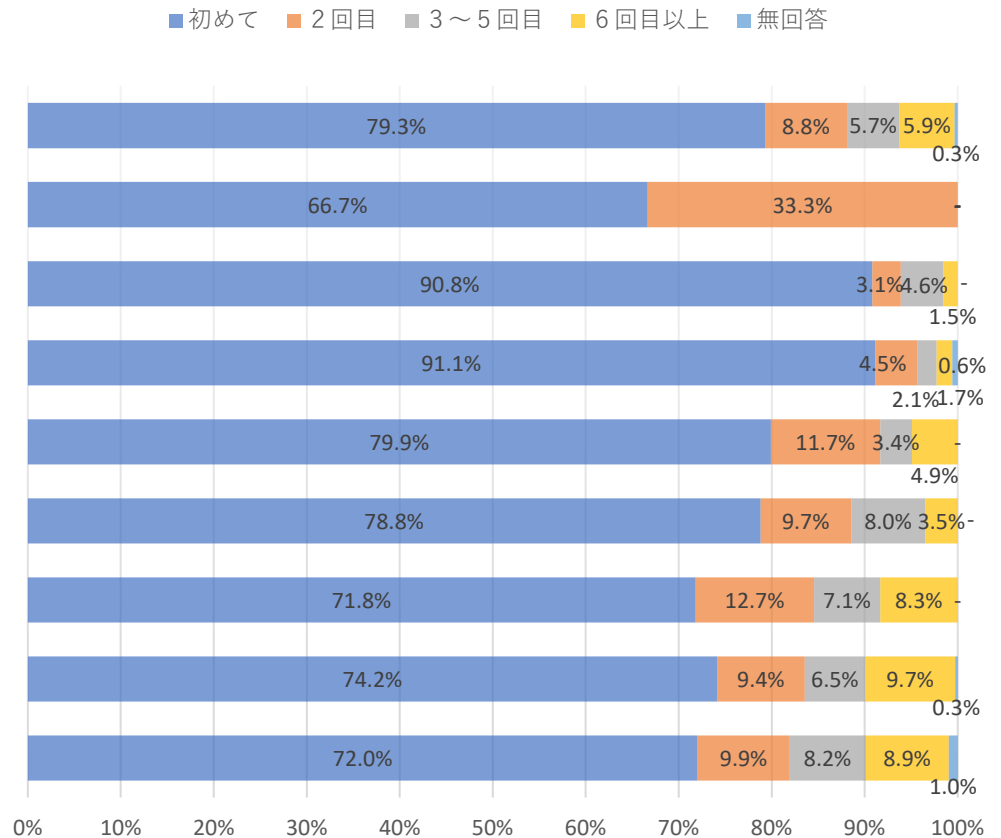
# Q1 来館の回数（年齢別）

回答者の79.3%が、来館は「初めて」で、どの年代でも最も高くなっている。  
 年齢別でみると、10代では90.8%、20代では91.1%で、ほかの年代よりも高い。  
 来館回数「2回目」は、30代が11.7%、50代が12.7%でほかの年代よりも高い。「3～5回」「6回目以上」は50代、60代、70歳以上が下の年代に比べて高くなっている。

## Q1 ご来館は何回目ですか？（ひとつだけ）

	初めて	2回目	3～5回目	6回目以上	無回答
総数(n=2513)	79.3%	8.8%	5.7%	5.9%	0.3%
10歳未満(n=3)	66.7%	33.3%	-	-	-
10代(n=196)	90.8%	3.1%	4.6%	1.5%	-
20代(n=529)	91.1%	4.5%	2.1%	1.7%	0.6%
30代(n=264)	79.9%	11.7%	3.4%	4.9%	-
40代(n=288)	78.8%	9.7%	8.0%	3.5%	-
50代(n=408)	71.8%	12.7%	7.1%	8.3%	-
60代(n=383)	74.2%	9.4%	6.5%	9.7%	0.3%
70歳以上(n=415)	72.0%	9.9%	8.2%	8.9%	1.0%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

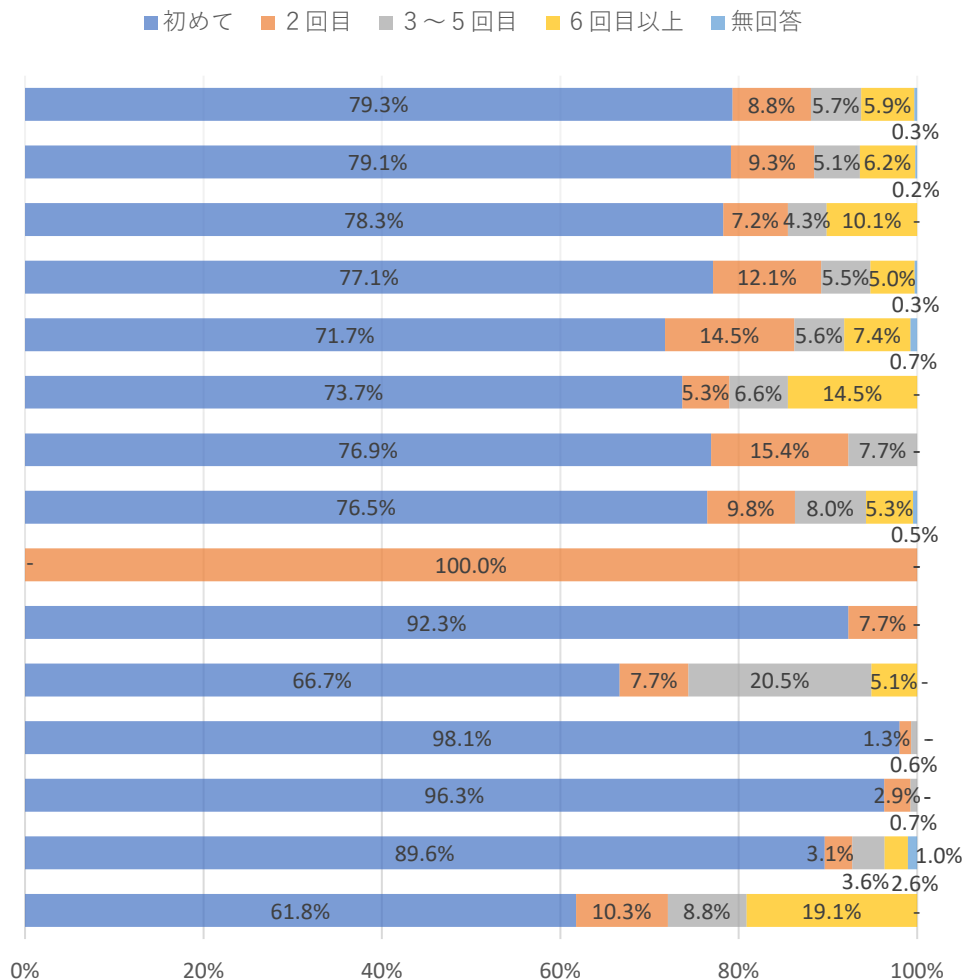


# Q1 来館の回数（職業別）

職業別でみると、「初めて」は「専門学校生」で98.1%、「大学生（理系）」で96.3%と、特に高い。  
 同じ大学生でも、「大学生（文系）」では「初めて」が89.6%でそれらより低く、「2回目」以降がやや高い。

## Q1 ご来館は何回目ですか？（ひとつだけ）

	初めて	2回目	3～5回目	6回目以上	無回答
総数(n=2513)	79.3%	8.8%	5.7%	5.9%	0.3%
公務員(n=546)	79.1%	9.3%	5.1%	6.2%	0.2%
雇用者(n=69)	78.3%	7.2%	4.3%	10.1%	-
正規の被雇用者(n=363)	77.1%	12.1%	5.5%	5.0%	0.3%
非正規の被雇用者(n=269)	71.7%	14.5%	5.6%	7.4%	0.7%
自営業・自由業(n=152)	73.7%	5.3%	6.6%	14.5%	-
家族従業者・家業手伝い(n=13)	76.9%	15.4%	7.7%	-	-
無職(n=438)	76.5%	9.8%	8.0%	5.3%	0.5%
小学生(n=1)	-	100.0%	-	-	-
中学生(n=13)	92.3%	7.7%	-	-	-
高校生(n=39)	66.7%	7.7%	20.5%	5.1%	-
専門学校生(n=154)	98.1%	1.3%	0.6%	-	-
大学生（理系）(n=136)	96.3%	2.9%	0.7%	-	-
大学生（文系）(n=193)	89.6%	3.1%	3.6%	2.6%	1.0%
その他(n=68)	61.8%	10.3%	8.8%	19.1%	-



■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

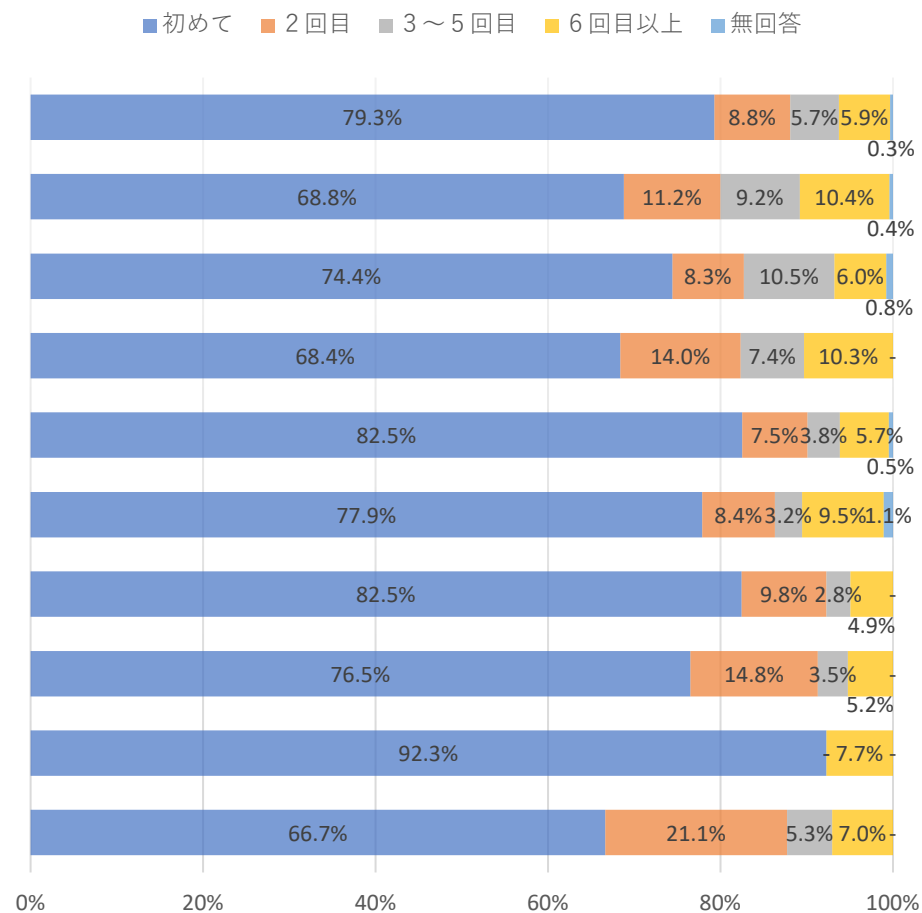
## Q1 来館の回数（仕事分野別※）

仕事分野別で見ると、「教育関係の専門職」と「医療関係の専門職」では、「初めて」が68%台で他の仕事分野よりも低い。一方「2回目」「6回目以上」の割合が10%以上となっており、他の仕事分野よりも高い。

### Q1 ご来館は何回目ですか？（ひとつだけ）

	初めて	2回目	3～5回目	6回目以上	無回答
総数(n=2513)	79.3%	8.8%	5.7%	5.9%	0.3%
教育関係の専門職(n=250)	68.8%	11.2%	9.2%	10.4%	0.4%
福祉関係の専門職(n=133)	74.4%	8.3%	10.5%	6.0%	0.8%
医療関係の専門職(n=136)	68.4%	14.0%	7.4%	10.3%	-
上記以外の専門職(n=212)	82.5%	7.5%	3.8%	5.7%	0.5%
管理的職業(n=95)	77.9%	8.4%	3.2%	9.5%	1.1%
事務・営業系の職業(n=285)	82.5%	9.8%	2.8%	4.9%	-
技能・労務・作業系の職業(n=115)	76.5%	14.8%	3.5%	5.2%	-
農林漁業職(n=13)	92.3%	-	-	7.7%	-
その他(n=57)	66.7%	21.1%	5.3%	7.0%	-

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

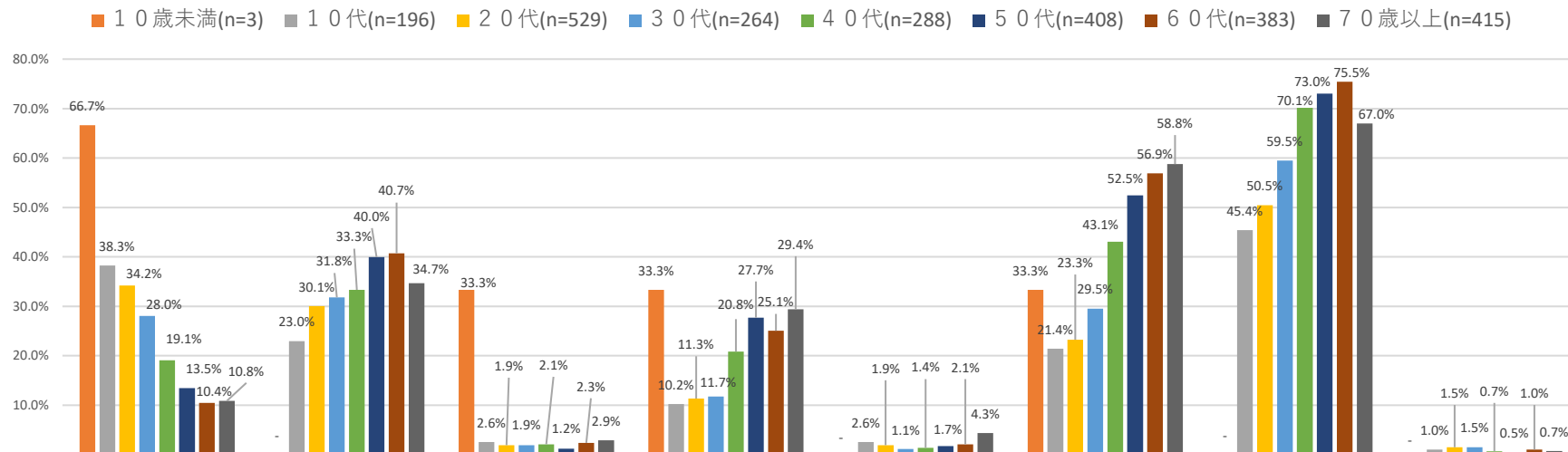


※前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

## Q2 来館前の印象・考え（年齢別）

「元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である」が63.5%と最も高い。年齢別にみると、40代、50代、60代では70%を超えている。次いで高いのが「治すことができる病気である」の42.0%で、50代、60代、70歳以上では50%を超えている。「名前だけ知っていた」人の割合は21.2%。10代が38.3%、20代が34.2%で他の年代よりも高く、60代と70歳以上では低い。

### Q2 ご来館する前に、ハンセン病についてどのような印象やお考えを持っていましたか？（いくつでも※）



	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数(n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%
10歳未満(n=3)	66.7%	-	33.3%	33.3%	-	33.3%	-	-
10代(n=196)	38.3%	23.0%	2.6%	10.2%	2.6%	21.4%	45.4%	1.0%
20代(n=529)	34.2%	30.1%	1.9%	11.3%	1.9%	23.3%	50.5%	1.5%
30代(n=264)	28.0%	31.8%	1.9%	11.7%	1.1%	29.5%	59.5%	1.5%
40代(n=288)	19.1%	33.3%	2.1%	20.8%	1.4%	43.1%	70.1%	0.7%
50代(n=408)	13.5%	40.0%	1.2%	27.7%	1.7%	52.5%	73.0%	0.5%
60代(n=383)	10.4%	40.7%	2.3%	25.1%	2.1%	56.9%	75.5%	1.0%
70歳以上(n=415)	10.8%	34.7%	2.9%	29.4%	4.3%	58.8%	67.0%	0.7%

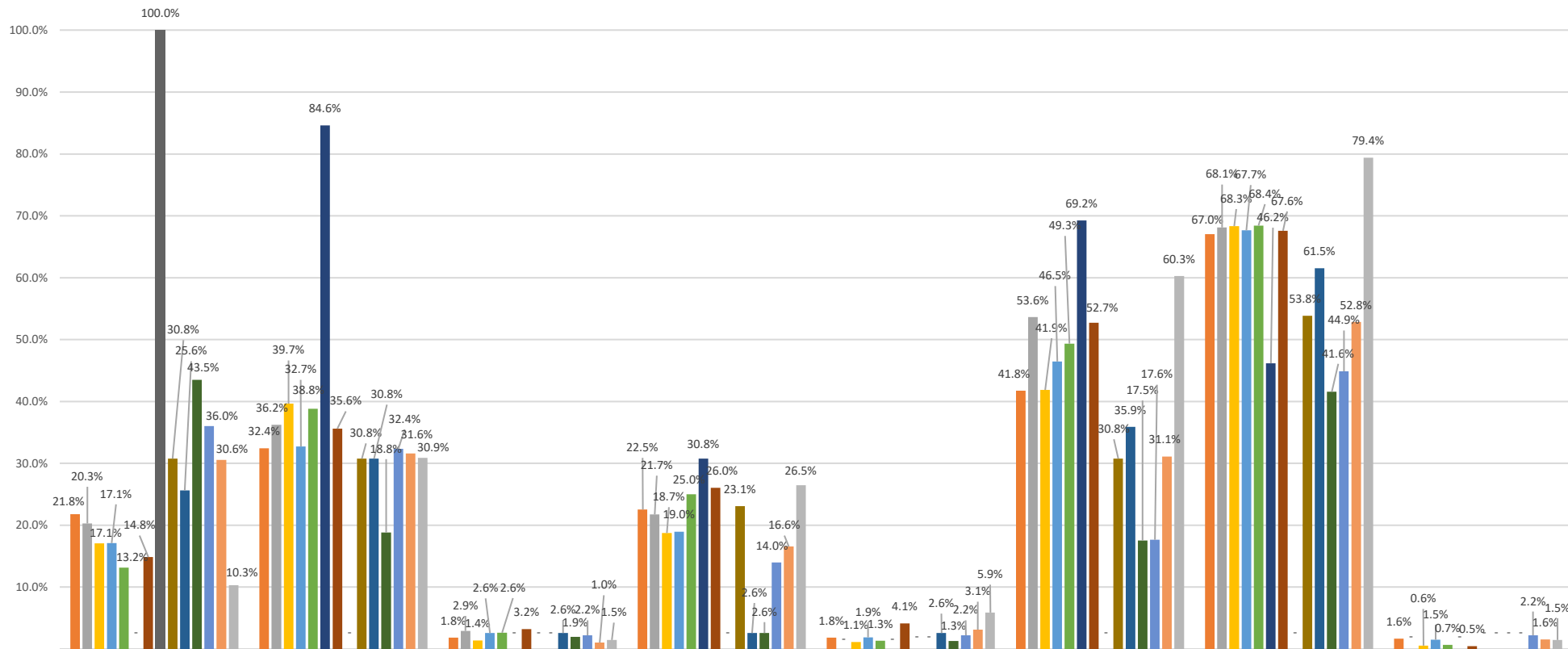
■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q2 来館前の印象・考え（職業別：グラフ）

Q2ご来館する前に、ハンセン病についてどのような印象やお考えを持っていましたか？（いくつでも※）

- 公務員（公的団体職員を含む）(n=546)
- 雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)
- 正規の被雇用者（会社員等）(n=363)
- 非正規の被雇用者(n=269)
- 自営業・自由業(n=152)
- 家族従業者・家業手伝い(n=13)
- 無職（主婦・主夫を含む）(n=438)
- 小学生(n=1)
- 中学生(n=13)
- 高校生(n=39)
- 専門学校生(n=154)
- 大学生（理系）(n=136)
- 大学生（文系）(n=193)
- その他(n=68)



総数 (n=2513)	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%

※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q2 来館前の印象・考え（職業別：表）

職業別でみると、「名前だけ知っていた」は「専門学校生」「大学生（理系）」「大学生（文系）」で高い。「専門学校生」は、「感染することで起こる病気」「発症がまれな病気」「治すことができる病気」の数字が特に低い。「大学生（理系）」でも「治すことができる病気」の数字は、「専門学校生」と同様、低くなっている。

### Q2ご来館する前に、ハンセン病についてどのような印象やお考えを持っていましたか？（いくつでも※）

	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数(n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%
公務員（公的団体職員を含む）(n=546)	21.8%	32.4%	1.8%	22.5%	1.8%	41.8%	67.0%	1.6%
雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)	20.3%	36.2%	2.9%	21.7%	-	53.6%	68.1%	-
正規の被雇用者（会社員等）(n=363)	17.1%	39.7%	1.4%	18.7%	1.1%	41.9%	68.3%	0.6%
非正規の被雇用者(n=269)	17.1%	32.7%	2.6%	19.0%	1.9%	46.5%	67.7%	1.5%
自営業・自由業(n=152)	13.2%	38.8%	2.6%	25.0%	1.3%	49.3%	68.4%	0.7%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	-	84.6%	-	30.8%	-	69.2%	46.2%	-
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	14.8%	35.6%	3.2%	26.0%	4.1%	52.7%	67.6%	0.5%
小学生(n=1)	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
中学生(n=13)	30.8%	30.8%	-	23.1%	-	30.8%	53.8%	-
高校生(n=39)	25.6%	30.8%	2.6%	2.6%	2.6%	35.9%	61.5%	-
専門学校生(n=154)	43.5%	18.8%	1.9%	2.6%	1.3%	17.5%	41.6%	-
大学生（理系）(n=136)	36.0%	32.4%	2.2%	14.0%	2.2%	17.6%	44.9%	2.2%
大学生（文系）(n=193)	30.6%	31.6%	1.0%	16.6%	3.1%	31.1%	52.8%	1.6%
その他(n=68)	10.3%	30.9%	1.5%	26.5%	5.9%	60.3%	79.4%	1.5%

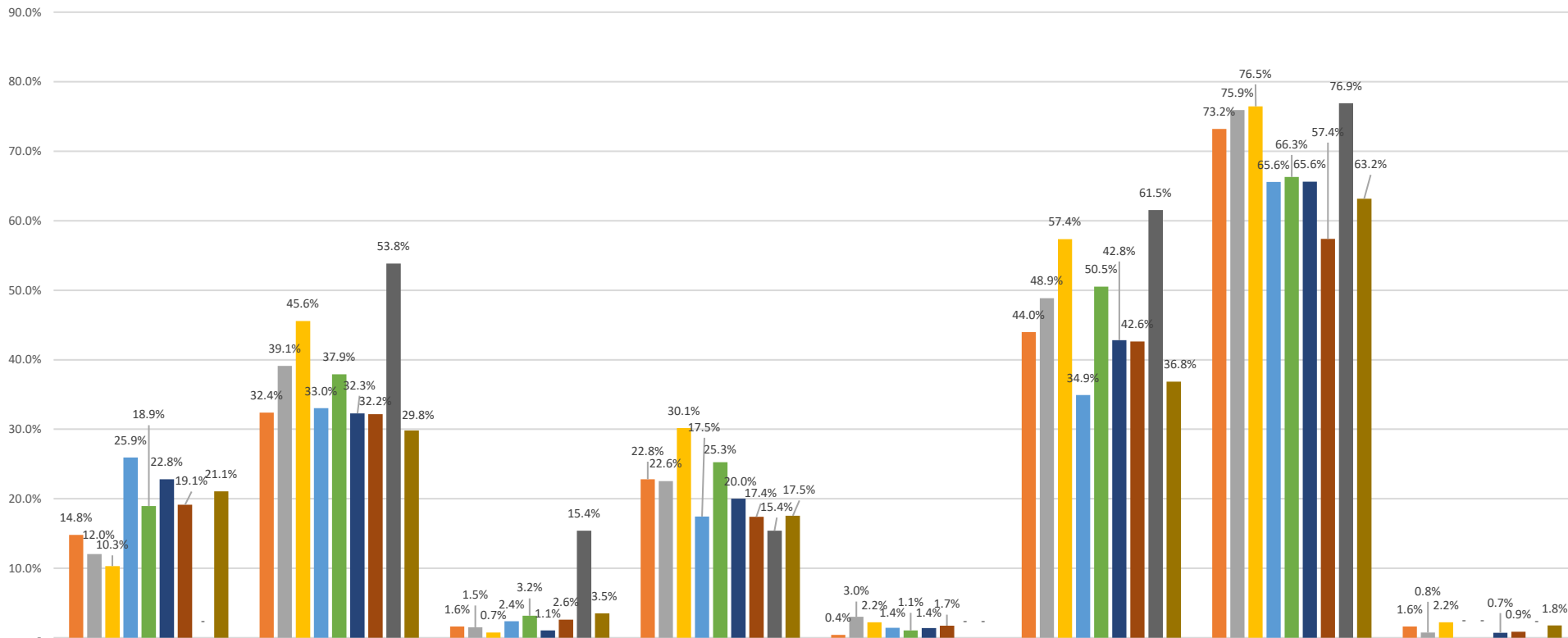
■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

※「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q2 来館前の印象・考え（仕事分野別※1：グラフ）

Q2ご来館する前に、ハンセン病についてどのような印象やお考えを持っていましたか？（いくつでも※2）

- 教育関係の専門職(n=250)
- 福祉関係の専門職(n=133)
- 医療関係の専門職(n=136)
- 上記以外の専門職(n=212)
- 管理的職業(n=95)
- 事務・営業系の職業(n=285)
- 技能・労務・作業系の職業(n=115)
- 農林漁業職(n=13)
- その他(n=57)



	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数 (n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%

※1 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

※2 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q2 来館前の印象・考え（仕事分野別※1：表）

「元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である」は、「教育関係の専門職」「福祉関係の専門職」「医療関係の専門職」で高くなっている。

「医療関係の専門職」では、「感染することで起こる病気」「発症がまれな病気」「治すことができる病気」の数値も高くなっている。

### Q2ご来館する前に、ハンセン病についてどのような印象やお考えを持っていましたか？（いくつでも※2）

	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数(n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%
教育関係の専門職(n=250)	14.8%	32.4%	1.6%	22.8%	0.4%	44.0%	73.2%	1.6%
福祉関係の専門職(n=133)	12.0%	39.1%	1.5%	22.6%	3.0%	48.9%	75.9%	0.8%
医療関係の専門職(n=136)	10.3%	45.6%	0.7%	30.1%	2.2%	57.4%	76.5%	2.2%
上記以外の専門職(n=212)	25.9%	33.0%	2.4%	17.5%	1.4%	34.9%	65.6%	-
管理的職業(n=95)	18.9%	37.9%	3.2%	25.3%	1.1%	50.5%	66.3%	-
事務・営業系の職業(n=285)	22.8%	32.3%	1.1%	20.0%	1.4%	42.8%	65.6%	0.7%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	19.1%	32.2%	2.6%	17.4%	1.7%	42.6%	57.4%	0.9%
農林漁業職(n=13)	-	53.8%	15.4%	15.4%	-	61.5%	76.9%	-
その他(n=57)	21.1%	29.8%	3.5%	17.5%	-	36.8%	63.2%	1.8%

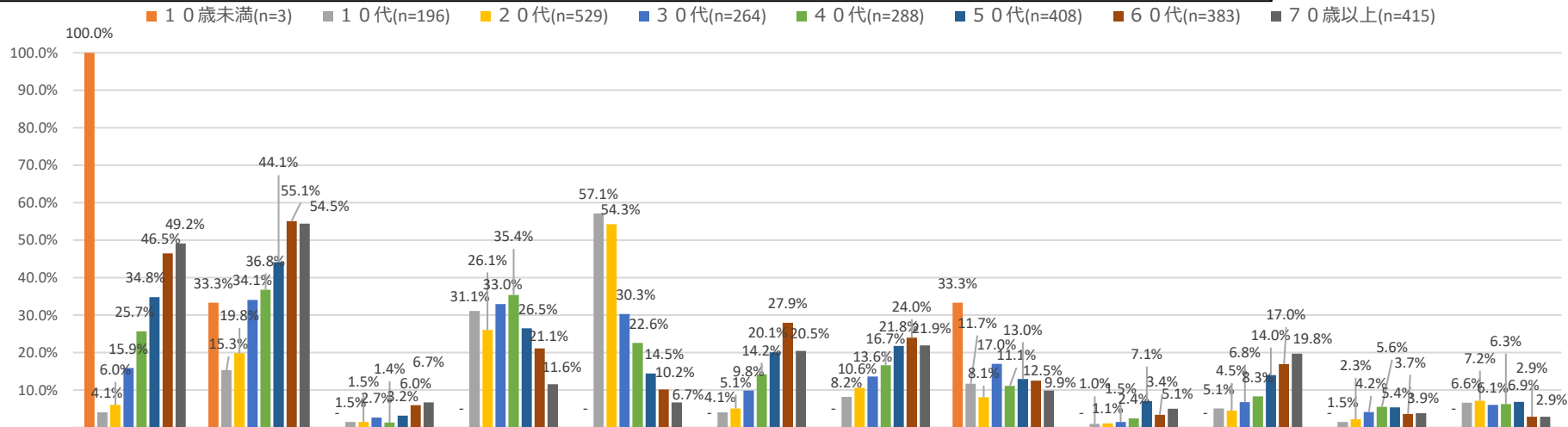
■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※1 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

※2 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q3 来館前の見聞き・学習経験（年齢別）

「テレビ」が38.2%と最も高く、次いで「新聞」「学校の授業」「インターネット」の順に高い。  
 年代別でみると、「テレビ」「新聞」は60代、70歳以上で高く、10代、20代では低くなっている。「学校の授業」は10代、20代で、「インターネット」は10代、30代、40代で高い。60代では「テレビ」「新聞」に次いで「映画」が高くなっている（27.9%）。

## Q3 ご来館する前に、ハンセン病問題について見聞きしたり学んだりしたことはありますか？（いくつでも）



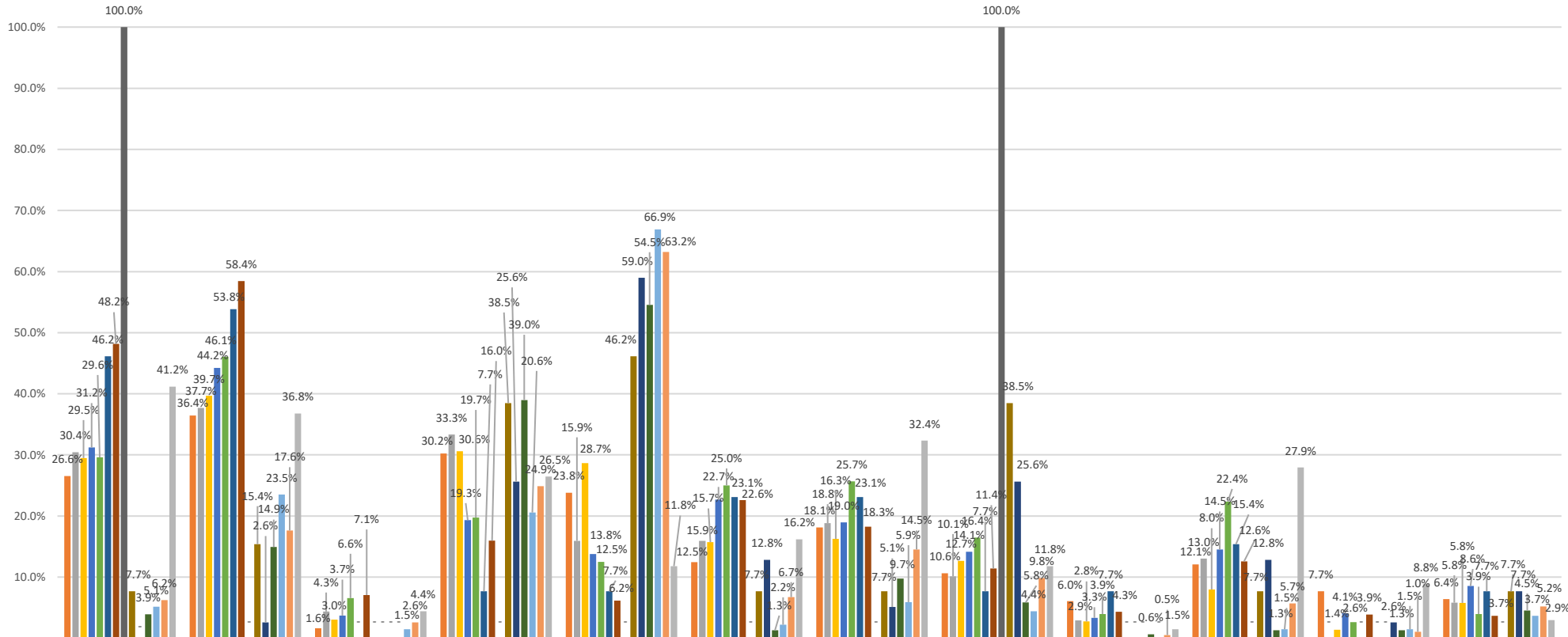
	新聞で読んだ	テレビで見聞きした	ラジオで聞いた	インターネット（HPやSNSなど）で見聞きした	学校の授業で学んだ	映画を見た	冊子や出版物を読んだ	家族や知人から話を聞いた	自治体などの広報紙で読んだ	ハンセン病問題に関する施設やイベント・講座などに行った（当館を除く）	その他	無回答
総数(n=2513)	27.5%	38.2%	3.5%	25.2%	26.9%	15.2%	17.2%	11.5%	3.3%	11.4%	3.8%	5.5%
10歳未満(n=3)	100.0%	33.3%	-	-	-	-	-	33.3%	-	-	-	-
10代(n=196)	4.1%	15.3%	1.5%	31.1%	57.1%	4.1%	8.2%	11.7%	1.0%	5.1%	1.5%	6.6%
20代(n=529)	6.0%	19.8%	1.5%	26.1%	54.3%	5.1%	10.6%	8.1%	1.1%	4.5%	2.3%	7.2%
30代(n=264)	15.9%	34.1%	2.7%	33.0%	30.3%	9.8%	13.6%	17.0%	1.5%	6.8%	4.2%	6.1%
40代(n=288)	25.7%	36.8%	1.4%	35.4%	22.6%	14.2%	16.7%	11.1%	2.4%	8.3%	5.6%	6.3%
50代(n=408)	34.8%	44.1%	3.2%	26.5%	14.5%	20.1%	21.8%	13.0%	7.1%	14.0%	5.4%	6.9%
60代(n=383)	46.5%	55.1%	6.0%	21.1%	10.2%	27.9%	24.0%	12.5%	3.4%	17.0%	3.7%	2.9%
70歳以上(n=415)	49.2%	54.5%	6.7%	11.6%	6.7%	20.5%	21.9%	9.9%	5.1%	19.8%	3.9%	2.9%

● …総数より10ポイント以上高い    ● …総数より10ポイント以上低い

# Q3 来館前の見聞き・学習経験（職業別：グラフ）

Q3 ご来館する前に、ハンセン病問題について見聞きしたり学んだりしたことはありますか？（いくつでも）

- 公務員（公的団体職員を含む）(n=546)
- 雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)
- 正規の被雇用者（会社員等）(n=363)
- 非正規の被雇用者(n=269)
- 自営業・自由業(n=152)
- 家族従業者・家業手伝い(n=13)
- 無職（主婦・主夫を含む）(n=438)
- 小学生(n=1)
- 中学生(n=13)
- 高校生(n=39)
- 専門学校生(n=154)
- 大学生（理系）(n=136)
- 大学生（文系）(n=193)
- その他(n=68)



	新聞で読んだ	テレビで見聞きした	ラジオで聞いた	インターネット（HPやSNSなどで見聞きした）	学校の授業で学んだ	映画を見た	冊子や出版物を読んだ	家族や知人から話を聞いた	自治体などの広報紙で読んだ	ハンセン病問題に関する施設やイベント・講座などに行った（当館を除く）	その他	無回答
総数 (n=2513)	27.5%	38.2%	3.5%	25.2%	26.9%	15.2%	17.2%	11.5%	3.3%	11.4%	3.8%	5.5%

## Q3 来館前の見聞き・学習経験（職業別：表）

職業別でみると、「新聞」「テレビ」は「無職（主婦・主夫を含む）」で高い。「インターネット」は「専門学校生」「公務員」「正規の被雇用者」で高い。「学校の授業」は「専門学校生」「大学生（理系）」「大学生（文系）」で高い。

### Q3 ご来館する前に、ハンセン病問題について見聞きしたり学んだりしたことはありますか？（いくつでも）

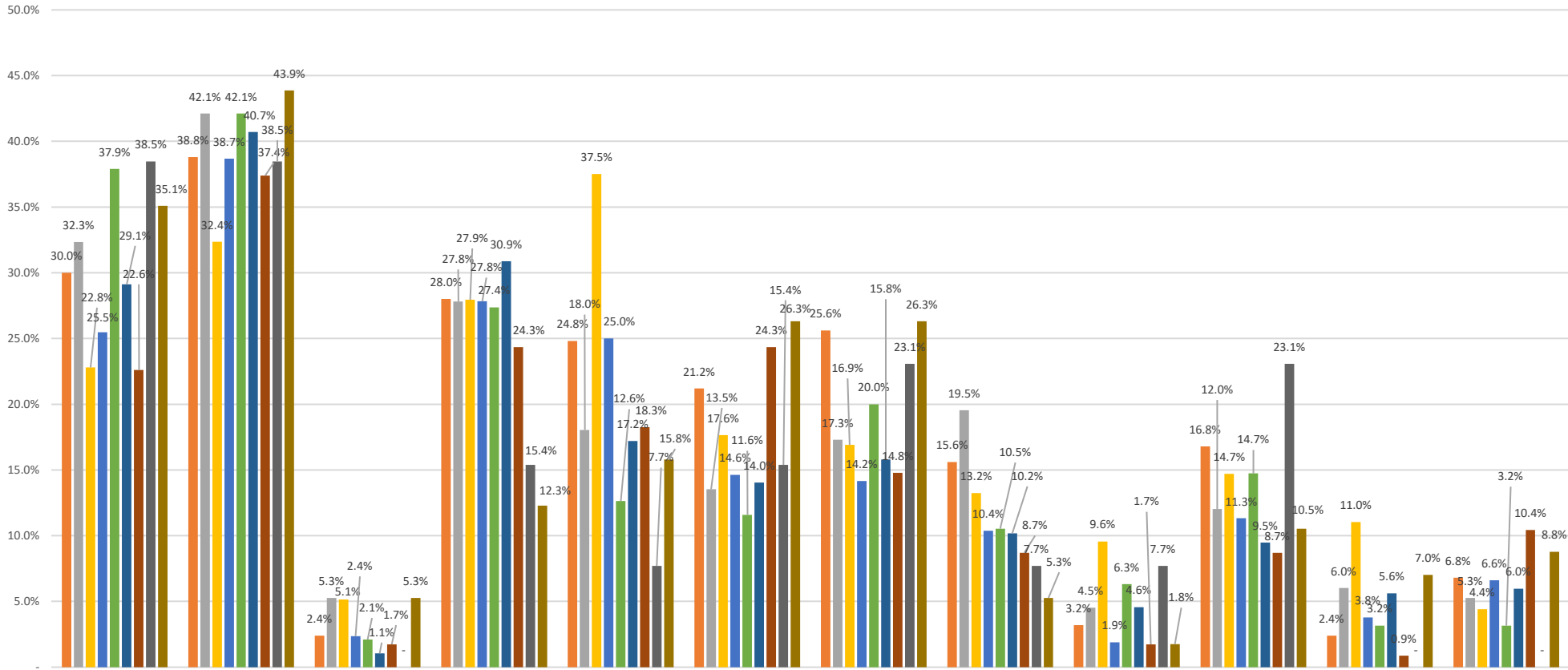
	新聞で読んだ	テレビで見聞きした	ラジオで聞いた	インターネット（HPやSNSなど）で見聞きした	学校の授業で学んだ	映画を見た	冊子や出版物を読んだ	家族や知人から話を聞いた	自治体などの広報紙で読んだ	ハンセン病問題に関する施設やイベント・講座などに行った（当館を除く）	その他	無回答
総数(n=2513)	27.5%	38.2%	3.5%	25.2%	26.9%	15.2%	17.2%	11.5%	3.3%	11.4%	3.8%	5.5%
公務員（公的団体職員を含む）(n=546)	26.6%	36.4%	1.6%	30.2%	23.8%	12.5%	18.1%	10.6%	6.0%	12.1%	7.7%	6.4%
雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)	30.4%	37.7%	4.3%	33.3%	15.9%	15.9%	18.8%	10.1%	2.9%	13.0%	-	5.8%
正規の被雇用者（会社員等）(n=363)	29.5%	39.7%	3.0%	30.6%	28.7%	15.7%	16.3%	12.7%	2.8%	8.0%	1.4%	5.8%
非正規の被雇用者(n=269)	31.2%	44.2%	3.7%	19.3%	13.8%	22.7%	19.0%	14.1%	3.3%	14.5%	4.1%	8.6%
自営業・自由業(n=152)	29.6%	46.1%	6.6%	19.7%	12.5%	25.0%	25.7%	16.4%	3.9%	22.4%	2.6%	3.9%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	46.2%	53.8%	-	7.7%	7.7%	23.1%	23.1%	7.7%	7.7%	15.4%	-	7.7%
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	48.2%	58.4%	7.1%	16.0%	6.2%	22.6%	18.3%	11.4%	4.3%	12.6%	3.9%	3.7%
小学生(n=1)	100.0%	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-
中学生(n=13)	7.7%	15.4%	-	38.5%	46.2%	7.7%	7.7%	38.5%	-	7.7%	-	7.7%
高校生(n=39)	-	2.6%	-	25.6%	59.0%	12.8%	5.1%	25.6%	-	12.8%	2.6%	7.7%
専門学校生(n=154)	3.9%	14.9%	-	39.0%	54.5%	1.3%	9.7%	5.8%	0.6%	1.3%	1.3%	4.5%
大学生（理系）(n=136)	5.1%	23.5%	1.5%	20.6%	66.9%	2.2%	5.9%	4.4%	-	1.5%	1.5%	3.7%
大学生（文系）(n=193)	6.2%	17.6%	2.6%	24.9%	63.2%	6.7%	14.5%	9.8%	0.5%	5.7%	1.0%	5.2%
その他(n=68)	41.2%	36.8%	4.4%	26.5%	11.8%	16.2%	32.4%	11.8%	1.5%	27.9%	8.8%	2.9%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

# Q3 来館前の見聞き・学習経験（仕事分野別※：グラフ）

Q3 ご来館する前に、ハンセン病問題について見聞きしたり学んだりしたことはありますか？（いくつでも）

- 教育関係の専門職(n=250)
- 福祉関係の専門職(n=133)
- 医療関係の専門職(n=136)
- 上記以外の専門職(n=212)
- 管理的職業(n=95)
- 事務・営業系の職業(n=285)
- 技能・労務・作業系の職業(n=115)
- 農林漁業職(n=13)
- その他(n=57)



	新聞で読んだ	テレビで見聞きした	ラジオで聞いた	インターネット (HPやSNSなど) で見聞きした	学校の授業で学んだ	映画を見た	冊子や出版物を読んだ	家族や知人から話を聞いた	自治体などの広報紙で読んだ	施設やイベント・講座などに行った (当館を除く)	その他	無回答
総数 (n=2513)	27.5%	38.2%	3.5%	25.2%	26.9%	15.2%	17.2%	11.5%	3.3%	11.4%	3.8%	5.5%

※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ (n = 1399)

### Q3 来館前の見聞き・学習経験（仕事分野別※：表）

仕事分野別でみると、「医療関係の専門職」では「学校の授業で学んだ」が37.5%と高くなっているが、「福祉関係の専門職」では18.0%で平均以下となっている。

#### Q3 ご来館する前に、ハンセン病問題について見聞きしたり学んだりしたことはありますか？（いくつでも）

	新聞で読んだ	テレビで見聞きした	ラジオで聞いた	インターネット（HPやSNSなど）で見聞きした	学校の授業で学んだ	映画を見た	冊子や出版物を読んだ	家族や知人から話を聞いた	自治体などの広報紙で読んだ	ハンセン病問題に関する施設やイベント・講座などに行った（当館を除く）	その他	無回答
総数(n=2513)	27.5%	38.2%	3.5%	25.2%	26.9%	15.2%	17.2%	11.5%	3.3%	11.4%	3.8%	5.5%
教育関係の専門職(n=250)	30.0%	38.8%	2.4%	28.0%	24.8%	21.2%	25.6%	15.6%	3.2%	16.8%	2.4%	6.8%
福祉関係の専門職(n=133)	32.3%	42.1%	5.3%	27.8%	18.0%	13.5%	17.3%	19.5%	4.5%	12.0%	6.0%	5.3%
医療関係の専門職(n=136)	22.8%	32.4%	5.1%	27.9%	37.5%	17.6%	16.9%	13.2%	9.6%	14.7%	11.0%	4.4%
上記以外の専門職(n=212)	25.5%	38.7%	2.4%	27.8%	25.0%	14.6%	14.2%	10.4%	1.9%	11.3%	3.8%	6.6%
管理的職業(n=95)	37.9%	42.1%	2.1%	27.4%	12.6%	11.6%	20.0%	10.5%	6.3%	14.7%	3.2%	3.2%
事務・営業系の職業(n=285)	29.1%	40.7%	1.1%	30.9%	17.2%	14.0%	15.8%	10.2%	4.6%	9.5%	5.6%	6.0%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	22.6%	37.4%	1.7%	24.3%	18.3%	24.3%	14.8%	8.7%	1.7%	8.7%	0.9%	10.4%
農林漁業職(n=13)	38.5%	38.5%	-	15.4%	7.7%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	23.1%	-	-
その他(n=57)	35.1%	43.9%	5.3%	12.3%	15.8%	26.3%	26.3%	5.3%	1.8%	10.5%	7.0%	8.8%

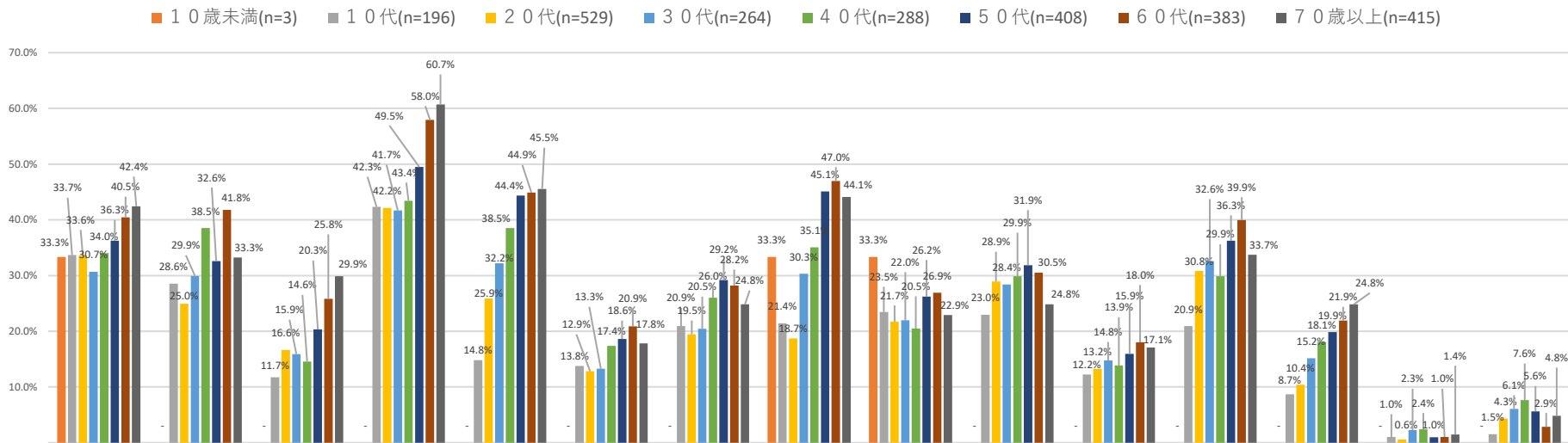
※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

# Q4 来館前に関心のあった人権問題（年齢別）

関心のある人権分野は「障がい者の人権」が49.0%で最も高く、年齢別でみると70歳以上が60.7%で特に高い。次いで、「部落差別」「女性の人権」「ハンセン病問題」「セクハラ等」「子どもの人権」の順に高く、それぞれ30%を超えている。年代別にみると、50代と60代では「障がい者の人権」に次いで「ハンセン病問題」が高い。

## Q4 来館する前に、関心を持っていた人権問題がありますか？（いくつでも）



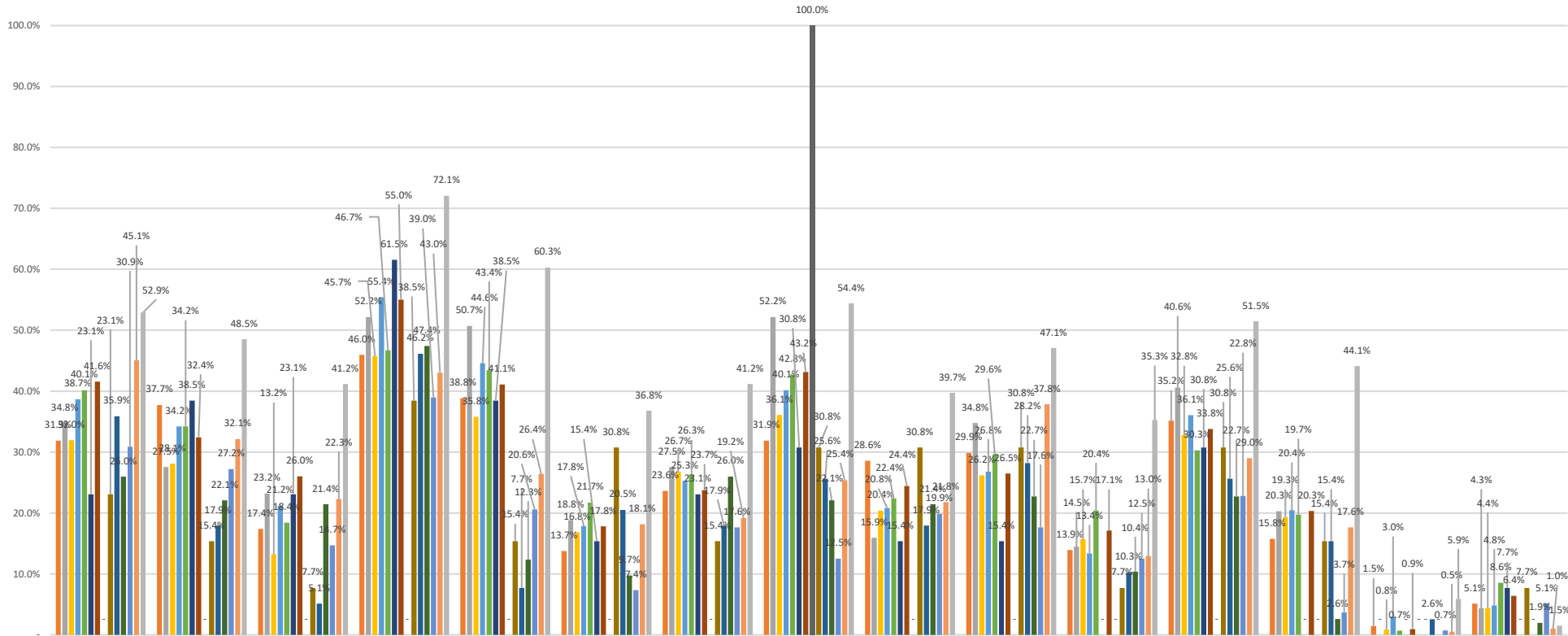
	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がい者の人権	部落差別(同和問題)	外国人の人権	コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別	ハンセン病問題	インターネット上の人権侵害	性的マイノリティに対する偏見や差別	震災等の災害に起因する偏見や差別	セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ	ヘイトスピーチ	その他	無回答
総数(n=2513)	36.4%	32.6%	20.2%	49.0%	36.5%	16.6%	24.4%	35.1%	23.6%	28.6%	15.3%	32.9%	17.5%	1.3%	4.9%
10歳未満(n=3)	33.3%	-	-	-	-	-	-	33.3%	33.3%	-	-	-	-	-	-
10代(n=196)	33.7%	28.6%	11.7%	42.3%	14.8%	13.8%	20.9%	21.4%	23.5%	23.0%	12.2%	20.9%	8.7%	1.0%	1.5%
20代(n=529)	33.6%	25.0%	16.6%	42.2%	25.9%	12.9%	19.5%	18.7%	21.7%	28.9%	13.2%	30.8%	10.4%	0.6%	4.3%
30代(n=264)	30.7%	29.9%	15.9%	41.7%	32.2%	13.3%	20.5%	30.3%	22.0%	28.4%	14.8%	32.6%	15.2%	2.3%	6.1%
40代(n=288)	34.0%	38.5%	14.6%	43.4%	38.5%	17.4%	26.0%	35.1%	20.5%	29.9%	13.9%	29.9%	18.1%	2.4%	7.6%
50代(n=408)	36.3%	32.6%	20.3%	49.5%	44.4%	18.6%	29.2%	45.1%	26.2%	31.9%	15.9%	36.3%	19.9%	1.0%	5.6%
60代(n=383)	40.5%	41.8%	25.8%	58.0%	44.9%	20.9%	28.2%	47.0%	26.9%	30.5%	18.0%	39.9%	21.9%	1.0%	2.9%
70歳以上(n=415)	42.4%	33.3%	29.9%	60.7%	45.5%	17.8%	24.8%	44.1%	22.9%	24.8%	17.1%	33.7%	24.8%	1.4%	4.8%

● …総数より10ポイント以上高い    ● …総数より10ポイント以上低い

# Q4 来館前に関心のあった人権問題（職業別：グラフ）

Q4 ご来館する前に、関心を持っていた人権問題がありますか？（いくつでも）

- 公務員（公的団体職員を含む）(n=546)
- 雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)
- 正規の被雇用者（会社員等）(n=363)
- 非正規の被雇用者(n=269)
- 自営業・自由業(n=152)
- 家族従業者・家業手伝い(n=13)
- 無職（主婦・主夫を含む）(n=438)
- 小学生(n=1)
- 中学生(n=13)
- 高校生(n=39)
- 専門学校生(n=154)
- 大学生（理系）(n=136)
- 大学生（文系）(n=193)
- その他(n=68)



	女性の人権	こどもの人権	高齢者の人権	障がい者の人権	部落差別（同和問題）	外国人の人権	コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別	ハンセン病問題	インターネット上の人権侵害	性的マイノリティに対する偏見や差別	震災等の災害に起因する偏見や差別	セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ	ヘイトスピーチ	その他	無回答
総数 (n=2513)	36.4%	32.6%	20.2%	49.0%	36.5%	16.6%	24.4%	35.1%	23.6%	28.6%	15.3%	32.9%	17.5%	1.3%	4.9%

## Q4 来館前に関心のあった人権問題（職業別：表）

職業別でみると、「専門学校生」「大学生（理系）」は、ほかに比べて数値が低い傾向がある。同じ学生でも「大学生（文系）」は、「専門学校生」「大学生（理系）」よりも数値が高い。

### Q4 ご来館する前に、関心を持っていた人権問題はありますか？（いくつでも）

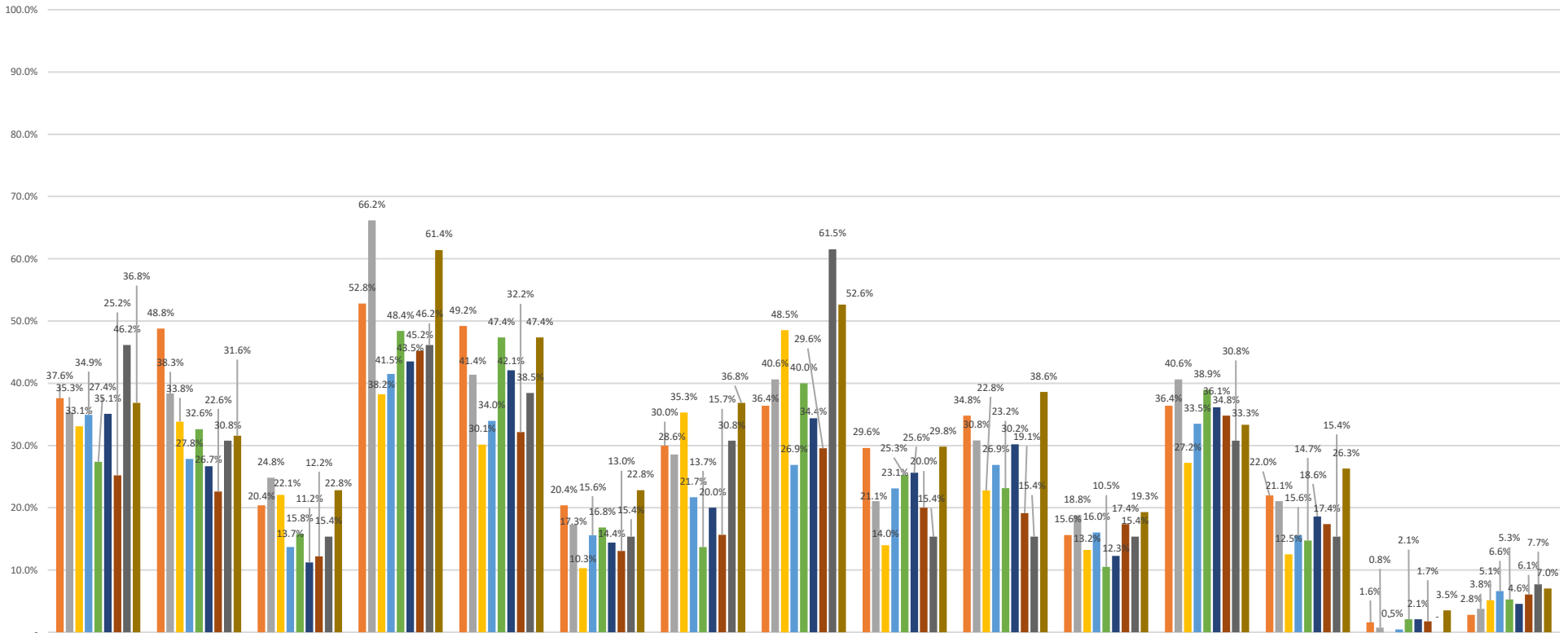
	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がい者の人権	部落差別（同和問題）	外国人の人権	コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別	ハンセン病問題	インターネット上の人権侵害	性的マイノリティに対する偏見や差別	震災等の災害に起因する偏見や差別	セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ	ヘイトスピーチ	その他	無回答
総数(n=2513)	36.4%	32.6%	20.2%	49.0%	36.5%	16.6%	24.4%	35.1%	23.6%	28.6%	15.3%	32.9%	17.5%	1.3%	4.9%
公務員（公的団体職員を含む）(n=546)	31.9%	37.7%	17.4%	46.0%	38.8%	13.7%	23.6%	31.9%	28.6%	29.9%	13.9%	35.2%	15.8%	1.5%	5.1%
雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)	34.8%	27.5%	23.2%	52.2%	50.7%	18.8%	27.5%	52.2%	15.9%	34.8%	14.5%	40.6%	20.3%	-	4.3%
正規の被雇用者（会社員等）(n=363)	32.0%	28.1%	13.2%	45.7%	35.8%	16.8%	26.7%	36.1%	20.4%	26.2%	15.7%	32.8%	19.3%	0.8%	4.4%
非正規の被雇用者(n=269)	38.7%	34.2%	21.2%	55.4%	44.6%	17.8%	25.3%	40.1%	20.8%	26.8%	13.4%	36.1%	20.4%	3.0%	4.8%
自営業・自由業(n=152)	40.1%	34.2%	18.4%	46.7%	43.4%	21.7%	26.3%	42.8%	22.4%	29.6%	20.4%	30.3%	19.7%	0.7%	8.6%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	23.1%	38.5%	23.1%	61.5%	38.5%	15.4%	23.1%	30.8%	15.4%	15.4%	-	30.8%	-	-	7.7%
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	41.6%	32.4%	26.0%	55.0%	41.1%	17.8%	23.7%	43.2%	24.4%	26.5%	17.1%	33.8%	20.3%	0.9%	6.4%
小学生(n=1)	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
中学生(n=13)	23.1%	15.4%	7.7%	38.5%	15.4%	30.8%	15.4%	30.8%	30.8%	30.8%	7.7%	30.8%	15.4%	-	7.7%
高校生(n=39)	35.9%	17.9%	5.1%	46.2%	7.7%	20.5%	17.9%	25.6%	17.9%	28.2%	10.3%	25.6%	15.4%	2.6%	-
専門学校生(n=154)	26.0%	22.1%	21.4%	47.4%	12.3%	9.7%	26.0%	22.1%	21.4%	22.7%	10.4%	22.7%	2.6%	-	1.9%
大学生（理系）(n=136)	30.9%	27.2%	14.7%	39.0%	20.6%	7.4%	17.6%	12.5%	19.9%	17.6%	12.5%	22.8%	3.7%	0.7%	5.1%
大学生（文系）(n=193)	45.1%	32.1%	22.3%	43.0%	26.4%	18.1%	19.2%	25.4%	21.8%	37.8%	13.0%	29.0%	17.6%	0.5%	1.0%
その他(n=68)	52.9%	48.5%	41.2%	72.1%	60.3%	36.8%	41.2%	54.4%	39.7%	47.1%	35.3%	51.5%	44.1%	5.9%	1.5%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

# Q4 来館前に関心のあった人権問題（仕事分野別※：グラフ）

Q4 ご来館する前に、関心を持っていた人権問題はありますか？（いくつでも）

- 教育関係の専門職(n=250)
- 福祉関係の専門職(n=133)
- 医療関係の専門職(n=136)
- 上記以外の専門職(n=212)
- 管理的職業(n=95)
- 事務・営業系の職業(n=285)
- 技能・労務・作業系の職業(n=115)
- 農林漁業職(n=13)
- その他(n=57)



	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がい者の人権	部落差別（同和問題）	外国人の人権	コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別	ハンセン病問題	インターネット上の人権侵害	性的マイノリティに対する偏見や差別	震災等の災害に起因する偏見や差別	セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ	ヘイトスピーチ	その他	無回答
総数 (n=2513)	36.4%	32.6%	20.2%	49.0%	36.5%	16.6%	24.4%	35.1%	23.6%	28.6%	15.3%	32.9%	17.5%	1.3%	4.9%

※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

## Q4 来館前に関心のあった人権問題（仕事分野別※：表）

仕事分野別でみると、「教育関係の専門職」では、「こどもの人権」「部落差別」の数値が高い。「福祉関係の専門職」では「障がい者の人権」が高い。「医療関係の専門職」では「感染症への偏見差別」「ハンセン病」が高い一方、「障がい者の人権」は低い。

### Q4 ご来館する前に、関心を持っていた人権問題がありますか？（いくつでも）

	女性の 人権	こども の人権	高齢者 の人権	障がい 者の人 権	部落差 別（同 和問題）	外国人 の人権	コロナ やエイ ズなど 感染症 に関連 する偏 見や差 別	ハンセ ン病問 題	イン ター ネット 上の人 権侵害	性的マ イノリ ティに 対する 偏見や 差別	震災等 の災害 に起因 する偏 見や差 別	セクハ ラやパ ワハラ などの ハラス メント やいじ め	ヘイト スピー チ	その他	無回答
総数(n=2513)	36.4%	32.6%	20.2%	49.0%	36.5%	16.6%	24.4%	35.1%	23.6%	28.6%	15.3%	32.9%	17.5%	1.3%	4.9%
教育関係の専門職(n=250)	37.6%	48.8%	20.4%	52.8%	49.2%	20.4%	30.0%	36.4%	29.6%	34.8%	15.6%	36.4%	22.0%	1.6%	2.8%
福祉関係の専門職(n=133)	35.3%	38.3%	24.8%	66.2%	41.4%	17.3%	28.6%	40.6%	21.1%	30.8%	18.8%	40.6%	21.1%	0.8%	3.8%
医療関係の専門職(n=136)	33.1%	33.8%	22.1%	38.2%	30.1%	10.3%	35.3%	48.5%	14.0%	22.8%	13.2%	27.2%	12.5%	-	5.1%
上記以外の専門職(n=212)	34.9%	27.8%	13.7%	41.5%	34.0%	15.6%	21.7%	26.9%	23.1%	26.9%	16.0%	33.5%	15.6%	0.5%	6.6%
管理的職業(n=95)	27.4%	32.6%	15.8%	48.4%	47.4%	16.8%	13.7%	40.0%	25.3%	23.2%	10.5%	38.9%	14.7%	2.1%	5.3%
事務・営業系の職業(n=285)	35.1%	26.7%	11.2%	43.5%	42.1%	14.4%	20.0%	34.4%	25.6%	30.2%	12.3%	36.1%	18.6%	2.1%	4.6%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	25.2%	22.6%	12.2%	45.2%	32.2%	13.0%	15.7%	29.6%	20.0%	19.1%	17.4%	34.8%	17.4%	1.7%	6.1%
農林漁業職(n=13)	46.2%	30.8%	15.4%	46.2%	38.5%	15.4%	30.8%	61.5%	15.4%	15.4%	15.4%	30.8%	15.4%	-	7.7%
その他(n=57)	36.8%	31.6%	22.8%	61.4%	47.4%	22.8%	36.8%	52.6%	29.8%	38.6%	19.3%	33.3%	26.3%	3.5%	7.0%

※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

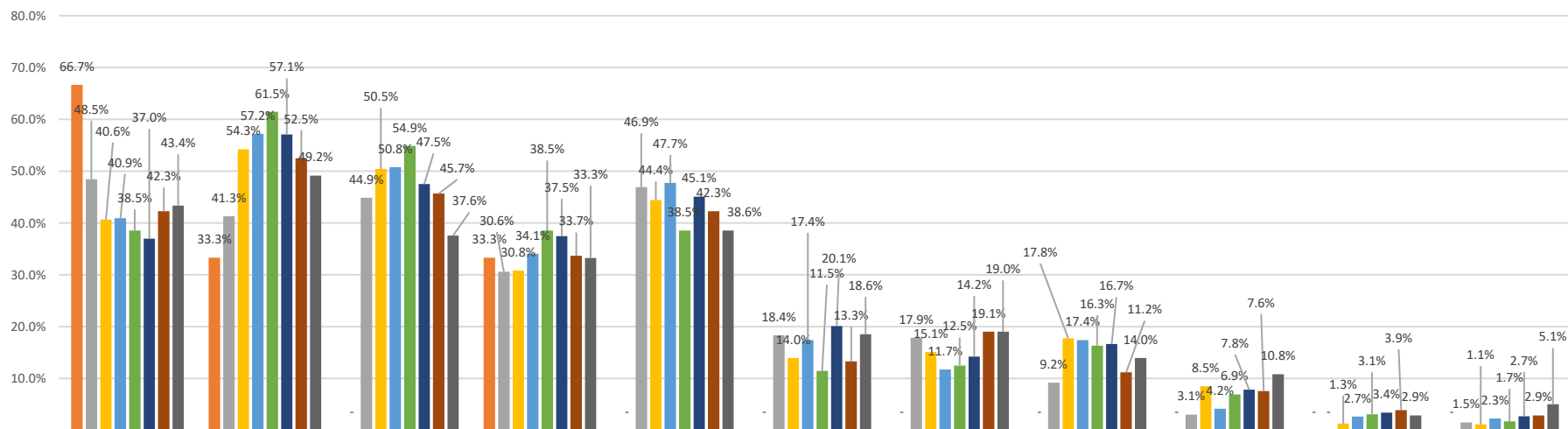
■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

## Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと（年齢別）

「ハンセン病対策の歴史」が53.6%と最も高く、次いで「療養所での暮らし」47.1%、「元患者・家族への偏見・差別」43.0%、「ハンセン病の原因や症状、治療法」41.1%の順に高い。年齢別で見ると、10代では「ハンセン病の原因や症状、治療法」「元患者・家族への偏見・差別」が平均より高く、「ハンセン病対策の歴史」は平均より10ポイント以上低い。

### Q5本日のご来館で、知りたい（学びたい）ことは何でしたか？（いくつでも）

■ 10歳未満(n=3) ■ 10代(n=196) ■ 20代(n=529) ■ 30代(n=264) ■ 40代(n=288) ■ 50代(n=408) ■ 60代(n=383) ■ 70歳以上(n=415)



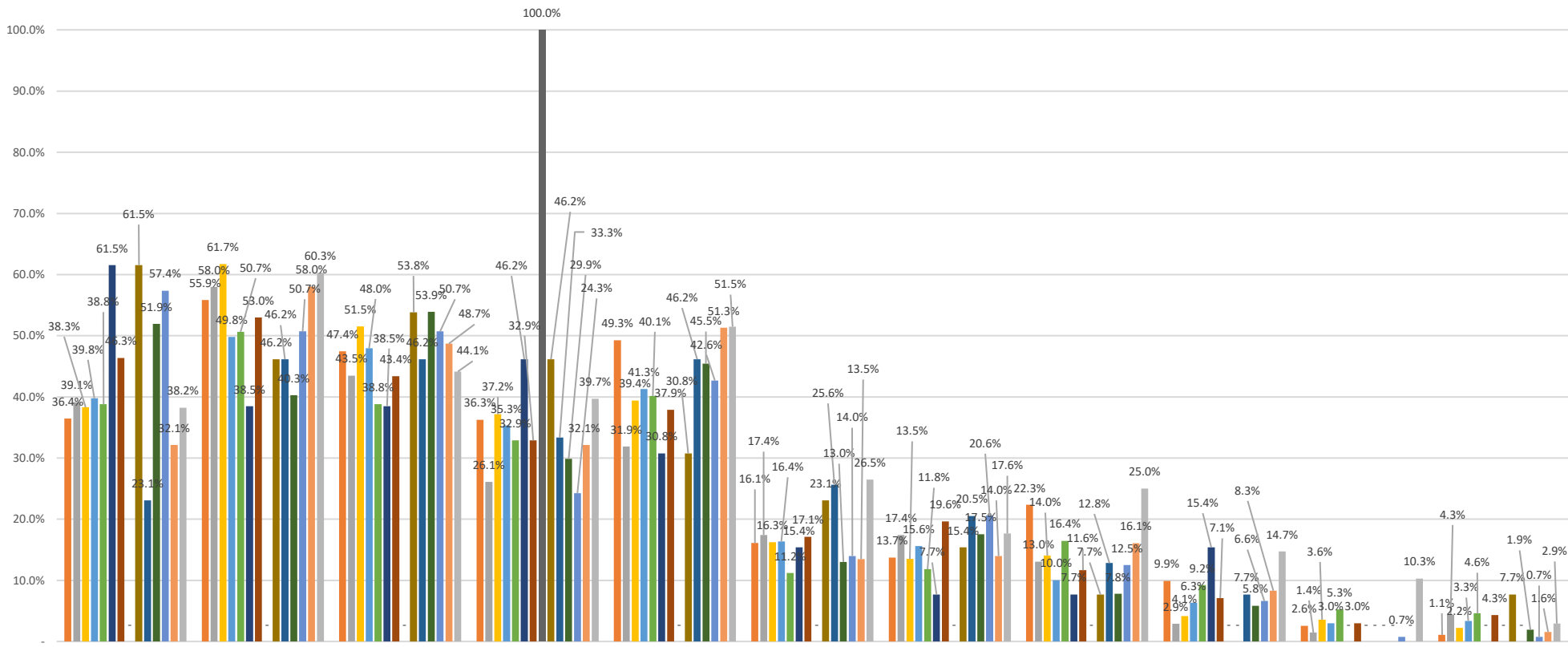
	ハンセン病の原因や症状、治療法	ハンセン病対策の歴史	療養所での暮らし	元患者・回復者の声や証言	元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別	ハンセン病を巡る訴訟や判決	世界のハンセン病の現状	他の人権問題との共通点や相違点	他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み	その他	無回答
総数(n=2513)	41.1%	53.6%	47.1%	34.0%	43.0%	16.1%	15.7%	15.2%	7.6%	2.6%	2.6%
10歳未満(n=3)	66.7%	33.3%	-	33.3%	-	-	-	-	-	-	-
10代(n=196)	48.5%	41.3%	44.9%	30.6%	46.9%	18.4%	17.9%	9.2%	3.1%	-	1.5%
20代(n=529)	40.6%	54.3%	50.5%	30.8%	44.4%	14.0%	15.1%	17.8%	8.5%	1.3%	1.1%
30代(n=264)	40.9%	57.2%	50.8%	34.1%	47.7%	17.4%	11.7%	17.4%	4.2%	2.7%	2.3%
40代(n=288)	38.5%	61.5%	54.9%	38.5%	38.5%	11.5%	12.5%	16.3%	6.9%	3.1%	1.7%
50代(n=408)	37.0%	57.1%	47.5%	37.5%	45.1%	20.1%	14.2%	16.7%	7.8%	3.4%	2.7%
60代(n=383)	42.3%	52.5%	45.7%	33.7%	42.3%	13.3%	19.1%	11.2%	7.6%	3.9%	2.9%
70歳以上(n=415)	43.4%	49.2%	37.6%	33.3%	38.6%	18.6%	19.0%	14.0%	10.8%	2.9%	5.1%

● …総数より10ポイント以上高い ● …総数より10ポイント以上低い

# Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと（職業別：グラフ）

## Q5 本日のご来館で、知りたい（学びたい）ことは何でしたか？（いくつでも）

- 公務員（公的団体職員を含む）(n=546)
- 雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)
- 正規の被雇用者（会社員等）(n=363)
- 非正規の被雇用者(n=269)
- 自営業・自由業(n=152)
- 家族従業者・家業手伝い(n=13)
- 無職（主婦・主夫を含む）(n=438)
- 小学生(n=1)
- 中学生(n=13)
- 高校生(n=39)
- 専門学校生(n=154)
- 大学生（理系）(n=136)
- 大学生（文系）(n=193)
- その他(n=68)



職業	ハンセン病の原因や症状、治療法	ハンセン病対策の歴史	療養所での暮らし	元患者・回復者の声や証言	元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別	ハンセン病を巡る訴訟や判決	世界のハンセン病の現状	他の人権問題との共通点や相違点	他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み	その他	無回答
総数(n=2513)	41.1%	53.6%	47.1%	34.0%	43.0%	16.1%	15.7%	15.2%	7.6%	2.6%	2.6%

## Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと（職業別：表）

職業別でみると、「正規の被雇用者」では「ハンセン病対策の歴史」が高く（61.7%）、「専門学校生」で低い（40.3%）。  
「専門学校生」「大学生（理系）」では、「ハンセン病の原因や症状、治療法」が平均より10ポイント以上高い。

### Q5 本日のご来館で、知りたい（学びたい）ことは何でしたか？（いくつでも）

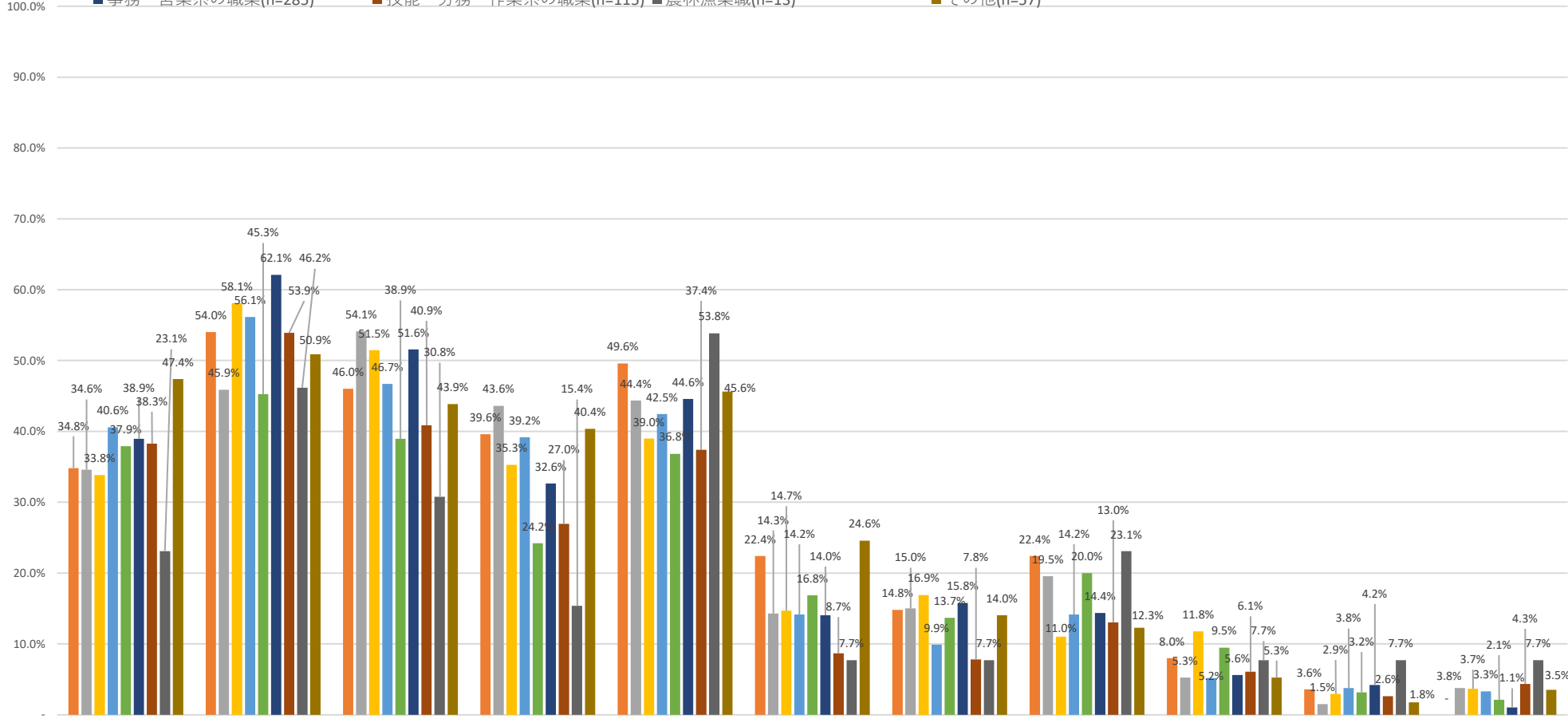
	ハンセン病の原因や症状、治療法	ハンセン病対策の歴史	療養所での暮らし	元患者・回復者の声や証言	元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別	ハンセン病を巡る訴訟や判決	世界のハンセン病の現状	他の人権問題との共通点や相違点	他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み	その他	無回答
総数(n=2513)	41.1%	53.6%	47.1%	34.0%	43.0%	16.1%	15.7%	15.2%	7.6%	2.6%	2.6%
公務員（公的団体職員を含む） (n=546)	36.4%	55.9%	47.4%	36.3%	49.3%	16.1%	13.7%	22.3%	9.9%	2.6%	1.1%
雇用者（会社役員、管理職等） (n=69)	39.1%	58.0%	43.5%	26.1%	31.9%	17.4%	17.4%	13.0%	2.9%	1.4%	4.3%
正規の被雇用者（会社員等） (n=363)	38.3%	61.7%	51.5%	37.2%	39.4%	16.3%	13.5%	14.0%	4.1%	3.6%	2.2%
非正規の被雇用者(n=269)	39.8%	49.8%	48.0%	35.3%	41.3%	16.4%	15.6%	10.0%	6.3%	3.0%	3.3%
自営業・自由業(n=152)	38.8%	50.7%	38.8%	32.9%	40.1%	11.2%	11.8%	16.4%	9.2%	5.3%	4.6%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	61.5%	38.5%	38.5%	46.2%	30.8%	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	-	-
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	46.3%	53.0%	43.4%	32.9%	37.9%	17.1%	19.6%	11.6%	7.1%	3.0%	4.3%
小学生(n=1)	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
中学生(n=13)	61.5%	46.2%	53.8%	46.2%	30.8%	23.1%	15.4%	7.7%	-	-	7.7%
高校生(n=39)	23.1%	46.2%	46.2%	33.3%	46.2%	25.6%	20.5%	12.8%	7.7%	-	-
専門学校生(n=154)	51.9%	40.3%	53.9%	29.9%	45.5%	13.0%	17.5%	7.8%	5.8%	-	1.9%
大学生（理系）(n=136)	57.4%	50.7%	50.7%	24.3%	42.6%	14.0%	20.6%	12.5%	6.6%	0.7%	0.7%
大学生（文系）(n=193)	32.1%	58.0%	48.7%	32.1%	51.3%	13.5%	14.0%	16.1%	8.3%	-	1.6%
その他(n=68)	38.2%	60.3%	44.1%	39.7%	51.5%	26.5%	17.6%	25.0%	14.7%	10.3%	2.9%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

# Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと（仕事分野別※：グラフ）

Q5 本日のご来館で、知りたい（学びたい）ことは何でしたか？（いくつでも）

- 教育関係の専門職(n=250)
- 福祉関係の専門職(n=133)
- 医療関係の専門職(n=136)
- 上記以外の専門職(n=212)
- 管理的職業(n=95)
- 事務・営業系の職業(n=285)
- 技能・労務・作業系の職業(n=115)
- 農林漁業職(n=13)
- その他(n=57)



職業分野	ハンセン病の原因や症状、治療法	ハンセン病対策の歴史	療養所での暮らし	元患者・回復者の声や証言	元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別	ハンセン病を巡る訴訟や判決	世界のハンセン病の現状	他の人権問題との共通点や相違点	他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み	その他	無回答
総数(n=2513)	41.1%	53.6%	47.1%	34.0%	43.0%	16.1%	15.7%	15.2%	7.6%	2.6%	2.6%

※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

## Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと（仕事分野別※：表）

仕事分野別でみると、「教育関係の専門職」では「元患者・家族への偏見差別」が高い。「福祉関係の専門職」では「元患者の声」が平均よりも10ポイント近く高い。また「療養所での暮らし」も高い。「医療関係の専門職」では「ハンセン病対策の歴史」と「療養所での暮らし」が高い。

### Q5 本日のご来館で、知りたい（学びたい）ことは何でしたか？（いくつでも）

	ハンセン病の原因や症状、治療法	ハンセン病対策の歴史	療養所での暮らし	元患者・回復者の声や証言	元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別	ハンセン病を巡る訴訟や判決	世界のハンセン病の現状	他の人権問題との共通点や相違点	他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み	その他	無回答
総数(n=2513)	41.1%	53.6%	47.1%	34.0%	43.0%	16.1%	15.7%	15.2%	7.6%	2.6%	2.6%
教育関係の専門職(n=250)	34.8%	54.0%	46.0%	39.6%	<b>49.6%</b>	22.4%	14.8%	22.4%	8.0%	3.6%	-
福祉関係の専門職(n=133)	34.6%	45.9%	<b>54.1%</b>	<b>43.6%</b>	44.4%	14.3%	15.0%	19.5%	5.3%	1.5%	3.8%
医療関係の専門職(n=136)	33.8%	<b>58.1%</b>	<b>51.5%</b>	35.3%	39.0%	14.7%	16.9%	11.0%	11.8%	2.9%	3.7%
上記以外の専門職(n=212)	40.6%	56.1%	46.7%	39.2%	42.5%	14.2%	9.9%	14.2%	5.2%	3.8%	3.3%
管理的職業(n=95)	37.9%	45.3%	38.9%	24.2%	36.8%	16.8%	13.7%	20.0%	9.5%	3.2%	2.1%
事務・営業系の職業(n=285)	38.9%	<b>62.1%</b>	51.6%	32.6%	44.6%	14.0%	15.8%	14.4%	5.6%	4.2%	1.1%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	38.3%	53.9%	40.9%	27.0%	37.4%	8.7%	7.8%	13.0%	6.1%	2.6%	4.3%
農林漁業職(n=13)	23.1%	46.2%	30.8%	15.4%	53.8%	7.7%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%
その他(n=57)	47.4%	50.9%	43.9%	40.4%	45.6%	24.6%	14.0%	12.3%	5.3%	1.8%	3.5%

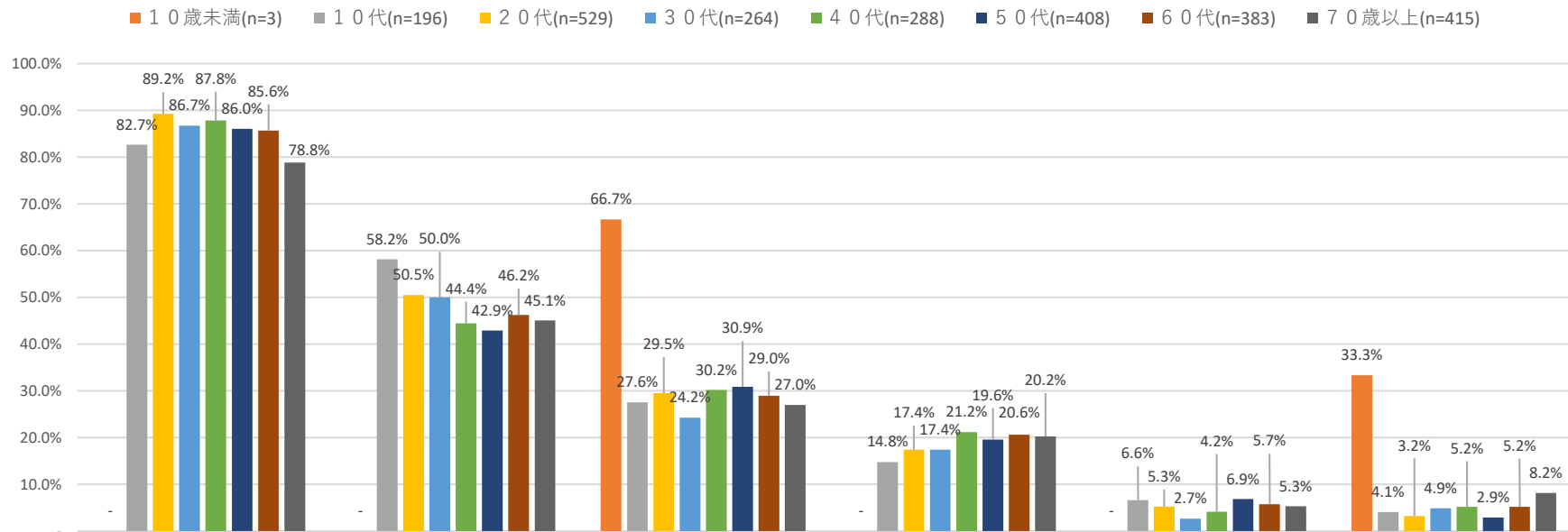
※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

# Q6 資料館で見学・利用したもの（年齢別：表）

「常設展示室」が85.1%と最も高い。年齢別でみると、「常設展示室」は20代で高くなっている。次いで「証言映像コーナー」（47.3%）が高い。年齢別でみると、10代が最も高く、次いで20代、30代で高くなっている。

## Q6 本日のご来館で、見学・利用・参加されたものはどれですか？（いくつでも）



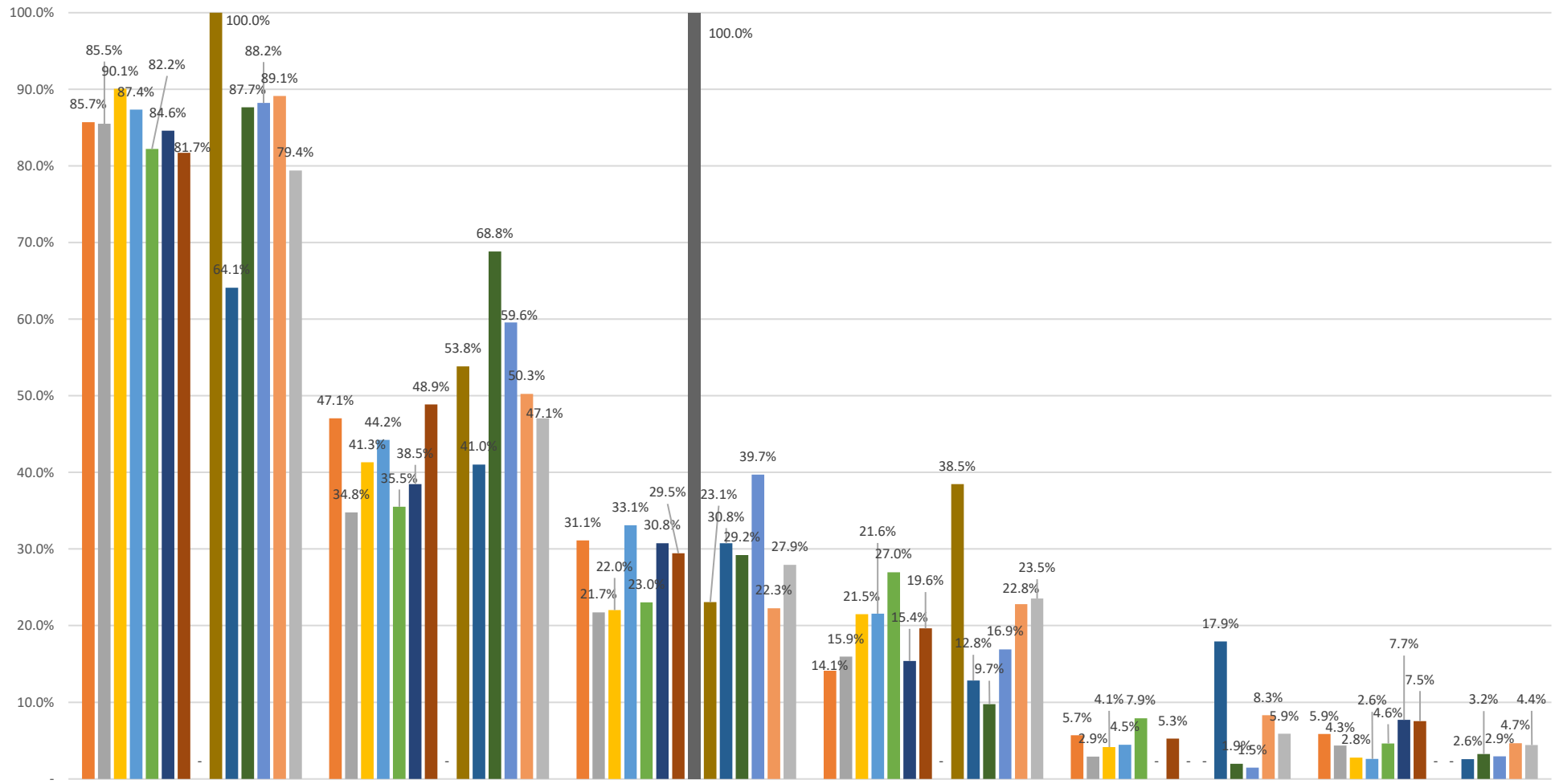
	常設展示室	証言映像コーナー	企画展	図書室	その他イベントなど	無回答
総数(n=2513)	85.1%	47.3%	28.5%	18.9%	5.3%	5.0%
10歳未満(n=3)	-	-	66.7%	-	-	33.3%
10代(n=196)	82.7%	58.2%	27.6%	14.8%	6.6%	4.1%
20代(n=529)	89.2%	50.5%	29.5%	17.4%	5.3%	3.2%
30代(n=264)	86.7%	50.0%	24.2%	17.4%	2.7%	4.9%
40代(n=288)	87.8%	44.4%	30.2%	21.2%	4.2%	5.2%
50代(n=408)	86.0%	42.9%	30.9%	19.6%	6.9%	2.9%
60代(n=383)	85.6%	46.2%	29.0%	20.6%	5.7%	5.2%
70歳以上(n=415)	78.8%	45.1%	27.0%	20.2%	5.3%	8.2%

● …総数より10ポイント以上高い    ● …総数より10ポイント以上低い

# Q6 資料館で見学・利用したものの（職業別：グラフ）

Q6 本日の来館で、見学・利用・参加されたものはどれですか？（いくつでも）

- 公務員（公的団体職員を含む）(n=546)
- 雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)
- 正規の被雇用者（会社員等）(n=363)
- 非正規の被雇用者(n=269)
- 自営業・自由業(n=152)
- 家族従業者・家業手伝い(n=13)
- 無職（主婦・主夫を含む）(n=438)
- 小学生(n=1)
- 中学生(n=13)
- 高校生(n=39)
- 専門学校生(n=154)
- 大学生（理系）(n=136)
- 大学生（文系）(n=193)
- その他(n=68)



総数(n=2513)	85.1%	47.3%	28.5%	18.9%	5.3%	5.0%
------------	-------	-------	-------	-------	------	------

## Q6 資料館で見学・利用したもの（職業別：表）

職業別でみると、「正規の被雇用者」で「常設展示室」が最も高くなっている。「専門学校生」「大学生（理系）」では「証言映像コーナー」が特に高くなっている。「大学生（理系）」は「企画展」も高い。

### Q6 本日のご来館で、見学・利用・参加されたものはどれですか？（いくつでも）

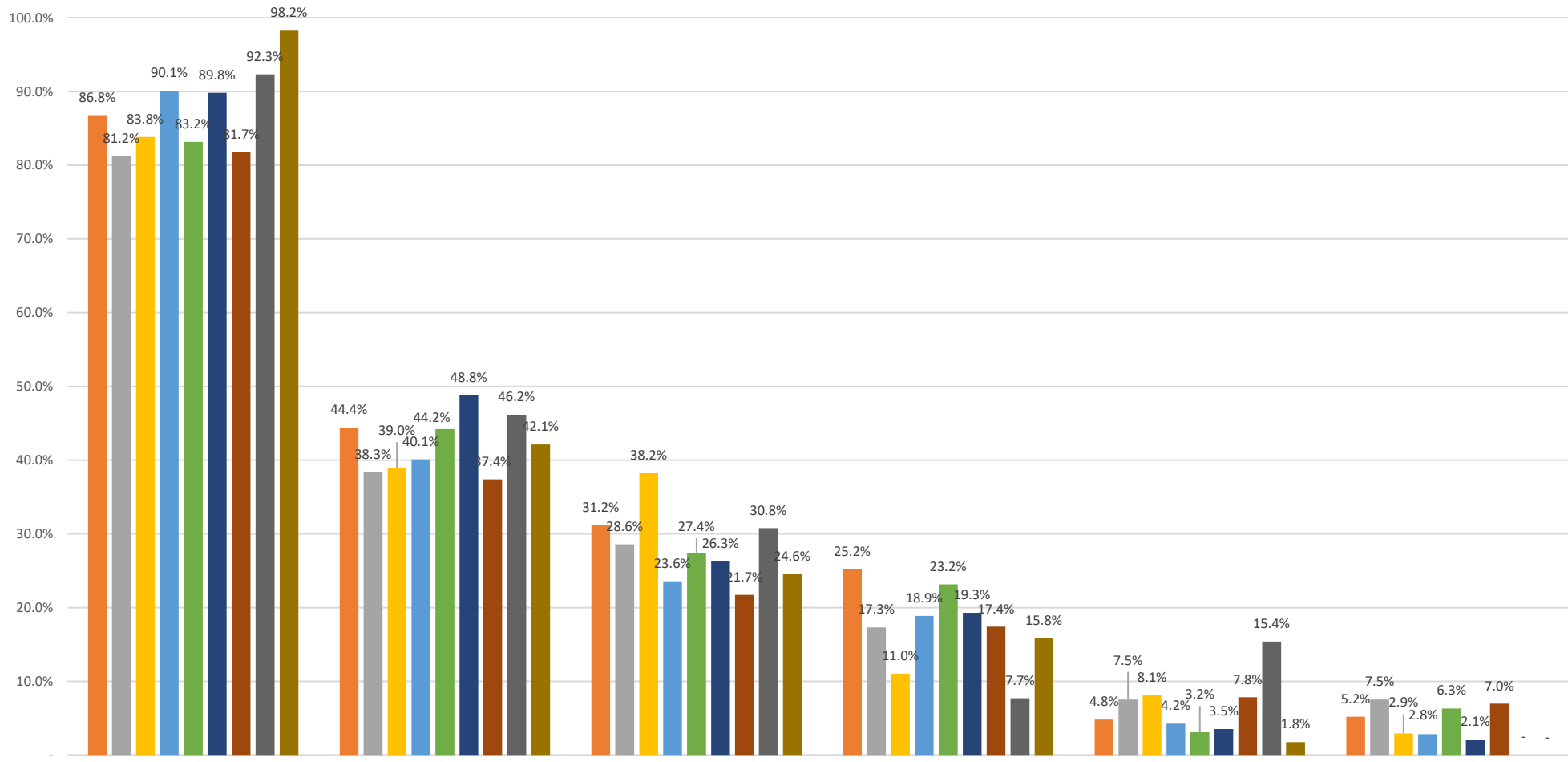
	常設展示室	証言映像コーナー	企画展	図書室	その他イベントなど	無回答
総数(n=2513)	85.1%	47.3%	28.5%	18.9%	5.3%	5.0%
公務員（公的団体職員を含む）(n=546)	85.7%	47.1%	31.1%	14.1%	5.7%	5.9%
雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)	85.5%	34.8%	21.7%	15.9%	2.9%	4.3%
正規の被雇用者（会社員等）(n=363)	<b>90.1%</b>	41.3%	22.0%	21.5%	4.1%	2.8%
非正規の被雇用者(n=269)	87.4%	44.2%	33.1%	21.6%	4.5%	2.6%
自営業・自由業(n=152)	82.2%	35.5%	23.0%	27.0%	7.9%	4.6%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	84.6%	38.5%	30.8%	15.4%	-	7.7%
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	81.7%	48.9%	29.5%	19.6%	5.3%	7.5%
小学生(n=1)	-	-	100.0%	-	-	-
中学生(n=13)	100.0%	53.8%	23.1%	38.5%	-	-
高校生(n=39)	64.1%	41.0%	30.8%	12.8%	17.9%	2.6%
専門学校生(n=154)	87.7%	68.8%	29.2%	9.7%	1.9%	3.2%
大学生（理系）(n=136)	88.2%	59.6%	39.7%	16.9%	1.5%	2.9%
大学生（文系）(n=193)	89.1%	50.3%	22.3%	22.8%	8.3%	4.7%
その他(n=68)	79.4%	47.1%	27.9%	23.5%	5.9%	4.4%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

# Q6 資料館で見学・利用したものの（仕事分野別※：グラフ）

Q6 本日のご来館で、見学・利用・参加されたものはどれですか？（いくつでも）

- 教育関係の専門職(n=250)
- 福祉関係の専門職(n=133)
- 医療関係の専門職(n=136)
- 上記以外の専門職(n=212)
- 管理的職業(n=95)
- 事務・営業系の職業(n=285)
- 技能・労務・作業系の職業(n=115)
- 農林漁業職(n=13)
- その他(n=57)



総数(n=2513)	常設展示室 85.1%	証言映像コーナー 47.3%	企画展 28.5%	図書室 18.9%	その他イベントなど 5.3%	無回答 5.0%
------------	-------------	----------------	-----------	-----------	----------------	----------

※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

## Q6 資料館で見学・利用したもの（仕事分野別※：表）

仕事分野別でみると、「教育・福祉・医療関係以外の専門職」「事務・営業系の職業」で「常設展示室」が高くなっている。「医療関係の専門職」では、「企画展」がほかに比べて高い。「福祉関係の専門職」と「医療関係の専門職」では、「証言映像コーナー」がほかよりも低い。

### Q6 本日のご来館で、見学・利用・参加されたものはどれですか？（いくつでも）

	常設展示室	証言映像コーナー	企画展	図書室	その他イベントなど	無回答
総数(n=2513)	85.1%	47.3%	28.5%	18.9%	5.3%	5.0%
教育関係の専門職(n=250)	86.8%	44.4%	31.2%	25.2%	4.8%	5.2%
福祉関係の専門職(n=133)	81.2%	38.3%	28.6%	17.3%	7.5%	7.5%
医療関係の専門職(n=136)	83.8%	39.0%	<b>38.2%</b>	11.0%	8.1%	2.9%
上記以外の専門職(n=212)	<b>90.1%</b>	40.1%	23.6%	18.9%	4.2%	2.8%
管理的職業(n=95)	83.2%	44.2%	27.4%	23.2%	3.2%	6.3%
事務・営業系の職業(n=285)	<b>89.8%</b>	48.8%	26.3%	19.3%	3.5%	2.1%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	81.7%	37.4%	21.7%	17.4%	7.8%	7.0%
農林漁業職(n=13)	92.3%	46.2%	30.8%	7.7%	15.4%	-
その他(n=57)	98.2%	42.1%	24.6%	15.8%	1.8%	-

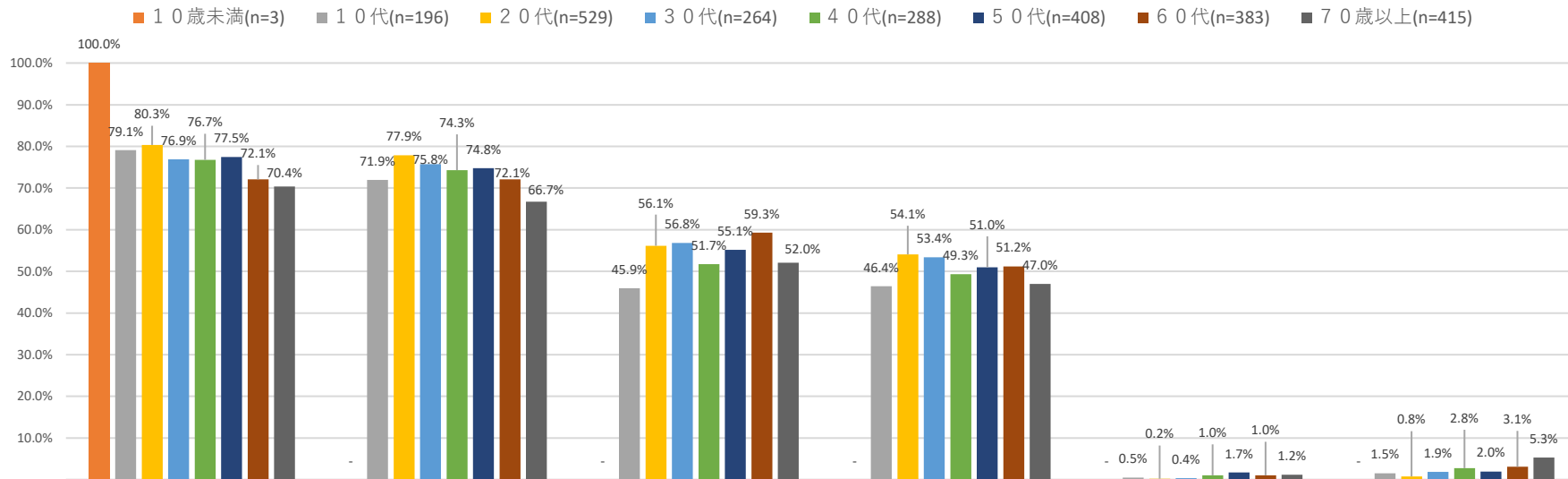
※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

## Q7 来館後の理解の深まり（年齢別）

「日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史」が75.6%で最も高く、次いで「療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態」が73.1%。「生き抜いた証」「名誉回復を図ることの大切さ」は50%台であった。  
年齢別でみると、「日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史」は20代で高くなっている。

### Q7 本日のご来館で、ハンセン病問題についての理解が深まりましたか？（いくつでも※）



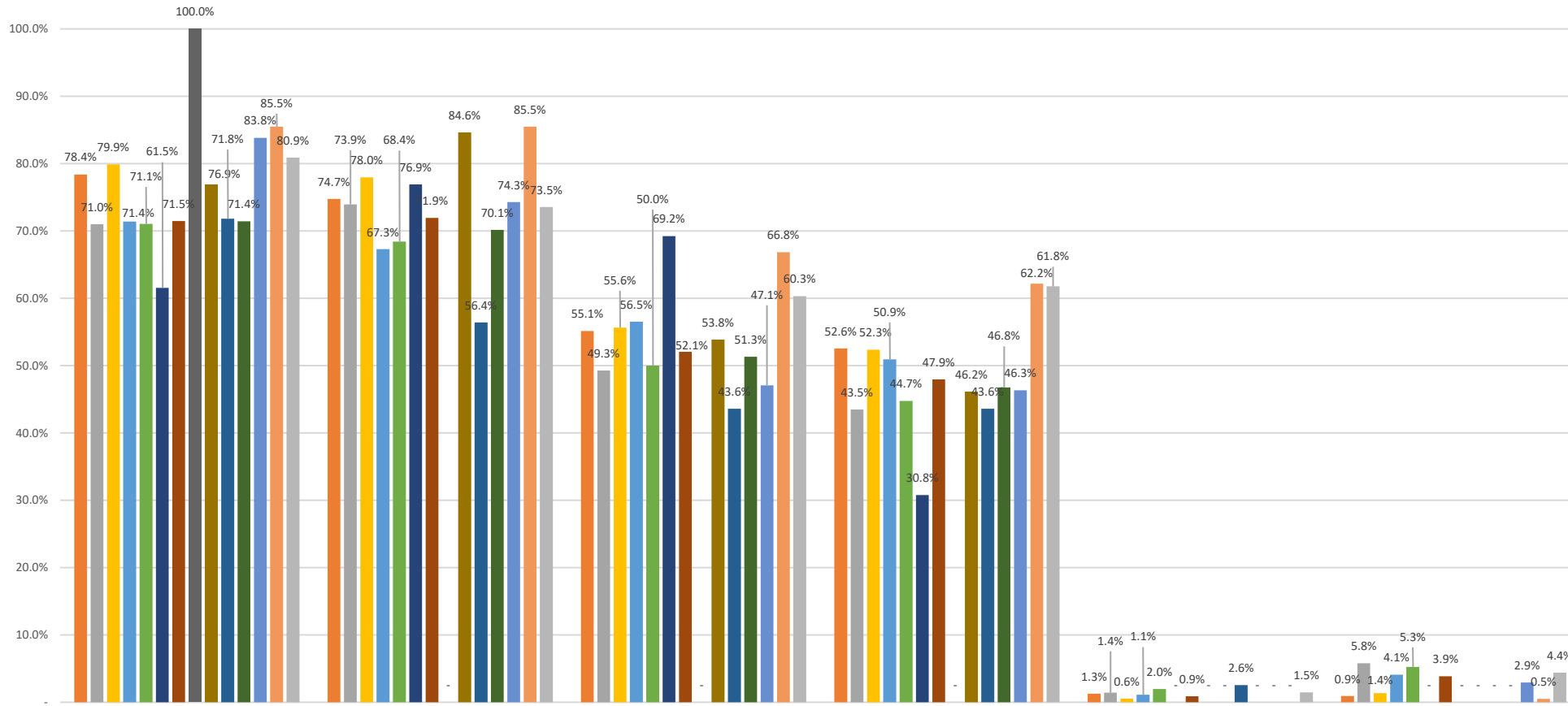
	日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた	療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった	ハンセン病の患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた	ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった	特に深まらなかった	無回答
総数(n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%
10歳未満(n=3)	100.0%	-	-	-	-	-
10代(n=196)	79.1%	71.9%	45.9%	46.4%	0.5%	1.5%
20代(n=529)	<b>80.3%</b>	77.9%	56.1%	54.1%	0.2%	0.8%
30代(n=264)	76.9%	75.8%	56.8%	53.4%	0.4%	1.9%
40代(n=288)	76.7%	74.3%	51.7%	49.3%	1.0%	2.8%
50代(n=408)	77.5%	74.8%	55.1%	51.0%	1.7%	2.0%
60代(n=383)	72.1%	72.1%	59.3%	51.2%	1.0%	3.1%
70歳以上(n=415)	70.4%	66.7%	52.0%	47.0%	1.2%	5.3%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q7 来館後の理解の深まり (職業別 : グラフ)

Q7 本日のご来館で、ハンセン病問題についての理解が深まりましたか？ (いくつでも※)

- 公務員 (公的団体職員を含む) (n=546)
- 雇用者 (会社役員、管理職等) (n=69)
- 正規の被雇用者 (会社員等) (n=363)
- 非正規の被雇用者 (n=269)
- 自営業・自由業 (n=152)
- 家族従業者・家業手伝い (n=13)
- 無職 (主婦・主夫を含む) (n=438)
- 小学生 (n=1)
- 中学生 (n=13)
- 高校生 (n=39)
- 専門学校生 (n=154)
- 大学生 (理系) (n=136)
- 大学生 (文系) (n=136)
- その他 (n=68)



	日本のハンセン病対策 (隔離政策) の歴史がよく理解できた	療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった	ハンセン病の患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた	ハンセン病の元患者 (回復者) や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった	特に深まらなかった	無回答
総数 (n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%

※ 「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q7 来館後の理解の深まり（職業別：表）

職業別でみると、「大学生（文系）」で「療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態」「生き抜いた証」「名誉回復を図ることの大切さ」が高くなっている。

### Q7 本日のご来館で、ハンセン病問題についての理解が深まりましたか？（いくつでも※）

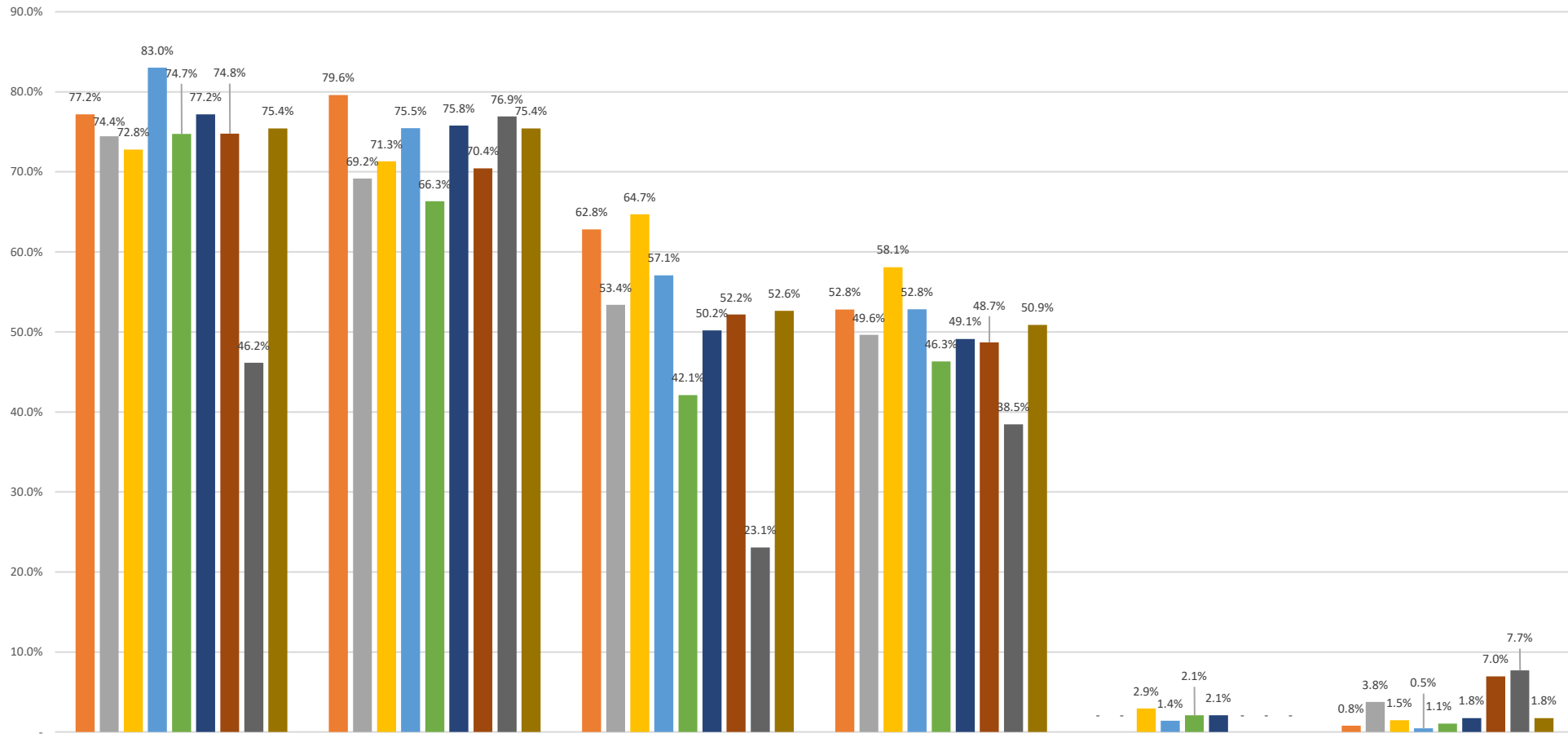
	日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた	療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった	ハンセン病の患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた	ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった	特に深まらなかった	無回答
総数(n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%
公務員（公的団体職員を含む）(n=546)	78.4%	74.7%	55.1%	52.6%	1.3%	0.9%
雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)	71.0%	73.9%	49.3%	43.5%	1.4%	5.8%
正規の被雇用者（会社員等）(n=363)	79.9%	78.0%	55.6%	52.3%	0.6%	1.4%
非正規の被雇用者(n=269)	71.4%	67.3%	56.5%	50.9%	1.1%	4.1%
自営業・自由業(n=152)	71.1%	68.4%	50.0%	44.7%	2.0%	5.3%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	61.5%	76.9%	69.2%	30.8%	-	-
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	71.5%	71.9%	52.1%	47.9%	0.9%	3.9%
小学生(n=1)	100.0%	-	-	-	-	-
中学生(n=13)	76.9%	84.6%	53.8%	46.2%	-	-
高校生(n=39)	71.8%	56.4%	43.6%	43.6%	2.6%	-
専門学校生(n=154)	71.4%	70.1%	51.3%	46.8%	-	-
大学生（理系）(n=136)	83.8%	74.3%	47.1%	46.3%	-	2.9%
大学生（文系）(n=193)	85.5%	85.5%	66.8%	62.2%	-	0.5%
その他(n=68)	80.9%	73.5%	60.3%	61.8%	1.5%	4.4%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q7 来館後の理解の深まり（仕事分野別※1：グラフ）

Q7 本日のご来館で、ハンセン病問題についての理解が深まりましたか？（いくつでも※2）

- 教育関係の専門職(n=250)
- 福祉関係の専門職(n=133)
- 医療関係の専門職(n=136)
- 上記以外の専門職(n=212)
- 管理的職業(n=95)
- 事務・営業系の職業(n=285)
- 技能・労務・作業系の職業(n=115)
- 農林漁業職(n=13)
- その他(n=57)



	日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた	療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった	ハンセン病の患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた	ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった	特に深まらなかった	無回答
総数(n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%

※1 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399） ※2 「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q7 来館後の理解の深まり（仕事分野別※<sup>1</sup>：表）

仕事分野別でみると、「教育関係の専門職」では「療養所での過酷な暮らし」が高い。  
「医療関係の専門職」では「生き抜いた証」が64.7%、「名誉回復を図ることの大切さ」が58.1%で、ほかの仕事分野より高くなっている。

### Q7 本日のご来館で、ハンセン病問題についての理解が深まりましたか？（いくつでも※）

	日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた	療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった	ハンセン病患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた	ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった	特に深まらなかった	無回答
総数(n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%
教育関係の専門職(n=250)	77.2%	<b>79.6%</b>	62.8%	52.8%	-	0.8%
福祉関係の専門職(n=133)	74.4%	69.2%	53.4%	49.6%	-	3.8%
医療関係の専門職(n=136)	72.8%	71.3%	<b>64.7%</b>	<b>58.1%</b>	2.9%	1.5%
上記以外の専門職(n=212)	83.0%	75.5%	57.1%	52.8%	1.4%	0.5%
管理的職業(n=95)	74.7%	66.3%	42.1%	46.3%	2.1%	1.1%
事務・営業系の職業(n=285)	77.2%	75.8%	50.2%	49.1%	2.1%	1.8%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	74.8%	70.4%	52.2%	48.7%	-	7.0%
農林漁業職(n=13)	46.2%	76.9%	23.1%	38.5%	-	7.7%
その他(n=57)	75.4%	75.4%	52.6%	50.9%	-	1.8%

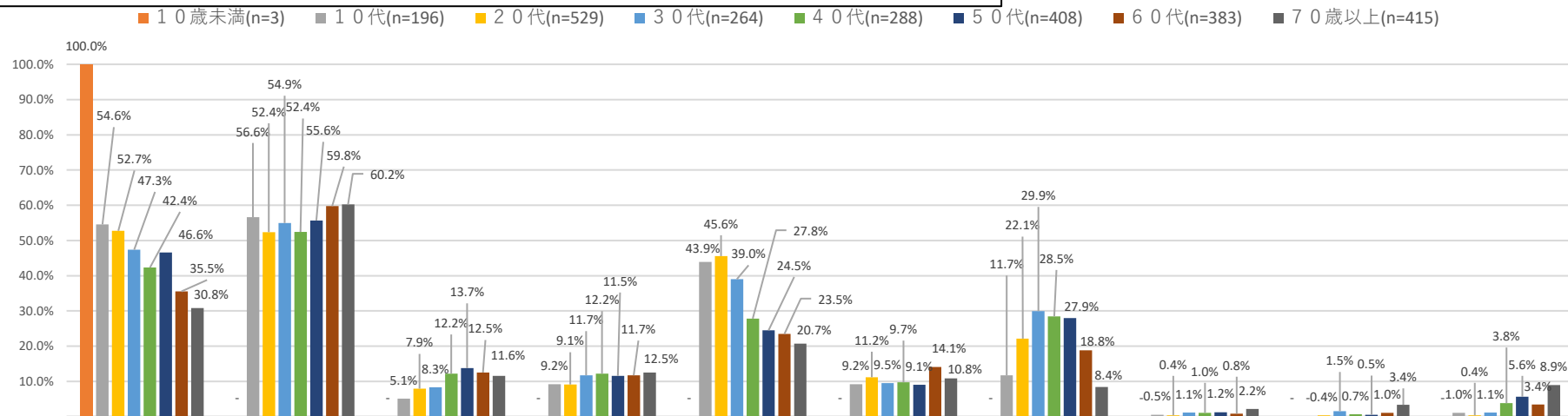
■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※<sup>1</sup> 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n=1399）

※<sup>2</sup> 「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q8 来館後の意識・考えの変化（年齢別）

「周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った」が55.4%と最も高く、次いで「ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった」（43.7%）となっている。年齢別で見ると「知ってほしい、伝えたい」は60代、70歳以上でやや高く、「もっと知りたくなった」は10代、20代で高い。10代、20代では、「他の人権問題についても知りたくなった」が平均より10ポイント以上高い。

### Q8 本日のご来館で、あなたの意識や考えに変化はありましたか？（いくつでも※）

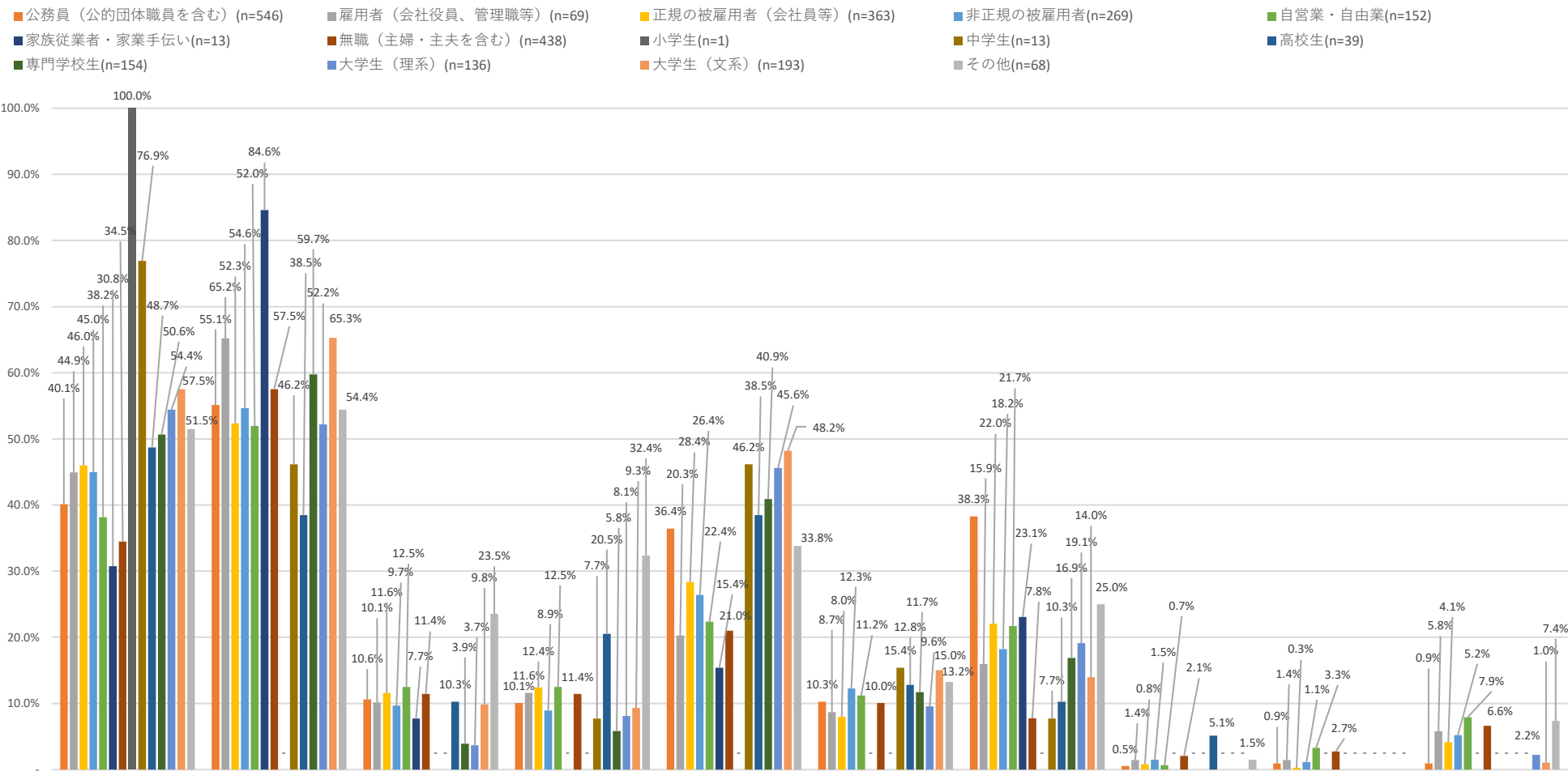


	ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった	周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った	ハンセン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った	ハンセン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った	他の人権問題についても詳しく知りたくなった	ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくするために自分でできることをやってみようと思った	業務や仕事の中で生かしていきたいと思った	その他	特に変化はなかった	無回答
総数(n=2513)	43.7%	55.4%	10.5%	11.0%	31.5%	10.6%	20.9%	1.0%	1.1%	4.3%
10歳未満(n=3)	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代(n=196)	54.6%	56.6%	5.1%	9.2%	43.9%	9.2%	11.7%	0.5%	-	1.0%
20代(n=529)	52.7%	52.4%	7.9%	9.1%	45.6%	11.2%	22.1%	0.4%	0.4%	0.4%
30代(n=264)	47.3%	54.9%	8.3%	11.7%	39.0%	9.5%	29.9%	1.1%	1.5%	1.1%
40代(n=288)	42.4%	52.4%	12.2%	12.2%	27.8%	9.7%	28.5%	1.0%	0.7%	3.8%
50代(n=408)	46.6%	55.6%	13.7%	11.5%	24.5%	9.1%	27.9%	1.2%	0.5%	5.6%
60代(n=383)	35.5%	59.8%	12.5%	11.7%	23.5%	14.1%	18.8%	0.8%	1.0%	3.4%
70歳以上(n=415)	30.8%	60.2%	11.6%	12.5%	20.7%	10.8%	8.4%	2.2%	3.4%	8.9%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q8 来館後の意識・考えの変化（職業別：グラフ）

Q8 本日のご来館で、あなたの意識や考えに変化はありましたか？（いくつでも※）



職業別	公務員（公的団体職員を含む）(n=546)	雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)	正規の被雇用者（会社員等）(n=363)	非正規の被雇用者(n=269)	自営業・自由業(n=152)	家族従業者・家業手伝い(n=13)	無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	小学生(n=1)	中学生(n=13)	高校生(n=39)	専門学校生(n=154)	大学生（理系）(n=136)	大学生（文系）(n=193)	その他(n=68)
ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった	40.1%	45.0%	46.0%	44.9%	38.2%	30.8%	34.5%	76.9%	48.7%	50.6%	51.5%	54.4%	57.5%	54.4%
周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った	10.6%	11.6%	10.1%	9.7%	12.5%	11.4%	10.3%	3.7%	11.6%	10.1%	11.4%	12.4%	11.4%	23.5%
ハンセン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った	10.3%	11.4%	10.1%	9.7%	12.5%	11.4%	10.3%	3.7%	11.6%	10.1%	11.4%	12.4%	11.4%	23.5%
ハンセン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った	10.3%	11.4%	10.1%	9.7%	12.5%	11.4%	10.3%	3.7%	11.6%	10.1%	11.4%	12.4%	11.4%	23.5%
他の人権問題についても詳しく知りたくなった	10.3%	11.4%	10.1%	9.7%	12.5%	11.4%	10.3%	3.7%	11.6%	10.1%	11.4%	12.4%	11.4%	23.5%
ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくすために自分のできることをやってみようと思った	10.3%	11.4%	10.1%	9.7%	12.5%	11.4%	10.3%	3.7%	11.6%	10.1%	11.4%	12.4%	11.4%	23.5%
業務や仕事の中に生かしていきたいと思った	10.3%	11.4%	10.1%	9.7%	12.5%	11.4%	10.3%	3.7%	11.6%	10.1%	11.4%	12.4%	11.4%	23.5%
その他	0.5%	1.4%	0.8%	1.5%	0.7%	2.1%	5.1%	1.5%	0.9%	1.4%	1.1%	2.7%	0.9%	0.7%
特に変化はなかった	0.5%	1.4%	0.8%	1.5%	0.7%	2.1%	5.1%	1.5%	0.9%	1.4%	1.1%	2.7%	0.9%	0.7%
無回答	0.5%	1.4%	0.8%	1.5%	0.7%	2.1%	5.1%	1.5%	0.9%	1.4%	1.1%	2.7%	0.9%	0.7%
総数(n=2513)	43.7%	55.4%	10.5%	11.0%	31.5%	10.6%	20.9%	1.0%	1.1%	4.3%				

※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q8 来館後の意識・考えの変化（職業別：表）

職業別でみると、「大学生（理系）」「大学生（文系）」で「ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった」「他の人権問題についても知りたくなった」が高くなっている。

「公務員」では「業務や仕事の中で生かしていきたい」が38.3%で、平均よりも約18ポイント高くなっている。

### Q8 本日のご来館で、あなたの意識や考えに変化はありましたか？（いくつでも※）

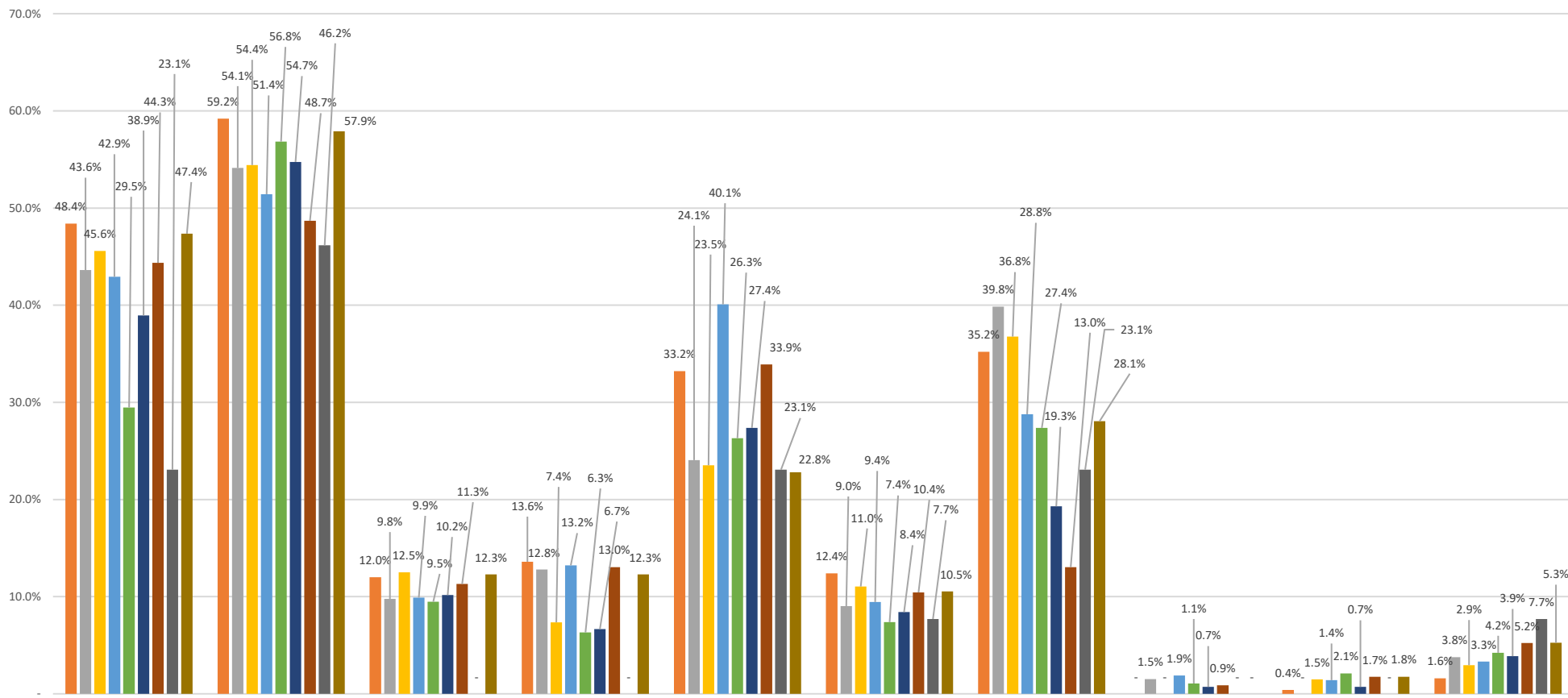
	ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった	周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った	ハンセン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った	ハンセン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った	他の人権問題についても詳しく知りたくなった	ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくするために自分でできることをやってみようと思った	業務や仕事の中で生かしていきたいと思った	その他	特に変化はなかった	無回答
総数(n=2513)	43.7%	55.4%	10.5%	11.0%	31.5%	10.6%	20.9%	1.0%	1.1%	4.3%
公務員（公的団体職員を含む）(n=546)	40.1%	55.1%	10.6%	10.1%	36.4%	10.3%	38.3%	0.5%	0.9%	0.9%
雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)	44.9%	65.2%	10.1%	11.6%	20.3%	8.7%	15.9%	1.4%	1.4%	5.8%
正規の被雇用者（会社員等）(n=363)	46.0%	52.3%	11.6%	12.4%	28.4%	8.0%	22.0%	0.8%	0.3%	4.1%
非正規の被雇用者(n=269)	45.0%	54.6%	9.7%	8.9%	26.4%	12.3%	18.2%	1.5%	1.1%	5.2%
自営業・自由業(n=152)	38.2%	52.0%	12.5%	12.5%	22.4%	11.2%	21.7%	0.7%	3.3%	7.9%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	30.8%	84.6%	7.7%	-	15.4%	-	23.1%	-	-	-
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	34.5%	57.5%	11.4%	11.4%	21.0%	10.0%	7.8%	2.1%	2.7%	6.6%
小学生(n=1)	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中学生(n=13)	76.9%	46.2%	-	7.7%	46.2%	15.4%	7.7%	-	-	-
高校生(n=39)	48.7%	38.5%	10.3%	20.5%	38.5%	12.8%	10.3%	5.1%	-	-
専門学校生(n=154)	50.6%	59.7%	3.9%	5.8%	40.9%	11.7%	16.9%	-	-	-
大学生（理系）(n=136)	54.4%	52.2%	3.7%	8.1%	45.6%	9.6%	19.1%	-	-	2.2%
大学生（文系）(n=193)	57.5%	65.3%	9.8%	9.3%	48.2%	15.0%	14.0%	-	-	1.0%
その他(n=68)	51.5%	54.4%	23.5%	32.4%	33.8%	13.2%	25.0%	1.5%	-	7.4%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q8 来館後の意識・考えの変化（仕事分野別※1：グラフ）

Q8 本日のご来館で、あなたの意識や考えに変化はありましたか？（いくつでも※2）

- 教育関係の専門職(n=250)
- 福祉関係の専門職(n=133)
- 医療関係の専門職(n=136)
- 上記以外の専門職(n=212)
- 管理的職業(n=95)
- 事務・営業系の職業(n=285)
- 技能・労務・作業系の職業(n=115)
- 農林漁業職(n=13)
- その他(n=57)



	漢セン病問題についてもっと詳しく知りたくなった	周囲の人にも漢セン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った	漢セン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った	漢セン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った	他人の人権問題についても詳しく知りたくなった	ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくすために自分のできることをやってみようと思った	業務や仕事の中に生かしていきたいと思った	その他	特に変化はなかった	無回答
総数(n=2513)	43.7%	55.4%	10.5%	11.0%	31.5%	10.6%	20.9%	1.0%	1.1%	4.3%

※1 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399） ※2 「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q8 来館後の意識・考えの変化（仕事分野別※1：表）

仕事分野別でみると、「教育関係の専門職」で「周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った」が高くなっている。また「福祉関係の専門職」「医療関係の専門職」「教育関係の専門職」で「業務や仕事の中に生かしていきたいと思った」が高くなっている。

### Q8 本日のご来館で、あなたの意識や考えに変化はありましたか？（いくつでも※2）

	ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった	周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った	ハンセン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った	ハンセン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った	他の人権問題についても詳しく知りたくなった	ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくすために自分のできることをやってみようと思った	業務や仕事の中に生かしていきたいと思った	その他	特に変化はなかった	無回答
総数(n=2513)	43.7%	55.4%	10.5%	11.0%	31.5%	10.6%	20.9%	1.0%	1.1%	4.3%
教育関係の専門職(n=250)	48.4%	<b>59.2%</b>	12.0%	13.6%	33.2%	12.4%	35.2%	-	0.4%	1.6%
福祉関係の専門職(n=133)	43.6%	54.1%	9.8%	12.8%	24.1%	9.0%	39.8%	1.5%	-	3.8%
医療関係の専門職(n=136)	45.6%	54.4%	12.5%	7.4%	23.5%	11.0%	36.8%	-	1.5%	2.9%
上記以外の専門職(n=212)	42.9%	51.4%	9.9%	13.2%	40.1%	9.4%	28.8%	1.9%	1.4%	3.3%
管理的職業(n=95)	29.5%	56.8%	9.5%	6.3%	26.3%	7.4%	27.4%	1.1%	2.1%	4.2%
事務・営業系の職業(n=285)	38.9%	54.7%	10.2%	6.7%	27.4%	8.4%	19.3%	0.7%	0.7%	3.9%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	44.3%	48.7%	11.3%	13.0%	33.9%	10.4%	13.0%	0.9%	1.7%	5.2%
農林漁業職(n=13)	23.1%	46.2%	-	-	23.1%	7.7%	23.1%	-	-	7.7%
その他(n=57)	47.4%	57.9%	12.3%	12.3%	22.8%	10.5%	28.1%	-	1.8%	5.3%

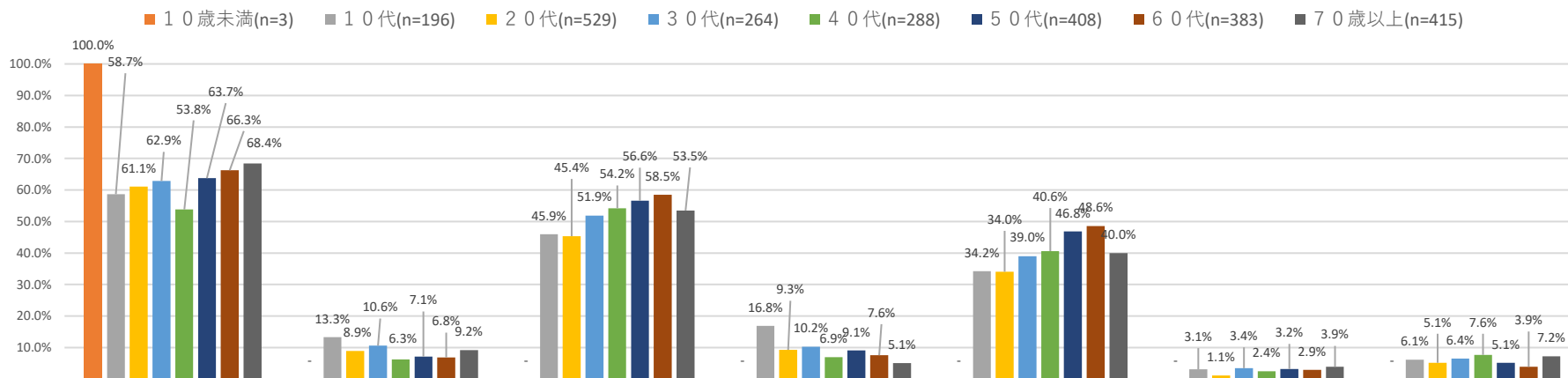
■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※1 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

※2 「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q9 来館後のハンセン病問題への認識（年齢別）

「ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である」が62.3%と最も高く、次いで「社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある」が51.9%、「今も偏見や差別がある」が40.3%。最も低いのは「結婚することは抵抗がある」で2.7%。「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」は8.4%、「治療できるとしても怖い病気だ」は8.6%だが、10代ではそれぞれ13.3%、16.8%と高くなっている。

### Q9 以下の内容について、あなたが「そう思う」ものはどれですか？（いくつでも）



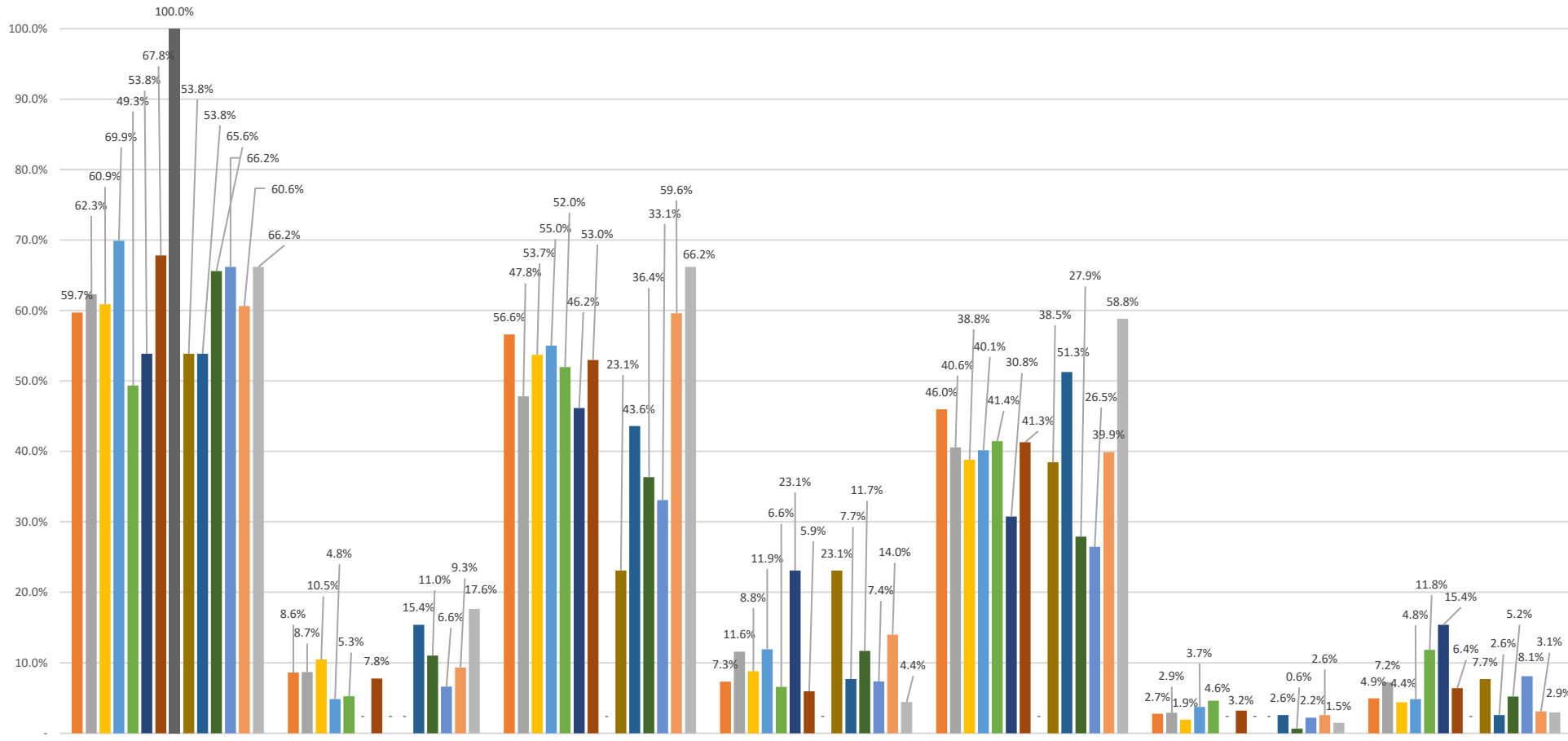
	ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である	ハンセン病の元患者（回復者）や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	今も、世の中にハンセン病の元患者（回復者）や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者（回復者）の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	6.4%
10歳未満(n=3)	100.0%	-	-	-	-	-
10代(n=196)	58.7%	<b>13.3%</b>	45.9%	<b>16.8%</b>	34.2%	6.1%
20代(n=529)	61.1%	8.9%	45.4%	9.3%	34.0%	5.1%
30代(n=264)	62.9%	10.6%	51.9%	10.2%	39.0%	6.4%
40代(n=288)	53.8%	6.3%	54.2%	6.9%	40.6%	7.6%
50代(n=408)	63.7%	7.1%	56.6%	9.1%	46.8%	5.1%
60代(n=383)	66.3%	6.8%	58.5%	7.6%	48.6%	3.9%
70歳以上(n=415)	68.4%	9.2%	53.5%	5.1%	40.0%	7.2%

● …総数より10ポイント以上高い ● …総数より10ポイント以上低い

# Q9 来館後のハンセン病問題への認識（職業別：グラフ）

Q9 以下の内容について、あなたが「そう思う」ものはどれですか？（いくつでも）

- 公務員（公的団体職員を含む）(n=546)
- 雇用者（会社役員、管理職等）(n=69)
- 正規の被雇用者（会社員等）(n=363)
- 非正規の被雇用者(n=269)
- 自営業・自由業(n=152)
- 家族従業者・家事手伝い(n=13)
- 無職（主婦・主夫を含む）(n=438)
- 小学生(n=1)
- 中学生(n=13)
- 高校生(n=39)
- 専門学校生(n=154)
- 大学生（理系）(n=136)
- 大学生（文系）(n=193)
- その他(n=68)



ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の 인권問題である	ハンセン病の元患者（回復者）や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方のないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者（回復者）や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者（回復者）の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答	
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%

## Q9 来館後のハンセン病問題への認識（職業別：表）

職業別でみると、「自営業・自由業」で「ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である」が低くなっている。「専門学校生」「大学生（理系）」では、「加害者としての責任」と「今も偏見や差別がある」が平均よりも10ポイント以上低い。「差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ」は、「専門学校生」「正規の被雇用者」で10%を超え、平均よりも高くなっている。「治療できるとしても怖い病気だ」は、「大学生（文系）」「専門学校生」「非正規の被雇用者」で10%を超え、平均より高くなっている。

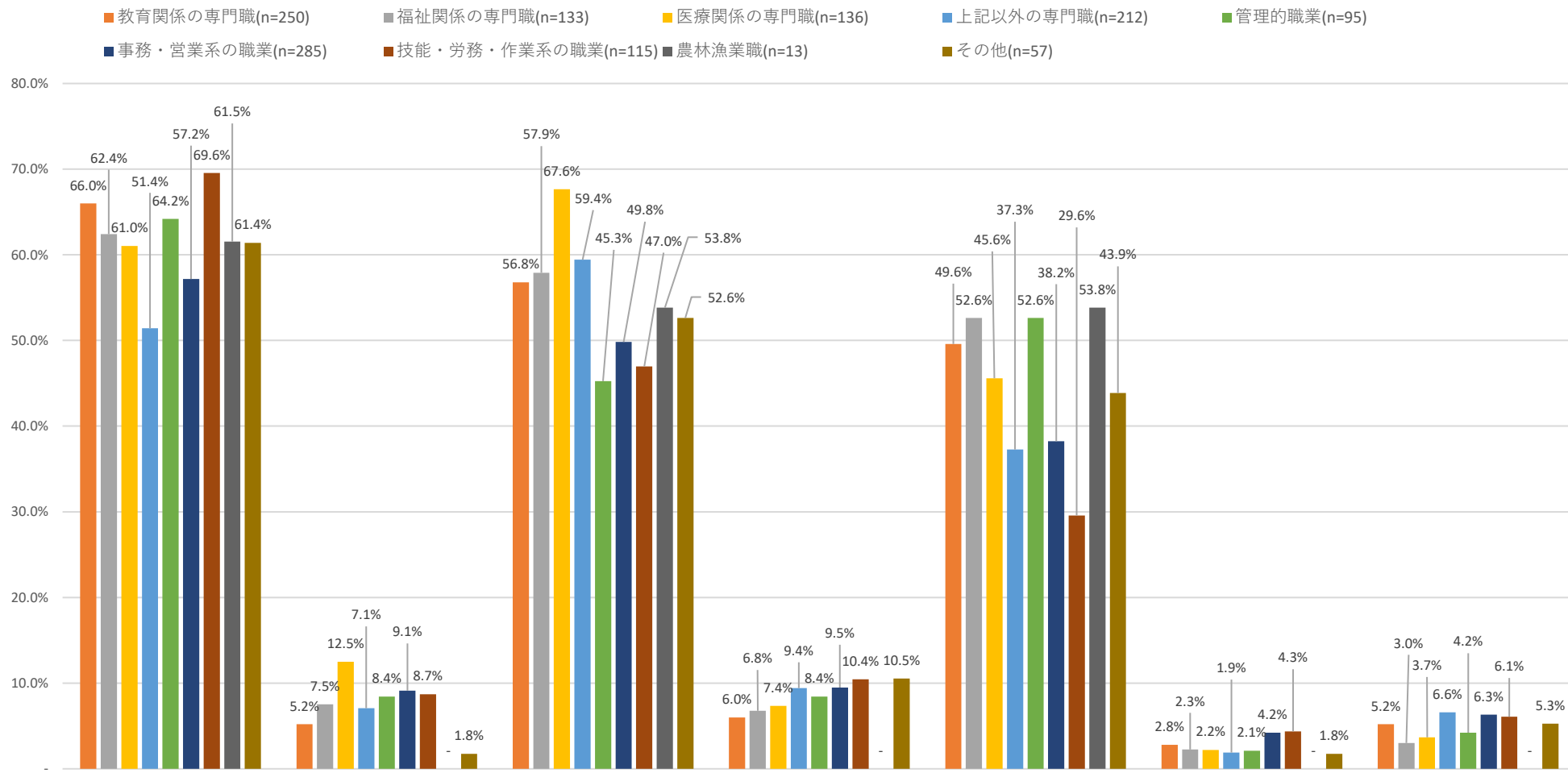
### Q9 以下の内容について、あなたが「そう思う」ものはどれですか？（いくつでも）

	ハンセン病問題は、 国の誤った隔離政策 に起因する過去の人 権問題である	ハンセン病の元患者 （回復者）や家族に 対して、市民が差別 や排除意識を抱くの は仕方ないことだ	ハンセン病問題は、 社会を構成する私た ちにも加害者として の責任がある	治療できるとしても ハンセン病は怖い病 気だ	今も、世の中にハン セン病の元患者（回 復者）や家族に対す る偏見や差別がある	ハンセン病の元患者 （回復者）の家族と、 自分の家族が結婚す ることは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
公務員（公的団体職員を含む） (n=546)	59.7%	8.6%	56.6%	7.3%	46.0%	2.7%	4.9%
雇用者（会社役員、管理職等） (n=69)	62.3%	8.7%	47.8%	11.6%	40.6%	2.9%	7.2%
正規の被雇用者（会社員等） (n=363)	60.9%	<b>10.5%</b>	53.7%	8.8%	38.8%	1.9%	4.4%
非正規の被雇用者(n=269)	69.9%	4.8%	55.0%	<b>11.9%</b>	40.1%	3.7%	4.8%
自営業・自由業(n=152)	49.3%	5.3%	52.0%	6.6%	41.4%	4.6%	11.8%
家族従業者・家業手伝い(n=13)	53.8%	-	46.2%	23.1%	30.8%	-	15.4%
無職（主婦・主夫を含む）(n=438)	67.8%	7.8%	53.0%	5.9%	41.3%	3.2%	6.4%
小学生(n=1)	100.0%	-	-	-	-	-	-
中学生(n=13)	53.8%	-	23.1%	23.1%	38.5%	-	7.7%
高校生(n=39)	53.8%	15.4%	43.6%	7.7%	51.3%	2.6%	2.6%
専門学校生(n=154)	65.6%	<b>11.0%</b>	36.4%	<b>11.7%</b>	27.9%	0.6%	5.2%
大学生（理系）(n=136)	66.2%	6.6%	33.1%	7.4%	26.5%	2.2%	8.1%
大学生（文系）(n=193)	60.6%	9.3%	59.6%	<b>14.0%</b>	39.9%	2.6%	3.1%
その他(n=68)	66.2%	17.6%	66.2%	4.4%	58.8%	1.5%	2.9%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

# Q9 来館後のハンセン病問題への認識（仕事分野別※：グラフ）

Q9 以下の内容について、あなたが「そう思う」ものはどれですか？（いくつでも）



総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
------------	-------	------	-------	------	-------	------	------

※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

## Q9 来館後のハンセン病問題への認識（仕事分野別※：表）

仕事分野別でみると、「教育関係の専門職」と「技能・労務・作業系の職業」で「国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である」が高くなっている。「技能・労務・作業系の職業」では、「今も偏見や差別がある」が29.6%で平均より10ポイント以上低い。一方「福祉関係の専門職」では、「今も偏見や差別がある」が52.6%で平均より10ポイント以上高い。「医療関係の専門職」では、「私たちにも加害者としての責任がある」が67.6%で平均よりも10ポイント以上高い。また、「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」が12.5%で平均よりも高くなっている。

### Q9 以下の内容について、あなたが「そう思う」ものはどれですか？（いくつでも）

	ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である	ハンセン病の元患者（回復者）や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者（回復者）や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者（回復者）の家族と自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
教育関係の専門職(n=250)	<b>66.0%</b>	5.2%	56.8%	6.0%	49.6%	2.8%	5.2%
福祉関係の専門職(n=133)	62.4%	7.5%	57.9%	6.8%	<b>52.6%</b>	2.3%	3.0%
医療関係の専門職(n=136)	61.0%	<b>12.5%</b>	<b>67.6%</b>	7.4%	45.6%	2.2%	3.7%
上記以外の専門職(n=212)	51.4%	7.1%	59.4%	9.4%	37.3%	1.9%	6.6%
管理的職業(n=95)	64.2%	8.4%	45.3%	8.4%	52.6%	2.1%	4.2%
事務・営業系の職業(n=285)	57.2%	9.1%	49.8%	9.5%	38.2%	4.2%	6.3%
技能・労務・作業系の職業(n=115)	<b>69.6%</b>	8.7%	47.0%	<b>10.4%</b>	29.6%	4.3%	6.1%
農林漁業職(n=13)	61.5%	-	53.8%	-	53.8%	-	-
その他(n=57)	61.4%	1.8%	52.6%	10.5%	43.9%	1.8%	5.3%

※ 前問で公務員、雇用者、正規の被雇用者、非正規の被雇用者、自営業・自由業と回答した人のみ（n = 1399）

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

# 設問間クロス集計①

## 来館回数による集計結果

ハンセン病資料館に「初めて」来館した人とリピーターでは、情報ニーズや利用する展示・施設、ハンセン病・ハンセン病問題に対する理解や意識行動などにどのような違いがあるのかを探るため、以下の設問間クロスを行いました。

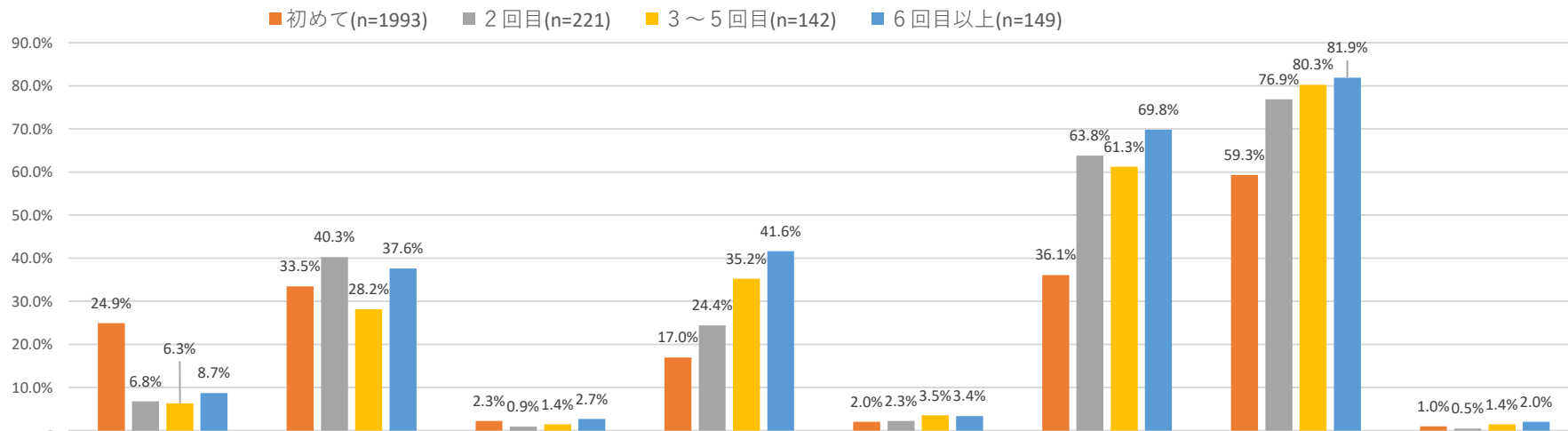
- Q1 来館の回数 × Q2 来館前の印象・考え
- Q1 来館の回数 × Q3 来館前の見聞き・学習経験
- Q1 来館の回数 × Q4 来館前に関心のあった人権問題
- Q1 来館の回数 × Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと
- Q1 来館の回数 × Q6 資料館で見学・利用したもの
- Q1 来館の回数 × Q7 来館後の理解の深まり
- Q1 来館の回数 × Q8 来館後の意識・考えの変化
- Q1 来館の回数 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識

# Q1 来館の回数 × Q2 来館前の印象・考え※

来館が「初めて」の人の来館前の印象で最も高いのは、「人権問題である」で59.3%。「感染することで起こる病気」「治すことができる病気」はそれぞれ30%台、「発症がまれな病気」は17.0%。「名前だけ知っていた」は24.9%。

「感染することで起こる病気」は「2回目」の人が40.3%で最も高い。「発症がまれな病気」は来館回数が多いほど高くなり、「6回目以上」では41.6%。「治すことができる病気」は「2回目」「3～5回目」「6回目以上」すべてが60%以上、「人権問題である」は「2回目」が76.9%、「3～5回目」「6回目以上」で80%超となっている。

他方、「遺伝する病気である」「治療が困難な病気」という誤った認識は全体で2%程度だが、「初めて」よりも「3～5回目」「6回目以上」のほうが数値が高くなっている。



	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数(n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%
初めて(n=1993)	24.9%	33.5%	2.3%	17.0%	2.0%	36.1%	59.3%	1.0%
2回目(n=221)	6.8%	<b>40.3%</b>	0.9%	24.4%	2.3%	63.8%	76.9%	0.5%
3～5回目(n=142)	6.3%	28.2%	1.4%	35.2%	3.5%	61.3%	80.3%	1.4%
6回目以上(n=149)	8.7%	37.6%	2.7%	41.6%	3.4%	69.8%	81.9%	2.0%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

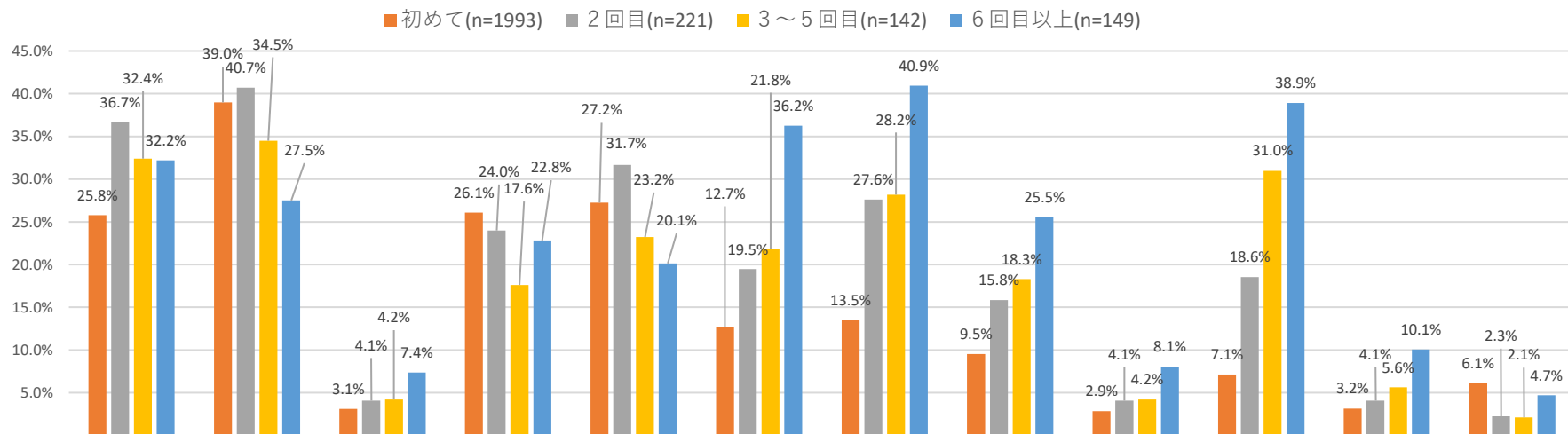
# Q1 来館の回数 × Q3 来館前で見聞き・学習経験

来館が「初めて」の人が来館前で見聞きしたものは、「テレビ」が39.0%で最も高く、次いで「学校の授業」「インターネット」「新聞」となっている。

「冊子や出版物」は、「2回目」以降、来館回数の増加に伴い、27.6%→28.2%→40.9%と高くなっている。

「3～5回目」「6回目以上」では、「イベント・講座に行った」が30%以上。

「6回目以上」では、「映画を見た」36.2%、「家族や知人から話を聞いた」25.5%で、平均よりもかなり高くなっている。



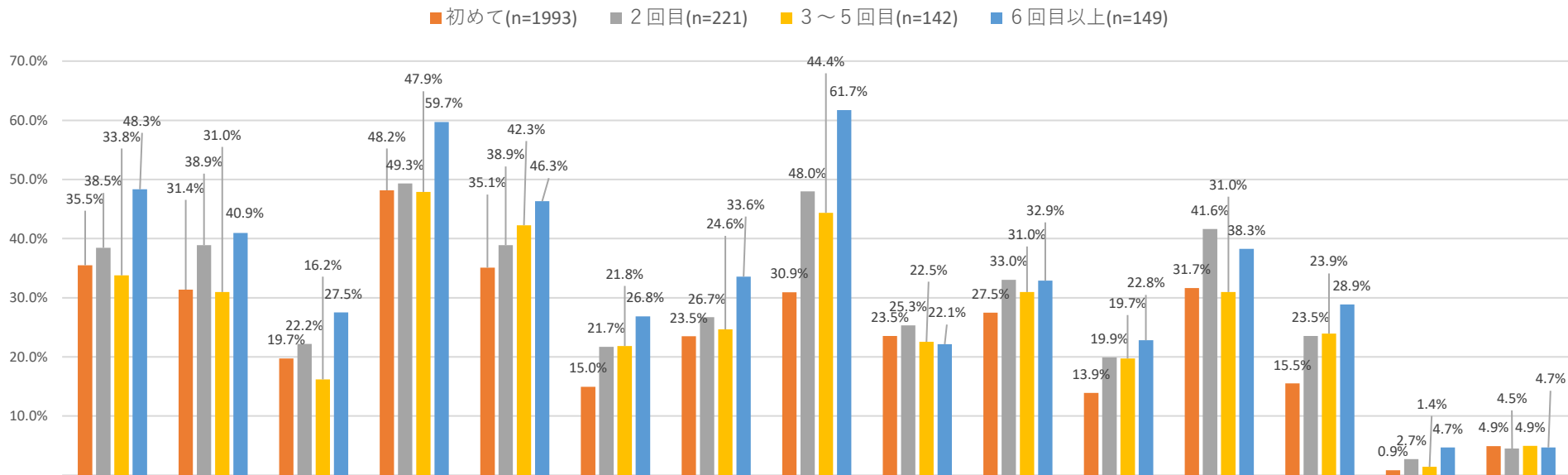
	新聞で読んだ	テレビで見聞きした	ラジオで聞いた	インターネット (HPやSNSなど) で見聞きした	学校の授業で学んだ	映画を見た	冊子や出版物を読んだ	家族や知人から話を聞いた	自治体などの広報紙を読んだ	ハンセン病問題に関する施設やイベント・講座などに行った (当館を除く)	その他	無回答
総数(n=2513)	27.5%	38.2%	3.5%	25.2%	26.9%	15.2%	17.2%	11.5%	3.3%	11.4%	3.8%	5.5%
初めて(n=1993)	25.8%	39.0%	3.1%	26.1%	27.2%	12.7%	13.5%	9.5%	2.9%	7.1%	3.2%	6.1%
2回目(n=221)	36.7%	40.7%	4.1%	24.0%	31.7%	19.5%	27.6%	15.8%	4.1%	18.6%	4.1%	2.3%
3~5回目(n=142)	32.4%	34.5%	4.2%	17.6%	23.2%	21.8%	28.2%	18.3%	4.2%	31.0%	5.6%	2.1%
6回目以上(n=149)	32.2%	27.5%	7.4%	22.8%	20.1%	36.2%	40.9%	25.5%	8.1%	38.9%	10.1%	4.7%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

# Q1 来館の回数 × Q4 来館前に関心のあった人権問題

来館が「初めて」の人が関心のある人権問題は、「障がい者の人権」48.2%、「女性の人権」35.5%、「部落差別」35.1%、「ハラスメント」31.7%、「こどもの人権」31.4%、「ハンセン病問題」30.9%の順。

「6回目以上」の人では、「ハンセン病問題」が61.7%で最も高く、平均より30ポイント近く高い。「6回目以上」の人では、ほとんどの人権問題で平均より高く、特に「女性の人権」「障がい者の人権」「外国人の人権」「ヘイトスピーチ」は平均より10ポイント以上高くなっている。



	女性の人権	こどもの人権	高齢者の人権	障がい者の人権	部落差別(同和問題)	外国人の人権	コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別	ハンセン病問題	インターネット上の人権侵害	性的マイノリティに対する偏見や差別	震災等の災害に起因する偏見や差別	セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ	ヘイトスピーチ	その他	無回答
総数(n=2513)	36.4%	32.6%	20.2%	49.0%	36.5%	16.6%	24.4%	35.1%	23.6%	28.6%	15.3%	32.9%	17.5%	1.3%	4.9%
初めて(n=1993)	35.5%	31.4%	19.7%	48.2%	35.1%	15.0%	23.5%	30.9%	23.5%	27.5%	13.9%	31.7%	15.5%	0.9%	4.9%
2回目(n=221)	38.5%	38.9%	22.2%	49.3%	38.9%	21.7%	26.7%	48.0%	25.3%	33.0%	19.9%	41.6%	23.5%	2.7%	4.5%
3~5回目(n=142)	33.8%	31.0%	16.2%	47.9%	42.3%	21.8%	24.6%	44.4%	22.5%	31.0%	19.7%	31.0%	23.9%	1.4%	4.9%
6回目以上(n=149)	48.3%	40.9%	27.5%	59.7%	46.3%	26.8%	33.6%	61.7%	22.1%	32.9%	22.8%	38.3%	28.9%	4.7%	4.7%

● …総数より10ポイント以上高い ● …総数より10ポイント以上低い

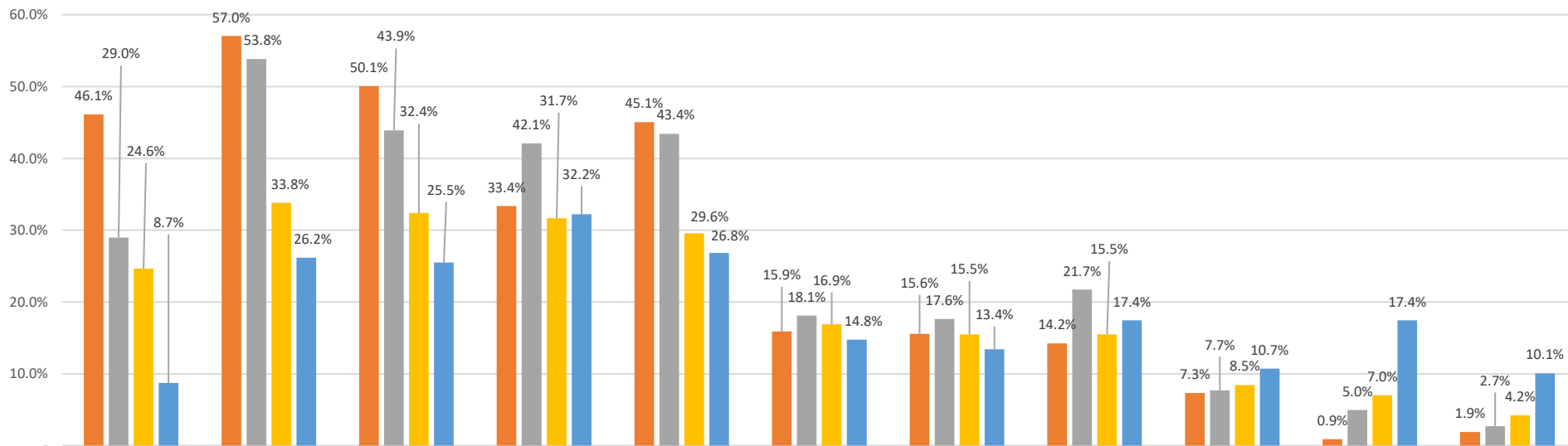
# Q1 来館の回数 × Q5 資料館で知りたい（学びたい）こと

「初めて」の人の知りたいことは、「ハンセン病対策の歴史」が57.0%で最も高く、次いで「療養所での暮らし」「ハンセン病の原因や症状、治療法」の順に高く、平均以上となっている。

「ハンセン病の原因や治療法」は「2回目」以上では平均より10ポイント以上低く、「6回目以上」では8.7%と最も低くなっている。

「3～5回目」「6回目以上」では、「ハンセン病対策の歴史」「療養所での暮らし」「元患者・家族に対する偏見・差別」が平均より10ポイント以上低くなっている。

■ 初めて(n=1993) ■ 2回目(n=221) ■ 3～5回目(n=142) ■ 6回目以上(n=149)



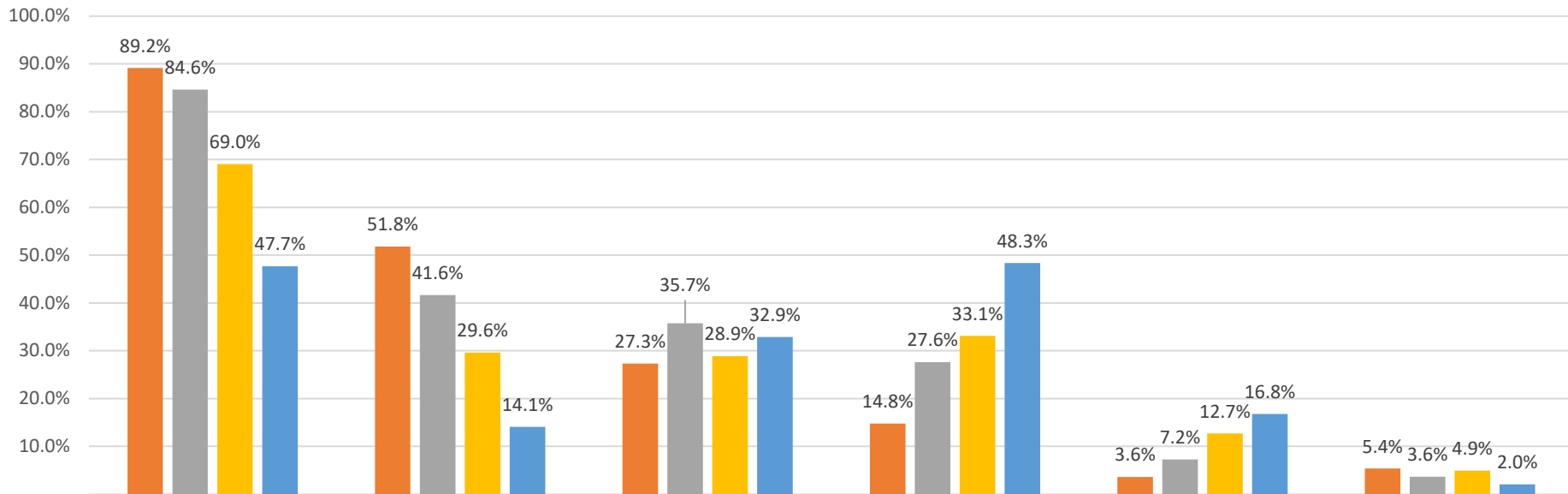
	ハンセン病の原因や症状、治療法	ハンセン病対策の歴史	療養所での暮らし	元患者・回復者の声や証言	元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別	ハンセン病を巡る訴訟や判決	世界のハンセン病の現状	他の人権問題との共通点や相違点	他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み	その他	無回答
総数(n=2513)	41.1%	53.6%	47.1%	34.0%	43.0%	16.1%	15.7%	15.2%	7.6%	2.6%	2.6%
初めて(n=1993)	46.1%	57.0%	50.1%	33.4%	45.1%	15.9%	15.6%	14.2%	7.3%	0.9%	1.9%
2回目(n=221)	29.0%	53.8%	43.9%	42.1%	43.4%	18.1%	17.6%	21.7%	7.7%	5.0%	2.7%
3～5回目(n=142)	24.6%	33.8%	32.4%	31.7%	29.6%	16.9%	15.5%	15.5%	8.5%	7.0%	4.2%
6回目以上(n=149)	8.7%	26.2%	25.5%	32.2%	26.8%	14.8%	13.4%	17.4%	10.7%	17.4%	10.1%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

# Q1 来館の回数 × Q6 資料館で見学・利用したもの

「初めて」の人が利用したものは、「常設展示室」(89.2%)、「証言映像コーナー」(51.8%)の順に高く、平均よりも高くなっている。「常設展示室」「証言映像コーナー」の利用は、来館回数が多いほど低くなり、「3~5回目」「6回目以上」の人では、平均より10ポイント以上低くなっている。「図書室」の利用は、来館回数が多いほど高くなり、「3~5回目」「6回目以上」の人では、平均より10ポイント以上高くなっている。「その他イベント」の利用も、「3~5回目」「6回目以上」の人で平均より高い。

■ 初めて(n=1993) ■ 2回目(n=221) ■ 3~5回目(n=142) ■ 6回目以上(n=149)

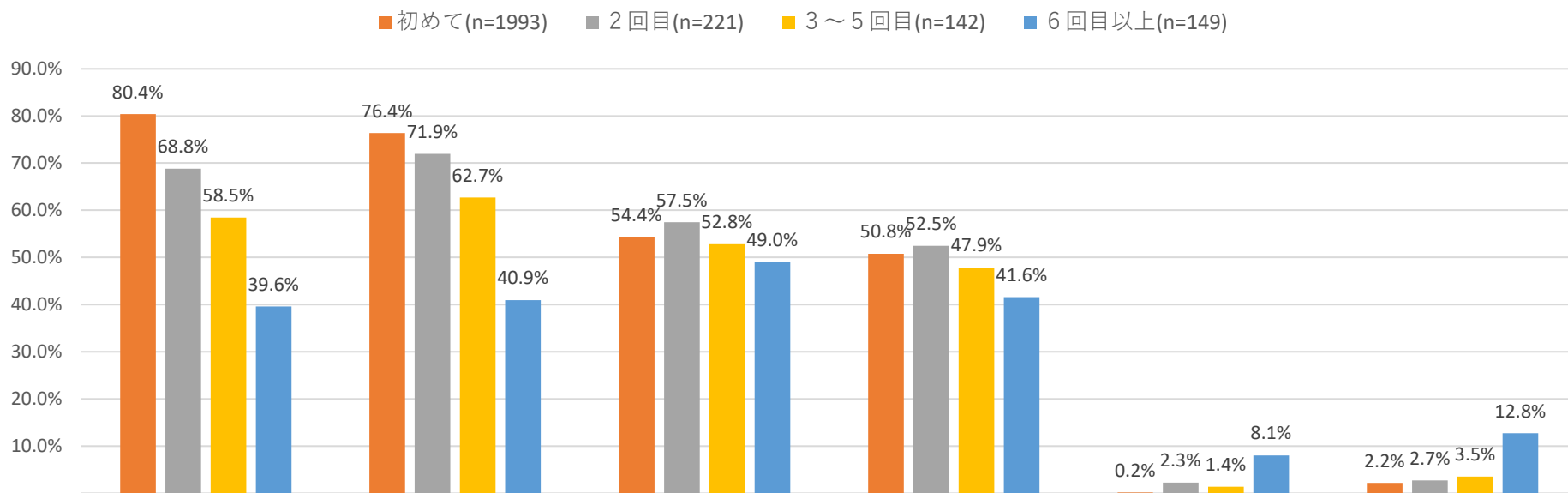


	常設展示室	証言映像コーナー	企画展	図書室	その他イベントなど	無回答
総数(n=2513)	85.1%	47.3%	28.5%	18.9%	5.3%	5.0%
初めて(n=1993)	89.2%	51.8%	27.3%	14.8%	3.6%	5.4%
2回目(n=221)	84.6%	41.6%	35.7%	27.6%	7.2%	3.6%
3~5回目(n=142)	69.0%	29.6%	28.9%	33.1%	12.7%	4.9%
6回目以上(n=149)	47.7%	14.1%	32.9%	48.3%	16.8%	2.0%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

# Q1 来館の回数 × Q7 来館後の理解の深まり※

「初めて」の人の理解の深まりは、「ハンセン病対策の歴史」（80.4%）、「療養所での暮らし・人権侵害の実態」（76.4%）、「生き抜いた証」（54.4%）の順に高く、平均よりも高くなっている。  
 来館回数が多くなるほど、理解の深まりの数値は低くなる傾向にある。特に、「3～5回目」と「6回目以上」では、「ハンセン病対策の歴史」と「療養所での暮らし・人権侵害の実態」が、平均より10ポイント以上低くなっている。  
 「2回目」では、「生き抜いた証」と「名誉回復の大切さ」が平均よりもやや高くなっている。

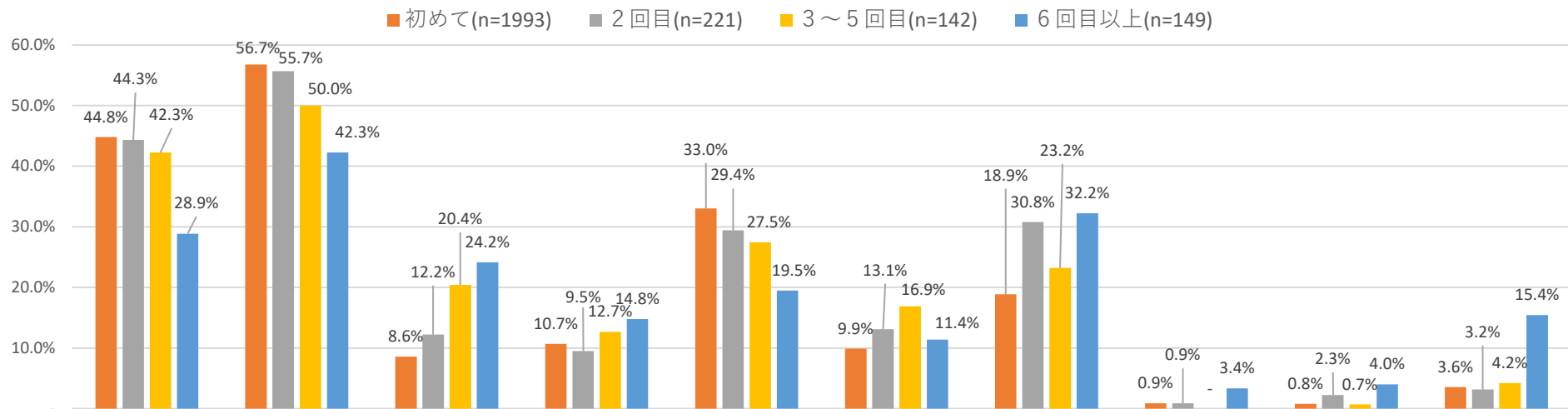


	日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた	療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった	ハンセン病患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた	ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった	特に深まらなかった	無回答
総数(n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%
初めて(n=1993)	80.4%	76.4%	54.4%	50.8%	0.2%	2.2%
2回目(n=221)	68.8%	71.9%	57.5%	52.5%	2.3%	2.7%
3～5回目(n=142)	58.5%	62.7%	52.8%	47.9%	1.4%	3.5%
6回目以上(n=149)	39.6%	40.9%	49.0%	41.6%	8.1%	12.8%

■ …総数より10ポイント以上高い □ …総数より10ポイント以上低い ※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q1 来館の回数 × Q8 来館後の意識・考えの変化※

「初めて」の人では、「もっと知ってほしい、伝えたいと思った」が56.7%で最も高く、次いで、「ハンセン病問題についてもっと知りたくなった」(44.8%)、「他の人権問題についてもっと知りたくなった」(33.0%)で平均よりも高くなっている。「6回目以上」では、それらの数値は、平均よりも10ポイント以上低くなっている。一方で、「イベント・セミナーに参加してみたい」「業務や仕事に生かしたい」が平均よりも10ポイント以上高くなっている。

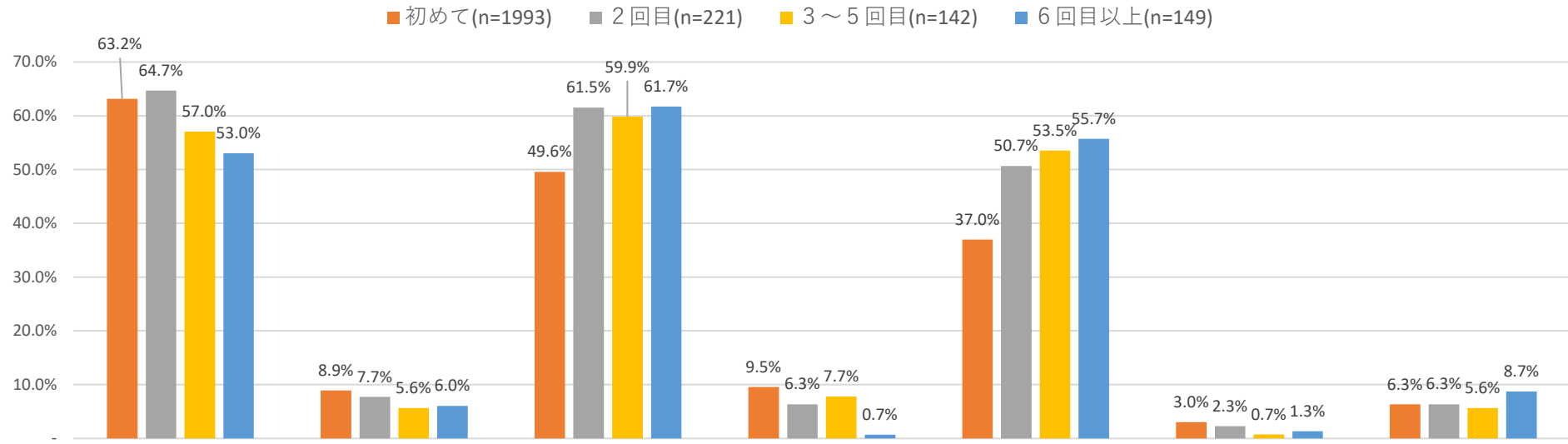


	ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった	周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った	ハンセン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った	ハンセン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った	他の人権問題についても詳しく知りたくなった	ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくすために自分のできることをやってみようと思った	業務や仕事の中に生かしていきたいと思った	その他	特に変化はなかった	無回答
総数(n=2513)	43.7%	55.4%	10.5%	11.0%	31.5%	10.6%	20.9%	1.0%	1.1%	4.3%
初めて(n=1993)	44.8%	56.7%	8.6%	10.7%	33.0%	9.9%	18.9%	0.9%	0.8%	3.6%
2回目(n=221)	44.3%	55.7%	12.2%	9.5%	29.4%	13.1%	30.8%	0.9%	2.3%	3.2%
3~5回目(n=142)	42.3%	50.0%	20.4%	12.7%	27.5%	16.9%	23.2%	-	0.7%	4.2%
6回目以上(n=149)	28.9%	42.3%	24.2%	14.8%	19.5%	11.4%	32.2%	3.4%	4.0%	15.4%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い ※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q1 来館の回数 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識

「初めて」の人では、「ハンセン病は過去の人権問題」「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」「怖い病気だ」「結婚には抵抗がある」が平均よりやや高く、「加害者としての責任がある」「今も偏見・差別がある」は平均より低くなっている。  
 「ハンセン病は過去の人権問題」「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」「怖い病気だ」「結婚には抵抗がある」は、来館回数が多い人では数値が低くなっている。  
 「加害者としての責任がある」「今も偏見・差別がある」は、来館回数が多い人では、数値が平均よりも10ポイント前後高くなっている。



	ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である	ハンセン病の元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者(回復者)や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
初めて(n=1993)	63.2%	8.9%	49.6%	9.5%	37.0%	3.0%	6.3%
2回目(n=221)	64.7%	7.7%	61.5%	6.3%	50.7%	2.3%	6.3%
3~5回目(n=142)	57.0%	5.6%	59.9%	7.7%	53.5%	0.7%	5.6%
6回目以上(n=149)	53.0%	6.0%	61.7%	0.7%	55.7%	1.3%	8.7%

■ …総数より10ポイント以上高い ■ …総数より10ポイント以上低い

## 設問間クロス集計②

# 来館者の「情報ニーズ」と「理解の深まり」

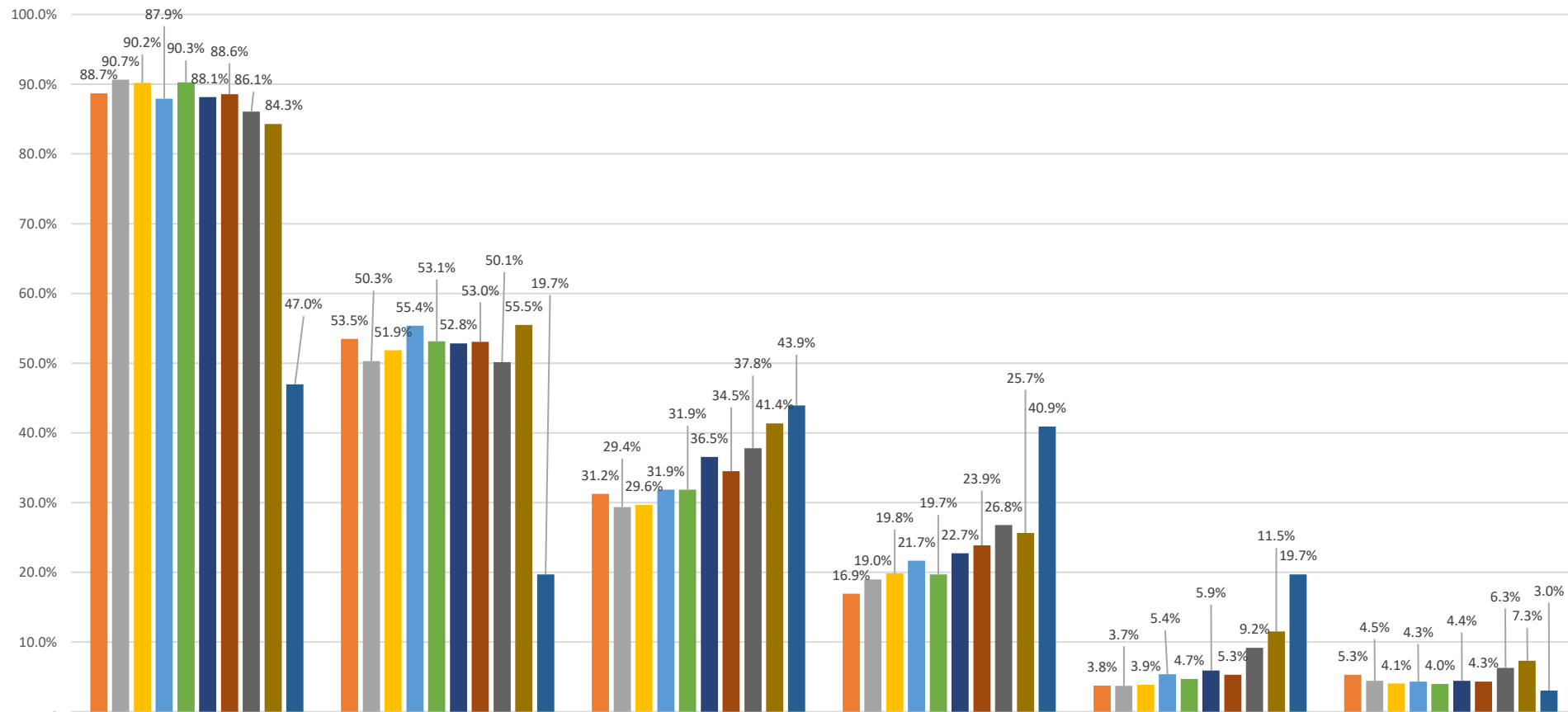
来館者はどのような情報を求めてハンセン病資料館を訪れ、資料館のどの展示・施設を利用したのか、来館によって情報ニーズが満たされたかを探るため、以下の設問間クロスを行いました。

Q5 知りたい（学びたい）こと × Q6 見学・利用したもの

Q5 知りたい（学びたい）こと × Q7 来館後の理解の深まり

# Q5 知りたい（学びたい）こと × Q6 見学・利用したもの（グラフ）

- ハンセン病の原因や症状、治療法(n=1034)
- 元患者・回復者の声や証言(n=854)
- 世界のハンセン病の現状(n=394)
- その他(n=66)
- ハンセン病対策の歴史(n=1348)
- 元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別(n=1080)
- 他人権問題との共通点や相違点(n=381)
- 療養所での暮らし(n=1184)
- ハンセン病を巡る訴訟や判決(n=405)
- 他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み(n=191)



総数(n=2513)	常設展示室	証言映像コーナー	企画展	図書室	その他イベントなど	無回答
	85.1%	47.3%	28.5%	18.9%	5.3%	5.0%

## Q5 知りたい（学びたい）こと × Q6 見学・利用したもの（表）

来館者が「知りたい（学びたいこと）」の内容別に、ハンセン病資料館で見学・利用・参加したものをみると、「常設展示室」の利用は、「ハンセン病対策の歴史」「療養所での暮らし」「元患者等への偏見・差別」を知りたい層で、やや高い。

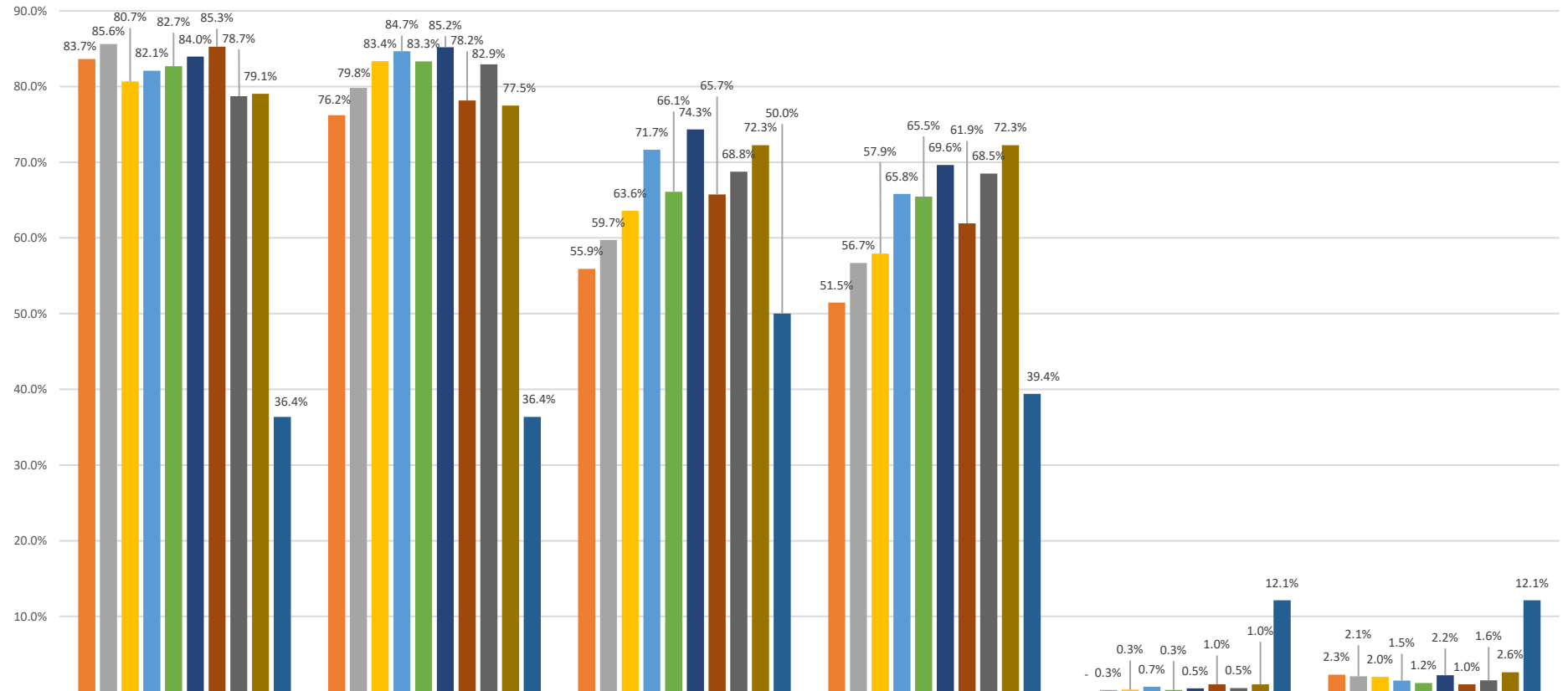
「証言映像コーナー」の利用は、「元患者・回復者の声や証言」「他の団体や自治体などの取り組み」を知りたい層で高い。「企画展」は、「他の団体や自治体などの取り組み」を知りたい層で、41.4%と平均より10ポイント以上高い。

「図書室」の利用は、「他の人権問題との共通点や相違点」「他の団体や自治体などの取り組み」を知りたい層で高くなっている。

	常設展示室	証言映像コーナー	企画展	図書室	その他イベントなど	無回答
総数(n=2513)	85.1%	47.3%	28.5%	18.9%	5.3%	5.0%
ハンセン病の原因や症状、治療法(n=1034)	88.7%	53.5%	31.2%	16.9%	3.8%	5.3%
ハンセン病対策の歴史(n=1348)	90.7%	50.3%	29.4%	19.0%	3.7%	4.5%
療養所での暮らし(n=1184)	90.2%	51.9%	29.6%	19.8%	3.9%	4.1%
元患者・回復者の声や証言(n=854)	87.9%	55.4%	31.9%	21.7%	5.4%	4.3%
元患者等への人権侵害や偏見・差別(n=1080)	90.3%	53.1%	31.9%	19.7%	4.7%	4.0%
ハンセン病を巡る訴訟や判決(n=405)	88.1%	52.8%	36.5%	22.7%	5.9%	4.4%
世界のハンセン病の現状(n=394)	88.6%	53.0%	34.5%	23.9%	5.3%	4.3%
他の人権問題との共通点や相違点(n=381)	86.1%	50.1%	37.8%	<b>26.8%</b>	9.2%	6.3%
他の団体や自治体などの取り組み(n=191)	84.3%	55.5%	<b>41.4%</b>	<b>25.7%</b>	11.5%	7.3%
その他(n=66)	47.0%	19.7%	43.9%	40.9%	19.7%	3.0%

# Q5 知りたい（学びたい）こと × Q7 来館後の理解の深まり※（グラフ）

- ハンセン病の原因や症状、治療法(n=1034)
- ハンセン病対策の歴史(n=1348)
- 療養所での暮らし(n=1184)
- 元患者・回復者の声や証言(n=854)
- 元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別(n=1080)
- ハンセン病を巡る訴訟や判決(n=405)
- 世界のハンセン病の現状(n=394)
- 他の人権問題との共通点や相違点(n=381)
- 他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み(n=191)
- その他(n=66)



総数(n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%
------------	-------	-------	-------	-------	------	------

※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q5 知りたい（学びたい）こと × Q7 来館後の理解の深まり（表）

来館者が「知りたい（学びたいこと）」の内容別に、来館後の理解が深まったものをみると、「ハンセン病対策の歴史が理解できた」は、「ハンセン病対策の歴史」「ハンセン病を巡る訴訟や判決」「世界のハンセン病の現状」を知りたかった層で、ほかの層より高くなっている。「療養所での暮らし・人権侵害の実態が分かった」は、「療養所での暮らし」「元患者・回復者の声や証言」「元患者・家族に対する偏見・差別」「ハンセン病を巡る訴訟や判決」を知りたかった層で特に高くなっている。「生き抜いた証を知ることができた」と「名誉回復の大切さが分かった」は、「元患者・回復者の声や証言」「元患者・家族に対する偏見・差別」「ハンセン病を巡る訴訟や判決」「世界のハンセン病の現状」「他の人権問題との共通点や相違点」「他の団体や自治体の取り組み」を知りたかった層で特に高い。

	日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた	療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった	ハンセン病の患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた	ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった	特に深まらなかった	無回答
総数(n=2513)	75.6%	73.1%	54.2%	50.3%	0.9%	3.0%
ハンセン病の原因や症状、治療法(n=1034)	83.7%	76.2%	55.9%	51.5%	-	2.3%
ハンセン病対策の歴史(n=1348)	85.6%	79.8%	59.7%	56.7%	0.3%	2.1%
療養所での暮らし(n=1184)	80.7%	83.4%	63.6%	57.9%	0.3%	2.0%
元患者・回復者の声や証言(n=854)	82.1%	84.7%	71.7%	65.8%	0.7%	1.5%
元患者・回復者や家族に対する人権侵害や偏見・差別(n=1080)	82.7%	83.3%	66.1%	65.5%	0.3%	1.2%
ハンセン病を巡る訴訟や判決(n=405)	84.0%	85.2%	74.3%	69.6%	0.5%	2.2%
世界のハンセン病の現状(n=394)	85.3%	78.2%	65.7%	61.9%	1.0%	1.0%
他の人権問題との共通点や相違点(n=381)	78.7%	82.9%	68.8%	68.5%	0.5%	1.6%
他の団体や自治体などのハンセン病問題への取り組み(n=191)	79.1%	77.5%	72.3%	72.3%	1.0%	2.6%
その他(n=66)	36.4%	36.4%	50.0%	39.4%	12.1%	12.1%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

## 設問間クロス集計③

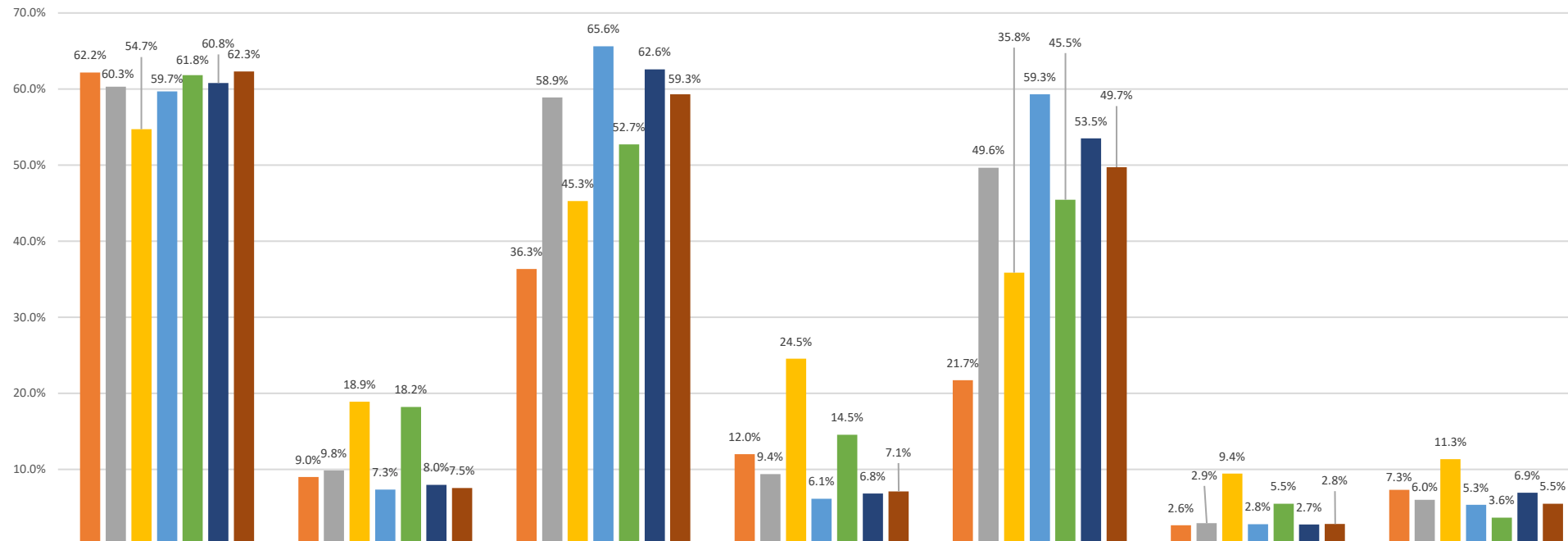
# 「来館前」と「来館後」の来館者の意識・行動

来館者の「来館前」の意識・関心と、「来館後」の意識・行動の関係性を探るため、以下の設問間クロスを行いました。

- Q2 来館前の印象・考え × Q9 来館後のハンセン病問題への認識
- Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q2 来館前の印象・考え
- Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識
- Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q2 来館前の印象・考え
- Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識
- Q7 来館後の理解の深まり × Q9 来館後のハンセン病問題への認識
- Q8 来館後の意識・考えの変化 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識
- Q9 来館後のハンセン病問題への認識 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識

# Q2 来館前の印象・考え※ × Q9 来館後のハンセン病問題への認識 (グラフ)

- 名前だけ知っていた(n=534)
- 遺伝する病気である(n=53)
- 致死率の高い治療が困難な病気である(n=55)
- 元患者(回復者)や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である(n=1595)
- 感染することで起こる病気である(n=854)
- 感染しても発症に至ることがまれな病気である(n=506)
- 現在では薬による治療だけで治すことができる病気である(n=1056)



総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
------------	-------	------	-------	------	-------	------	------

※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q2 来館前の印象・考え※ × Q9 来館後のハンセン病問題への認識（表）

来館後のハンセン病問題への認識について、来館前の印象・考え別にみると、「名前だけ知っていた」層は、「加害者としての責任がある」「今も偏見・差別がある」がほかの層よりも低い。

「過去の人権問題である」という認識は、「遺伝する病気」という印象を持っていた層で、ほかの層より低くなっている。

「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」という認識は、全体では8.4%だが、「遺伝する病気である」という印象を持っていた層では18.9%。

「加害者としての責任がある」は、「発症がまれな病気」「治すことができる病気」という印象を持っていた層で、特に高くなっている。

「治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ」という認識は全体では8.6%だが、「遺伝する病気」という印象を持っていた層では24.5%。

「今も偏見・差別がある」という認識は、「発症がまれな病気」「治すことができる病気」という印象を持っていた層で、平均より10ポイント高い。

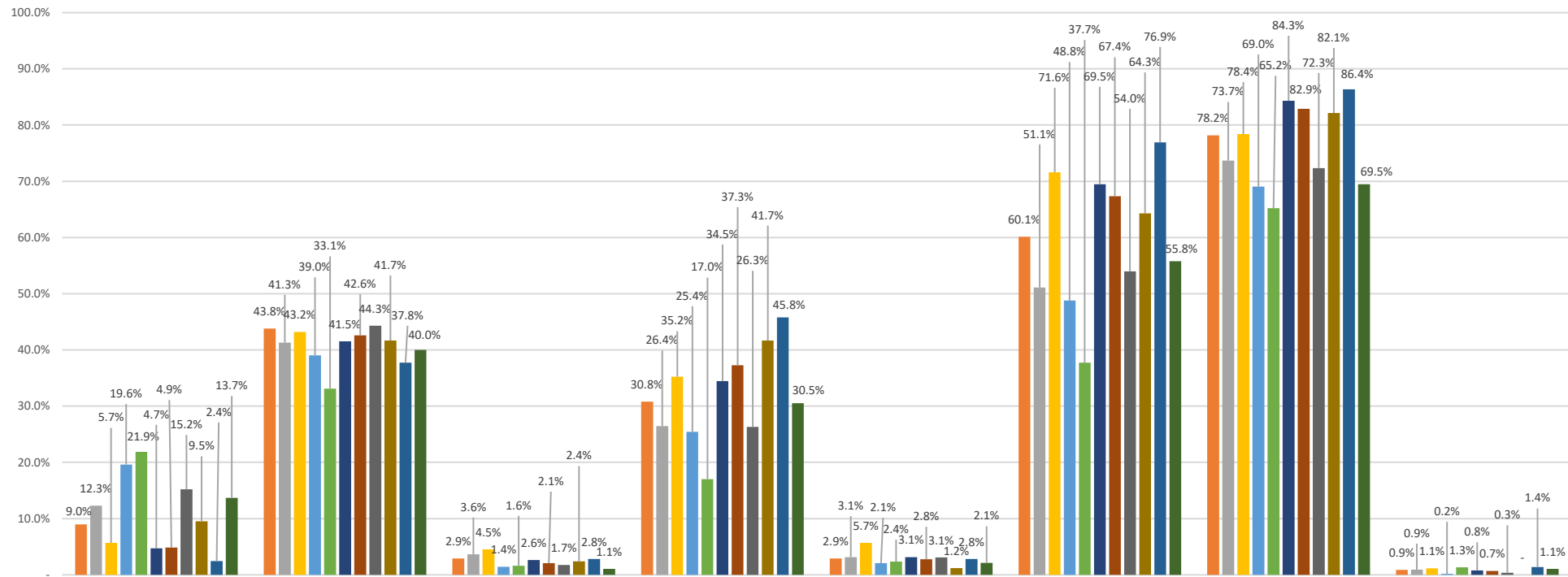
	ハンセン病問題は、 国の誤った隔離政策に 起因する過去の人権問題 である	ハンセン病の元患者（回復者）や家族 に対して、市民が差別や排除意識 を抱くのは仕方ないことだ	ハンセン病問題は、 社会を構成する私たちにも加害者 としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い 病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者 （回復者）や家族に対する偏見や差別 がある	ハンセン病の元患者（回復者）の家族と、 自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
名前だけ知っていた(n=534)	62.2%	9.0%	36.3%	12.0%	21.7%	2.6%	7.3%
感染することで起こる病気である(n=854)	60.3%	9.8%	58.9%	9.4%	49.6%	2.9%	6.0%
遺伝する病気である(n=53)	54.7%	18.9%	45.3%	24.5%	35.8%	9.4%	11.3%
感染しても発症に至ることがまれな病気である(n=506)	59.7%	7.3%	65.6%	6.1%	59.3%	2.8%	5.3%
致死率の高い治療が困難な病気である(n=55)	61.8%	18.2%	52.7%	14.5%	45.5%	5.5%	3.6%
現在では薬による治療だけで治すことができる病気である(n=1056)	60.8%	8.0%	62.6%	6.8%	53.5%	2.7%	6.9%
元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である(n=1595)	62.3%	7.5%	59.3%	7.1%	49.7%	2.8%	5.5%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q2 来館前の印象・考え※ (グラフ)

- 新聞で読んだ(n=692)
- ラジオで聞いた(n=88)
- 学校の授業で学んだ(n=676)
- 冊子や出版物を読んだ(n=432)
- 自治体などの広報紙で読んだ(n=84)
- その他(n=95)

- テレビで見聞きした(n=961)
- インターネット (HPやSNSなど) で見聞きした(n=633)
- 映画を見た(n=383)
- 家族や知人から話を聞いた(n=289)
- ハンセン病問題に関係する施設やイベント・講座などに行った (当館を除く) (n=286)



総数(n=2513)	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者(回復者)や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%

※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q2 来館前の印象・考え※（表）

ハンセン病やハンセン病問題について、「新聞で読んだ」「映画を見た」「冊子や出版物を読んだ」「ハンセン病問題に関係する施設やイベントに行った」層では、「発症がまねな病気」「治すことができる病気」「元患者や家族が対象となった人権問題」という印象・考えを持っていた割合が平均より10ポイント以上高く、「感染することで起こる病気」という意識も平均より高い。

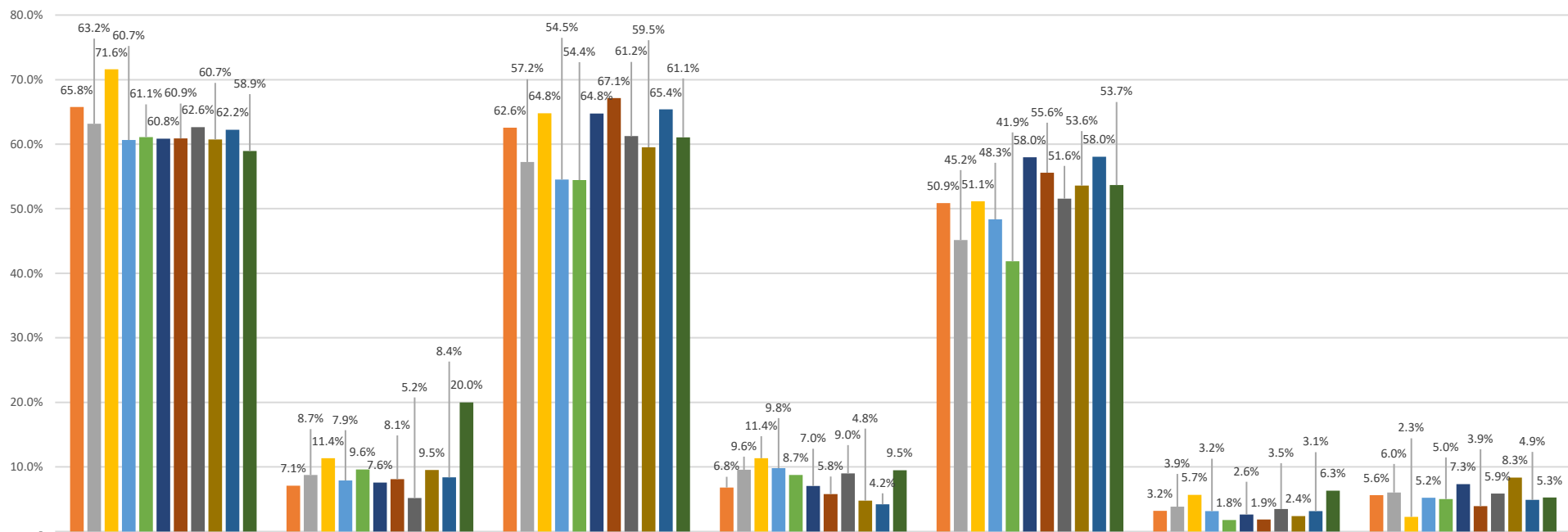
	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまねな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数(n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%
新聞で読んだ(n=692)	9.0%	43.8%	2.9%	30.8%	2.9%	60.1%	78.2%	0.9%
テレビで見聞きした(n=961)	12.3%	41.3%	3.6%	26.4%	3.1%	51.1%	73.7%	0.9%
ラジオで聞いた(n=88)	5.7%	43.2%	4.5%	35.2%	5.7%	71.6%	78.4%	1.1%
インターネット（HPやSNSなど）で見聞きした(n=633)	19.6%	39.0%	1.4%	25.4%	2.1%	48.8%	69.0%	0.2%
学校の授業で学んだ(n=676)	21.9%	33.1%	1.6%	17.0%	2.4%	37.7%	65.2%	1.3%
映画を見た(n=383)	4.7%	41.5%	2.6%	34.5%	3.1%	69.5%	84.3%	0.8%
冊子や出版物を読んだ(n=432)	4.9%	42.6%	2.1%	37.3%	2.8%	67.4%	82.9%	0.7%
家族や知人から話を聞いた(n=289)	15.2%	44.3%	1.7%	26.3%	3.1%	54.0%	72.3%	0.3%
自治体などの広報紙で読んだ(n=84)	9.5%	41.7%	2.4%	41.7%	1.2%	64.3%	82.1%	-
ハンセン病問題に関係する施設やイベント・講座などに行った（当館を除く）(n=286)	2.4%	37.8%	2.8%	45.8%	2.8%	76.9%	86.4%	1.4%
その他(n=95)	13.7%	40.0%	1.1%	30.5%	2.1%	55.8%	69.5%	1.1%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q9 来館後の意識・考え (グラフ)

- 新聞で読んだ(n=692)
- ラジオで聞いた(n=88)
- 学校の授業で学んだ(n=676)
- 冊子や出版物を読んだ(n=432)
- 自治体などの広報紙で読んだ(n=84)
- その他(n=95)
- テレビで見聞きした(n=961)
- インターネット (HPやSNSなど) で見聞きした(n=633)
- 映画を見た(n=383)
- 家族や知人から話を聞いた(n=289)
- ハンセン病問題に関係する施設やイベント・講座などに行った (当館を除く) (n=286)



	ハンセン病問題は、国の復者)	ハンセン病問題は、社会	ハンセン病問題は、私	ハンセン病は怖い病	今も、世の中にハン	ハンセン病の元患者	無回答
	誤った隔離政策に起因す	市民が差別や排除意識を	を構成する私たちにも加	治療できるとしてもハン	病の元患者(回復者)や	回復者)の家族と、自分	
	る過去の人権問題である	抱くのは仕方のないこと	害者としての責任がある	セン病は怖い病気だ	家族に対する偏見や差別	家族が結婚することは抵	
	だ	だ	だ	だ	がある	抗がある	
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%

## Q3 来館前の見聞き・学習経験 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識 (表)

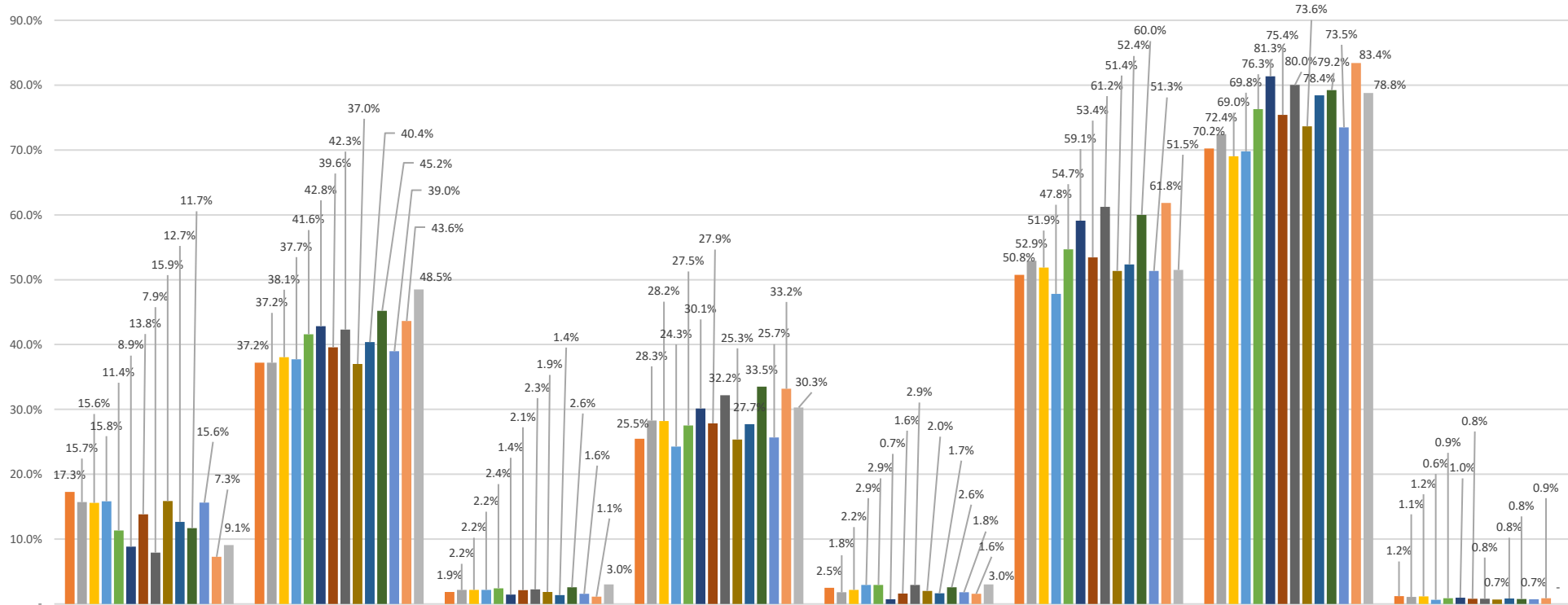
来館前にハンセン病やハンセン病問題について見聞き・学習したものの別に、来館後のハンセン病問題への認識をみると、「新聞で読んだ」「映画を見た」「冊子や出版物を読んだ」「関連施設やイベントに行った」層では、「加害者としての責任がある」「今も偏見差別がある」という認識を持った割合が、平均より10ポイント以上高くなっている。

「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」「怖い病気だ」という認識は、どちらも1桁の低い数値ではあるが、前者は「学校の授業で学んだ」層で9.6%、後者は「インターネットで見聞きした」層で9.8%と、ほかの層よりやや高くなっている。

	ハンセン病問題は、 国の誤った隔離政策に 起因する過去の人権問題 である	ハンセン病の元患者 (回復者)や家族に対し て、市民が差別や排除意 識を抱くのは仕方ないこ とだ	ハンセン病問題は、 社会を構成する私たち にも加害者としての責任 がある	治療できるとしても ハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハン セン病の元患者(回復者) や家族に対する偏見や差 別がある	ハンセン病の元患者 (回復者)の家族と、自 分の家族が結婚することは 抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
新聞で読んだ(n=692)	65.8%	7.1%	62.6%	6.8%	50.9%	3.2%	5.6%
テレビで見聞きした(n=961)	63.2%	8.7%	57.2%	9.6%	45.2%	3.9%	6.0%
ラジオで聞いた(n=88)	71.6%	11.4%	64.8%	11.4%	51.1%	5.7%	2.3%
インターネット(HPやSNSなど)で見聞きした (n=633)	60.7%	7.9%	54.5%	9.8%	48.3%	3.2%	5.2%
学校の授業で学んだ(n=676)	61.1%	9.6%	54.4%	8.7%	41.9%	1.8%	5.0%
映画を見た(n=383)	60.8%	7.6%	64.8%	7.0%	58.0%	2.6%	7.3%
冊子や出版物を読んだ(n=432)	60.9%	8.1%	67.1%	5.8%	55.6%	1.9%	3.9%
家族や知人から話を聞いた(n=289)	62.6%	5.2%	61.2%	9.0%	51.6%	3.5%	5.9%
自治体などの広報紙で読んだ(n=84)	60.7%	9.5%	59.5%	4.8%	53.6%	2.4%	8.3%
ハンセン病問題に関係する施設やイベント・講座 などに行った(当館を除く)(n=286)	62.2%	8.4%	65.4%	4.2%	58.0%	3.1%	4.9%
その他(n=95)	58.9%	20.0%	61.1%	9.5%	53.7%	6.3%	5.3%

# Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q2 来館前の印象・考え※ (グラフ)

- 女性の人権(n=914)
- こどもの人権(n=820)
- 高齢者の人権(n=507)
- 障がい者の人権(n=1232)
- 部落差別 (同和問題) (n=916)
- 外国人の人権(n=418)
- コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別(n=614)
- ハンセン病問題(n=882)
- インターネット上の人権侵害(n=592)
- 性的マイノリティに対する偏見や差別(n=718)
- 震災等の災害に起因する偏見や差別(n=385)
- ヘイトスピーチ(n=440)
- その他(n=33)
- セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ(n=826)



	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者 (回復者) や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数(n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%

※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q2 来館前の印象・考え※ (表)

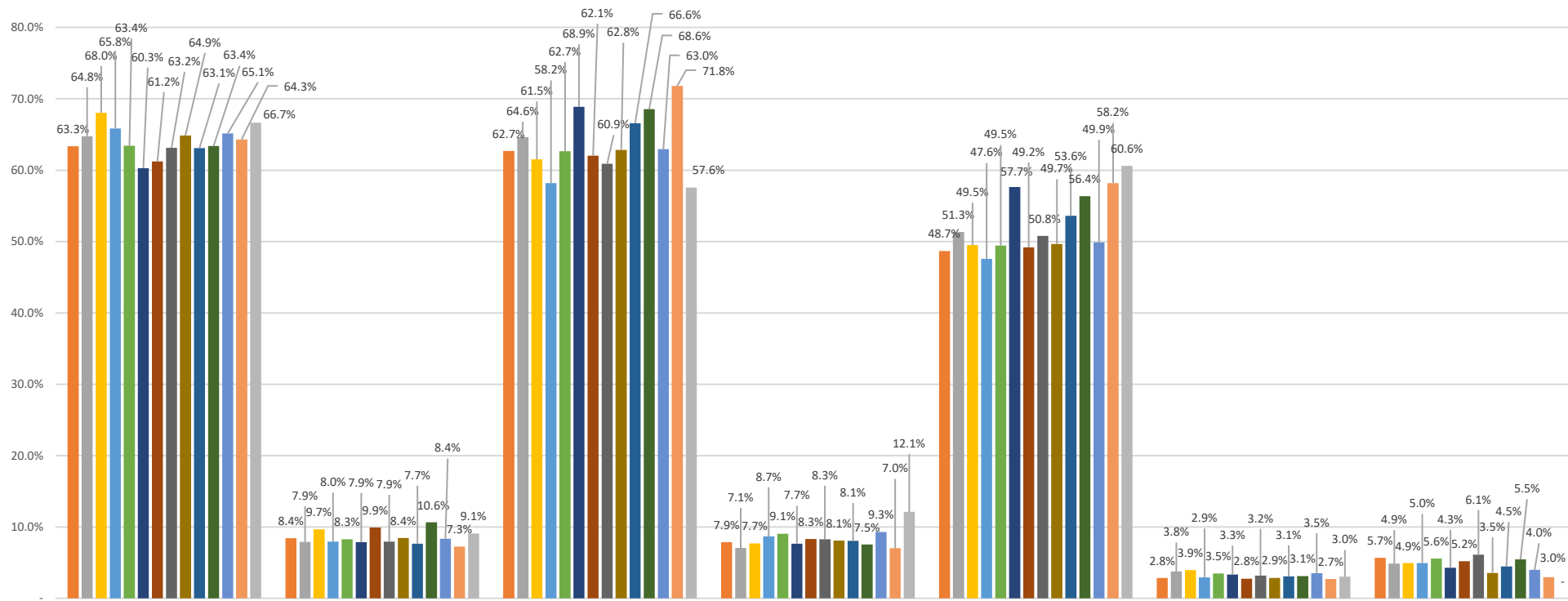
来館前のハンセン病の印象・考えについて、関心のあった人権問題別にみると、「感染することで起こる病気」「発症はまれな病気」「治すことができる病気」「元患者・家族に対する人権問題」という印象は、「部落差別」「外国人の人権」「感染症に対する偏見差別」「ハンセン病問題」「性的マイノリティに対する偏見差別」「災害に起因する偏見差別」「ヘイトスピーチ」に関心のあった層で高い。

	名前だけ知っていた	感染することで起こる病気である	遺伝する病気である	感染しても発症に至ることがまれな病気である	致死率の高い治療が困難な病気である	現在では薬による治療だけで治すことができる病気である	元患者（回復者）や家族が偏見・差別の対象となった人権問題である	無回答
総数(n=2513)	21.2%	34.0%	2.1%	20.1%	2.2%	42.0%	63.5%	1.1%
女性の人権(n=914)	17.3%	37.2%	1.9%	25.5%	2.5%	50.8%	70.2%	1.2%
こどもの人権(n=820)	15.7%	37.2%	2.2%	28.3%	1.8%	52.9%	72.4%	1.1%
高齢者の人権(n=507)	15.6%	38.1%	2.2%	28.2%	2.2%	51.9%	69.0%	1.2%
障がい者の人権(n=1232)	15.8%	37.7%	2.2%	24.3%	2.9%	47.8%	69.8%	0.6%
部落差別（同和問題）(n=916)	11.4%	<b>41.6%</b>	2.4%	27.5%	2.9%	54.7%	76.3%	0.9%
外国人の人権(n=418)	8.9%	<b>42.8%</b>	1.4%	30.1%	0.7%	59.1%	81.3%	1.0%
コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別(n=614)	13.8%	39.6%	2.1%	27.9%	1.6%	53.4%	75.4%	0.8%
ハンセン病問題(n=882)	7.9%	<b>42.3%</b>	2.3%	32.2%	2.9%	61.2%	80.0%	0.8%
インターネット上の人権侵害(n=592)	15.9%	37.0%	1.9%	25.3%	2.0%	51.4%	73.6%	0.7%
性的マイノリティに対する偏見や差別(n=718)	12.7%	<b>40.4%</b>	1.4%	27.7%	1.7%	52.4%	78.4%	0.8%
震災等の災害に起因する偏見や差別(n=385)	11.7%	45.2%	2.6%	33.5%	2.6%	60.0%	79.2%	0.8%
セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ(n=826)	15.6%	39.0%	1.6%	25.7%	1.8%	51.3%	73.5%	0.7%
ヘイトスピーチ(n=440)	7.3%	<b>43.6%</b>	1.1%	33.2%	1.6%	61.8%	83.4%	0.9%
その他(n=33)	9.1%	48.5%	3.0%	30.3%	3.0%	51.5%	78.8%	-

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※ 「名前だけ知っていた」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q9 来館後の意識・考え (グラフ)

- 女性の人権(n=914)
- 障がい者の人権(n=1232)
- こどもの人権(n=820)
- 部落差別(同和問題)(n=916)
- コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別(n=614)
- ハンセン病問題(n=882)
- 性的マイノリティに対する偏見や差別(n=718)
- 震災等の災害に起因する偏見や差別(n=385)
- ヘイトスピーチ(n=440)
- その他(n=33)
- 高齢者の人権(n=507)
- 外国人の人権(n=418)
- インターネット上の人権侵害(n=592)
- セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ(n=826)



	ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である	ハンセン病の元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方のないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者(回復者)や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%

## Q4 来館前に関心のあった人権問題 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識 (表)

来館後のハンセン病問題への認識について、関心のあった人権問題別にみると、全体で最も高い「過去の人権問題である」(62.3%)では、関心のあった人権問題で大きな違いは見られない。

「加害者としての責任がある」という意識は、「女性の人権」「子どもの人権」「部落差別」「外国人の人権」「感染症に対する偏見差別」「インターネット上の人権侵害」「性的マイノリティ」「震災」「セクハラ・パワハラ等」「ヘイトスピーチ」に関心のあった層で特に高い。

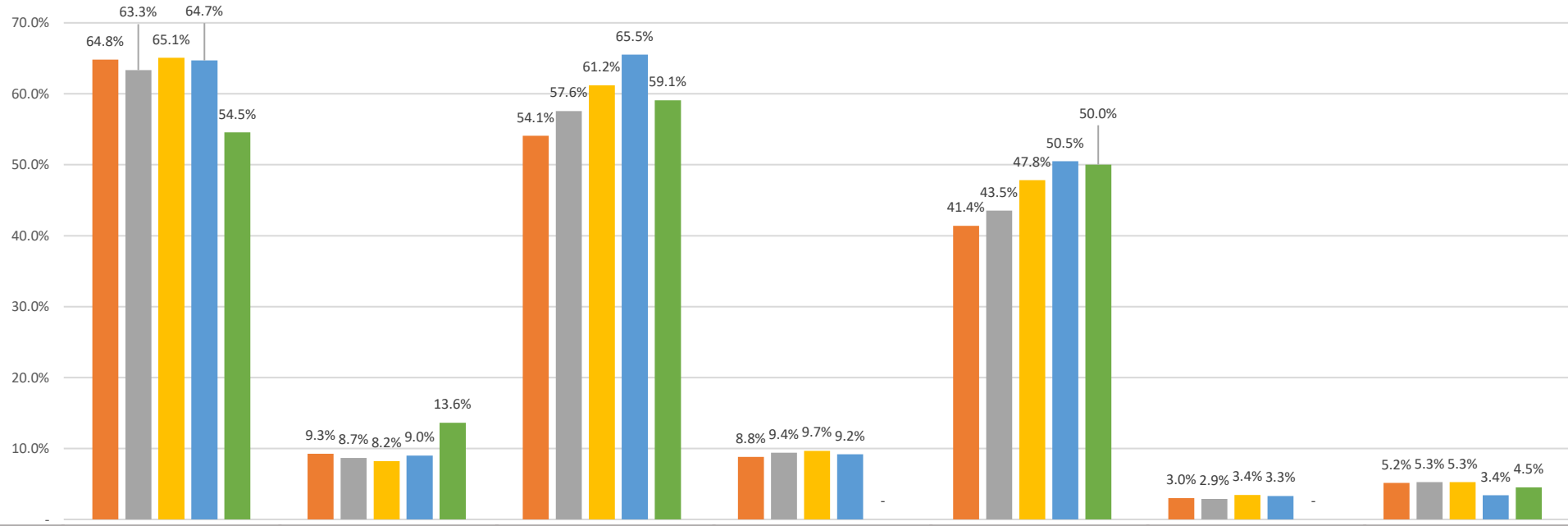
「今も偏見差別がある」は、「子どもの人権」「外国人の人権」「ハンセン病」「性的マイノリティ」「震災」「ヘイトスピーチ」に関心のあった層で特に高い。

	ハンセン病問題は、 国の誤った隔離政策 に起因する過去の人 権問題である	ハンセン病の元患者 (回復者)や家族に 対して、市民が差別 や排除意識を抱くの は仕方のないことだ	ハンセン病問題は、 社会を構成する私た ちにも加害者として の責任がある	治療できるとしても ハンセン病は怖い病 気だ	今も、世の中にハン セン病の元患者(回 復者)や家族に対す る偏見や差別がある	ハンセン病の元患者 (回復者)の家族と、 自分の家族が結婚す ることは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
女性の人権(n=914)	63.3%	8.4%	62.7%	7.9%	48.7%	2.8%	5.7%
子どもの人権(n=820)	64.8%	7.9%	64.6%	7.1%	51.3%	3.8%	4.9%
高齢者の人権(n=507)	68.0%	9.7%	61.5%	7.7%	49.5%	3.9%	4.9%
障がい者の人権(n=1232)	65.8%	8.0%	58.2%	8.7%	47.6%	2.9%	5.0%
部落差別(同和問題)(n=916)	63.4%	8.3%	62.7%	9.1%	49.5%	3.5%	5.6%
外国人の人権(n=418)	60.3%	7.9%	68.9%	7.7%	57.7%	3.3%	4.3%
コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別 (n=614)	61.2%	9.9%	62.1%	8.3%	49.2%	2.8%	5.2%
ハンセン病問題(n=882)	63.2%	7.9%	60.9%	8.3%	50.8%	3.2%	6.1%
インターネット上の人権侵害(n=592)	64.9%	8.4%	62.8%	8.1%	49.7%	2.9%	3.5%
性的マイノリティに対する偏見や差別(n=718)	63.1%	7.7%	66.6%	8.1%	53.6%	3.1%	4.5%
震災等の災害に起因する偏見や差別(n=385)	63.4%	10.6%	68.6%	7.5%	56.4%	3.1%	5.5%
セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ (n=826)	65.1%	8.4%	63.0%	9.3%	49.9%	3.5%	4.0%
ヘイトスピーチ(n=440)	64.3%	7.3%	71.8%	7.0%	58.2%	2.7%	3.0%
その他(n=33)	66.7%	9.1%	57.6%	12.1%	60.6%	3.0%	-

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

# Q7 来館後の理解の深まり※ × Q9 来館後のハンセン病問題への認識 (グラフ)

- 日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた(n=1901)
- 療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった(n=1836)
- ハンセン病の患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた(n=1363)
- ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった(n=1264)
- 特に深まらなかった(n=22)



	ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である	ハンセン病の元患者（回復者）や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方のないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者（回復者）や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者（回復者）の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%

※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q7 来館後の理解の深まり※ × Q9 来館後のハンセン病問題への認識（表）

来館後のハンセン病問題への認識について、理解が深まった項目別にみると、「日本のハンセン病対策の歴史が理解できた」「療養所での暮らしや人権侵害の実態がよく分かった」「生き抜いた証をよく知ることができた」「名誉回復の大切さが分かった」層は、来館後の認識のすべての項目で、平均より数値が高くなっている。

特に、「名誉回復の大切さが分かった」層は、「加害者としての責任がある」「今も偏見差別がある」が平均より10ポイント以上高い。

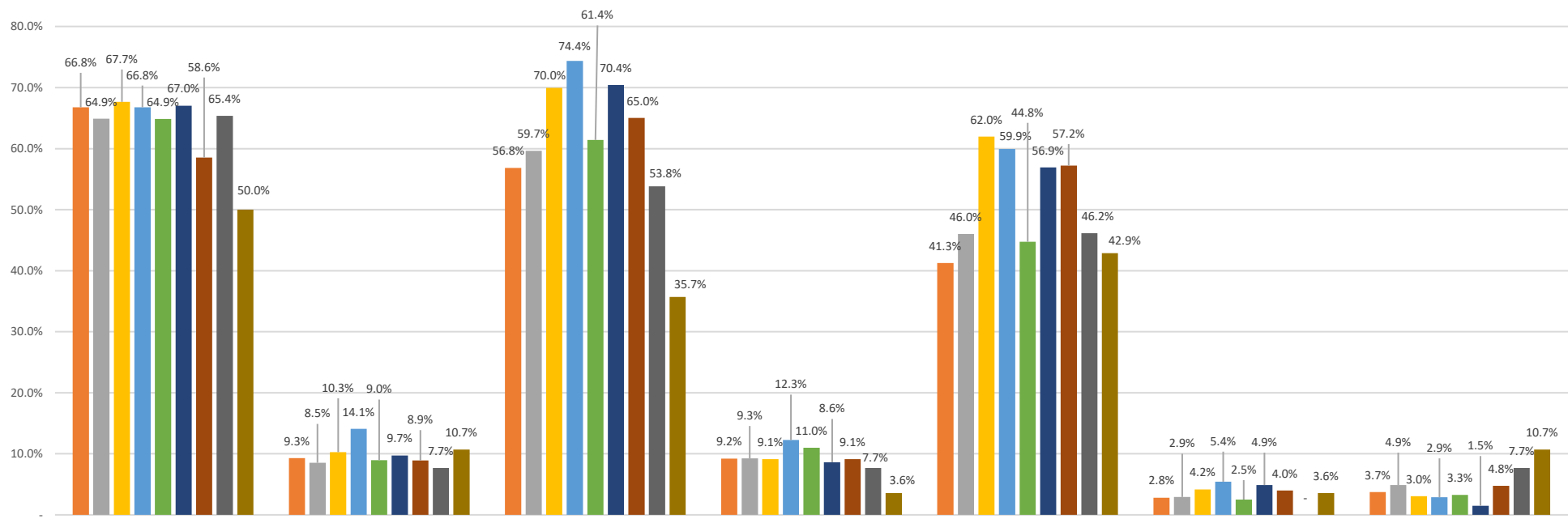
「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」「怖い病気だ」「結婚には抵抗がある」は、数値が1桁で低くはあるが、理解が深まった人の数値が、平均よりやや高くなっている。

	ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である	ハンセン病の元患者（回復者）や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方のないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者（回復者）や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者（回復者）の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
日本のハンセン病対策（隔離政策）の歴史がよく理解できた(n=1901)	64.8%	<b>9.3%</b>	54.1%	8.8%	41.4%	3.0%	5.2%
療養所での過酷な暮らしや人権侵害の実態がよく分かった(n=1836)	63.3%	8.7%	57.6%	<b>9.4%</b>	43.5%	2.9%	5.3%
ハンセン病の患者・回復者の「生き抜いた証」をよく知ることができた(n=1363)	65.1%	8.2%	61.2%	<b>9.7%</b>	47.8%	<b>3.4%</b>	5.3%
ハンセン病の元患者（回復者）や家族の名誉回復を図ることの大切さが分かった(n=1264)	64.7%	<b>9.0%</b>	65.5%	9.2%	50.5%	3.3%	3.4%
特に深まらなかった(n=22)	54.5%	13.6%	59.1%	-	50.0%	-	4.5%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い ※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q8 来館後の意識・考えの変化※ × Q9 来館後のハンセン病問題への認識 (グラフ)

- ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなった(n=1098)
- 周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った(n=1393)
- ハンセン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った(n=263)
- ハンセン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った(n=277)
- 他の人権問題についても詳しく知りたくなった(n=791)
- ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくするために自分でできることをやってみようと思った(n=267)
- 業務や仕事の中に生かしていきたいと思った(n=526)
- その他(n=26)



意識・考えの変化	総数(n=2513)	ハンセン病の元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ	ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	今も、世の中にハンセン病の元患者(回復者)や家族に対する偏見や差別がある	ハンセン病の元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	無回答
	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%

※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

## Q8 来館後の意識・考えの変化※ × Q9 来館後のハンセン病問題への認識（表）

来館後のハンセン病問題への認識について、来館後の意識・考えの変化の項目別にみると、「加害者としての責任がある」「今も偏見差別がある」という意識は、「ハンセン病問題のイベントやセミナーに参加してみたいと思った」「話題にしたりSNSでシェアしたりしようと思った」「自分でできることをやってみようと思った」「業務や仕事に生かしていきたいと思った」層で、特に高くなっている。

「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」「怖い病気だ」という意識の数値は1桁で低いが、「話題にしたりSNSでシェアしたりしようと思った」層ではそれぞれ14.1%、12.3%となっており、ほかの層に比べて高くなっている。

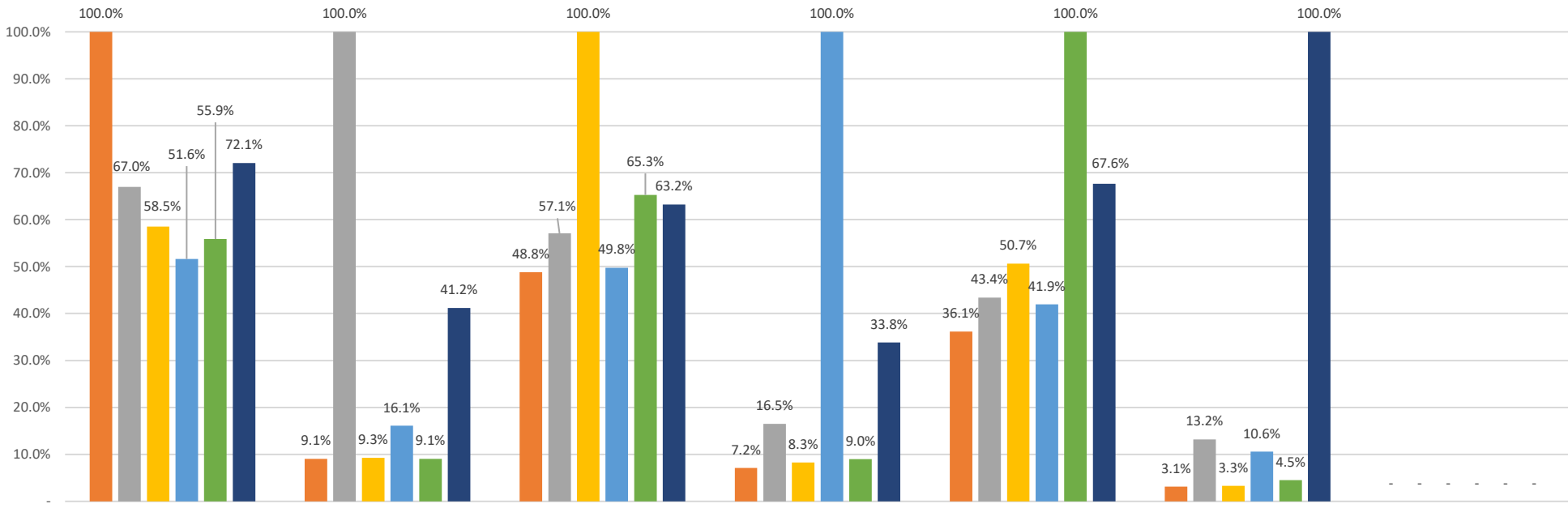
	ハンセン病問題は、 国の誤った隔離政 策に起因する過去 の人権問題である	ハンセン病の元患 者（回復者）や家 族に対して、市民 が差別や排除意識 を抱くのは仕方の ないことだ	ハンセン病問題は、 社会を構成する私 たちにも加害者と しての責任がある	治療できるとして もハンセン病は怖 い病気だ	今も、世の中にハ ンセン病の元患者 （回復者）や家族 に対する偏見や差 別がある	ハンセン病の元患 者（回復者）の家 族と、自分の家族 が結婚することは 抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
ハンセン病問題についてもっと詳しく知りたくなかった(n=1098)	66.8%	9.3%	56.8%	9.2%	41.3%	2.8%	3.7%
周囲の人にもハンセン病問題について知ってほしい、伝えたいと思った(n=1393)	64.9%	8.5%	59.7%	9.3%	46.0%	2.9%	4.9%
ハンセン病問題のイベントやセミナーなどに参加してみたいと思った(n=263)	67.7%	<b>10.3%</b>	70.0%	9.1%	62.0%	4.2%	3.0%
ハンセン病問題について話題にしたり、SNSなどでシェアしたりしようと思った(n=277)	66.8%	<b>14.1%</b>	74.4%	<b>12.3%</b>	59.9%	<b>5.4%</b>	2.9%
他の人権問題についても詳しく知りたくなかった(n=791)	64.9%	9.0%	61.4%	11.0%	44.8%	2.5%	3.3%
ボランティア活動に参加するなど、偏見・差別をなくすために自分でできることをやってみようと思った(n=267)	67.0%	9.7%	70.4%	8.6%	56.9%	4.9%	1.5%
業務や仕事の中に生かしていきたいと思った(n=526)	58.6%	8.9%	65.0%	9.1%	57.2%	4.0%	4.8%
その他(n=26)	65.4%	7.7%	53.8%	7.7%	46.2%	-	7.7%
特に変化はなかった(n=28)	50.0%	10.7%	35.7%	3.6%	42.9%	3.6%	10.7%

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い

※「特に深まらなかった」のみ単数回答。他の選択肢は複数回答可。

# Q9 来館後の意識・考え × Q9 来館後のハンセン病問題への認識 (グラフ)

- ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である(n=1566)
- ハンセン病の元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ(n=212)
- ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある(n=1305)
- 治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ(n=217)
- 今も、世の中にハンセン病の元患者(回復者)や家族に対する偏見や差別がある(n=1013)
- ハンセン病の元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある(n=68)



Category	Percentage
ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である	62.3%
ハンセン病の元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ	8.4%
ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある	51.9%
治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	8.6%
今も、世の中にハンセン病の元患者(回復者)や家族に対する偏見や差別がある	40.3%
ハンセン病の元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	2.7%
無回答	6.4%
総数(n=2513)	

# Q9 来館後のハンセン病問題への認識 × Q9 来館後のハンセン病問題への認識 (表)

来館後のハンセン病問題への認識については、複数回答で聴いたが、回答項目同士の関連性をみるため、回答項目のクロス集計を行った。  
 「過去の人権問題である」を回答した層は、「加害者としての責任がある」「今も差別偏見がある」が他の層より低い。  
 「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」を回答した層は、「過去の人権問題である」「加害者としての責任がある」「怖い病気だ」「結婚には抵抗がある」が他の層より高い。  
 「加害者としての責任がある」を回答した層は、「今も差別偏見がある」が他の層より高い。  
 「怖い病気だ」を回答した層は、「差別や排除意識を抱くのは仕方ない」が他の層より高い。  
 「今も偏見差別がある」を回答した層は、「加害者としての責任がある」が他の層より高い。

	ハンセン病問題は、 国の誤った隔離政策に 起因する過去の人権問題 である	ハンセン病の元患者 (回復者)や家族に対し て、市民が差別や排除意 識を抱くのは仕方ないこ とだ	ハンセン病問題は、 社会を構成する私たち にも加害者としての責任 がある	治療できるとしても ハンセン病は怖い病気 だ	今も、世の中にハン セン病の元患者(回復 者)や家族に対する偏見 や差別がある	ハンセン病の元患者 (回復者)の家族と、自 分の家族が結婚するこ とは抵抗がある	無回答
総数(n=2513)	62.3%	8.4%	51.9%	8.6%	40.3%	2.7%	6.4%
ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する過去の人権問題である(n=1566)	100.0%	9.1%	48.8%	7.2%	36.1%	3.1%	-
ハンセン病の元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ(n=212)	67.0%	-	57.1%	16.5%	43.4%	13.2%	-
ハンセン病問題は、社会を構成する私たちにも加害者としての責任がある(n=1305)	58.5%	9.3%	-	8.3%	50.7%	3.3%	-
治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ(n=217)	51.6%	16.1%	49.8%	-	41.9%	10.6%	-
今も、世の中にハンセン病の元患者(回復者)や家族に対する偏見や差別がある(n=1013)	55.9%	9.1%	65.3%	9.0%	-	4.5%	-
ハンセン病の元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある(n=68)	72.1%	41.2%	63.2%	33.8%	67.6%	-	-

■…総数より10ポイント以上高い ■…総数より10ポイント以上低い